DENON

AV サラウンドアンプ

AVC-2809

取扱説明書

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに「保証書」･「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜け

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く
- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは大切に
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない
機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水をかけたり、濡らしたりしない
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら
機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

乾電池は充電しない
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意
禁止

付属の電源コードを使用する
他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

必ず実施
禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない
電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは
電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する
テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施
禁止

電池を交換するときは
- 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

次のような場所には置かない
火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する
放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない
内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

重いものをのせない
機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

移動させるときは
まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

5 年に一度は内部の掃除を
販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

総目次

ご使用になる前に

接続のしかた

メニュー操作

Auto Setup（オートセットアップ）

Manual Setup（マニュアル設定）

Input Setup（入力の設定）···36

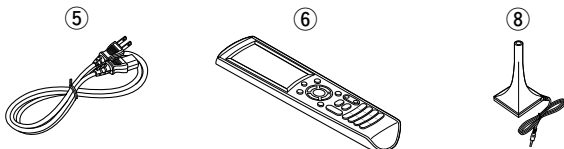
ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

付属品について

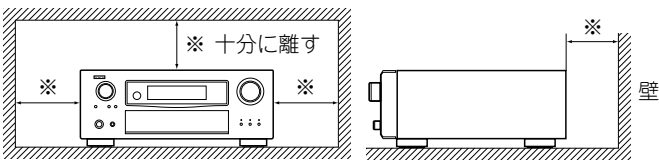
本体とは別に下記の付属品が入っています。
お使いになる前にご確認ください。

① 取扱説明書（本書）...1
② 簡単セットアップガイド 1
③ 保証書（梱包箱に貼付）.. 1
④ 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内 1
⑤ 電源コード（長さ：約 1.5m）【本機専用】....................1
⑥ リモコン（RC-1102）..1
⑦ 単３形アルカリ乾電池..2
⑧ セットアップマイク
（DM-A409、コードの長さ：約 7.6m）.........................1

⑤ ⑥ ⑧

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

取り扱い上のご注意

設置の際のご注意

放熱のため、本機の天面、後面および両側面と壁や他の AV 機器などとは十分に離して設置してください。

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置でお使いください。

お手入れについてのご注意

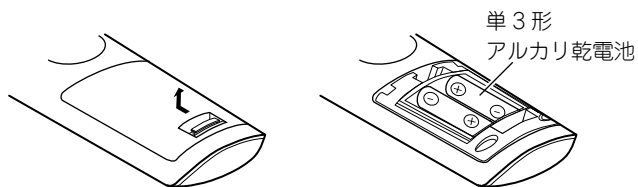
- キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色したりすることがありますので使用しないでください。

リモコンについて

付属のリモコン（RC-1102）は、本機の操作以外に次の機器の操作もできます。
① DENON 製コンポーネント製品
② DENON 製以外のコンポーネント製品
- プリセット登録による設定（☞58 ～ 60 ページ）
- 学習機能による設定（☞61 ページ）

乾電池の入れかた

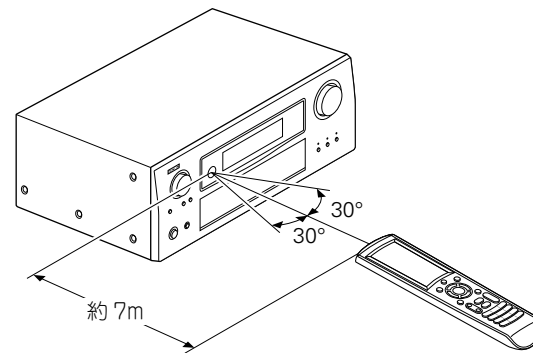
① つまみを引き上げながら、裏ぶたを取り外す。

② 乾電池（2 本）を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。

③ 裏ぶたを元通りにしてください。

ご注意

- リモコンには単３形アルカリ乾電池をご使用ください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。）
- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示通りに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。

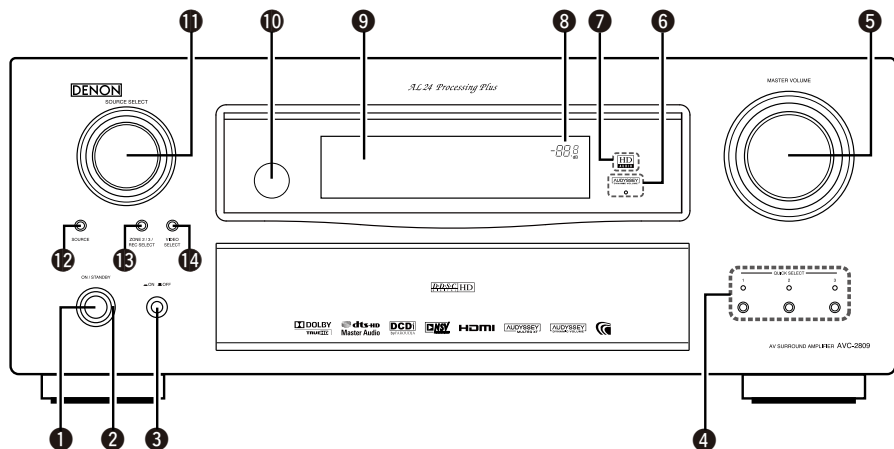
リモコンの使いかた

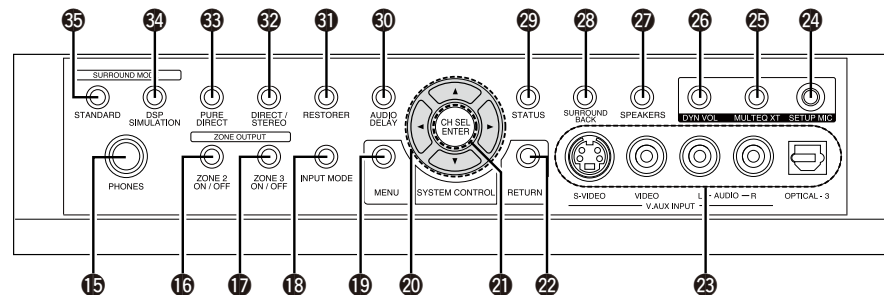
リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。

ご注意

リモコン受光部に、直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線が当たると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなったりする場合があります。

各部の名前とはたらき

各部のはたらきなど詳しい説明については、（ ）内のページを参照してください。

フロントパネル

❶ 電源ボタン（ON/STANDBY）……………(51)
❷ 電源表示……………………………………(51)
❸ 電源スイッチ（▂ON ■OFF）……………(51)
❹ クイックセレクトボタン / 表示
（QUICK SELECT）……………………………(57)
❺ 主音量調節つまみ
（MASTER VOLUME）………………………(51)
❻ AUDYSSEY DYNAMIC VOLUME 表示 …(47)
❼ HD AUDIO 表示……………………………(41)
❽ 主音量表示
❾ ディスプレイ ………………………………(9)
❿ リモコン受光部 ……………………………(6)
⓫ 入力ソース切り替えつまみ
（SOURCE SELECT）…………………………(51)
⓬ ソース切り替えボタン（SOURCE）………(51)
⓭ ゾーン 2/3 / 録音出力切り替えボタン
（ZONE2/3 / REC SELECT）………………(54、66)
⓮ ビデオセレクトボタン
（VIDEO SELECT）……………………………(38)

【ドアを開いた状態】

⓯ ヘッドホン端子（PHONES）………………(52)
⓰ ゾーン 2 用電源ボタン
（ZONE2 ON/OFF）……………………………(66)
⓱ ゾーン 3 用電源ボタン
（ZONE2 ON/OFF）……………………………(66)
⓲ 入力モード切り替えボタン
（INPUT MODE）………………………………(39)
⓳ メニューボタン（MENU）…………………(20)
⓴ カーソルボタン（△▽◁ ▷）……………(20)
㉑ チャンネルセレクト / エンターボタン
（CH SEL / ENTER）……………………(20、56)
㉒ リターンボタン（RETURN）………………(20)
㉓ V.AUX 入力端子（V.AUX INPUT）………(18)
㉔ セットアップマイク端子
（SETUP MIC）…………………………………(23)
㉕ MULTEQ XT ボタン…………………………(46)
㉖ DYNAMIC VOLUME ボタン …………(46、47)

※Dynamic Volume について
Audyssey Dynamic Volume は、テレビや映画など再生されるコンテンツ内におけるボリュームレベルの変化（静かな音のシーンと大きな音のシーンの間など）をユーザーの好みのボリューム設定値に自動的に調整する技術です。
また、Dynamic Volume は Audyssey Dynamic EQ の技術をアルゴリズムの中に取り込むことによりボリュームレベルの調整時やテレビチャンネルの切り替え時、ステレオコンテンツからサラウンドコンテンツなどの切り替え時でも低域特性や音質バランス、サラウンド効果、ダイアログの明瞭さを保っています。

※Dynamic EQ について
Audyssey Dynamic EQ は、人間の聴覚や部屋の音響特性を考慮し、ボリュームレベルを下げた際に発生する音質の低下を防ぐ技術です。
Dynamic EQ は、Audyssey MultEQ® XT 技術と連動することによりすべてのボリュームレベルに対して最適なバランスの音質をすべてのリスナーに提供します。

㉗ スピーカー切り替えボタン
（SPEAKERS）……………………………………(52)
㉘ サラウンドバックボタン
（SURROUND BACK）…………………………(45)
㉙ ステータスボタン（STATUS）……………(49)
㉚ オーディオディレイボタン
（AUDIO DELAY）……………………………(48)
㉛ RESTORER ボタン …………………………(48)
㉜ ダイレクト / ステレオボタン
（DIRECT/STEREO）…………………………(42)
㉝ ピュアダイレクトボタン
（PURE DIRECT）……………………………(42)
㉞ DSP シミュレーションボタン
（DSP SIMULATION）…………………………(41)
㉟ スタンダードボタン（STANDARD）………(41)

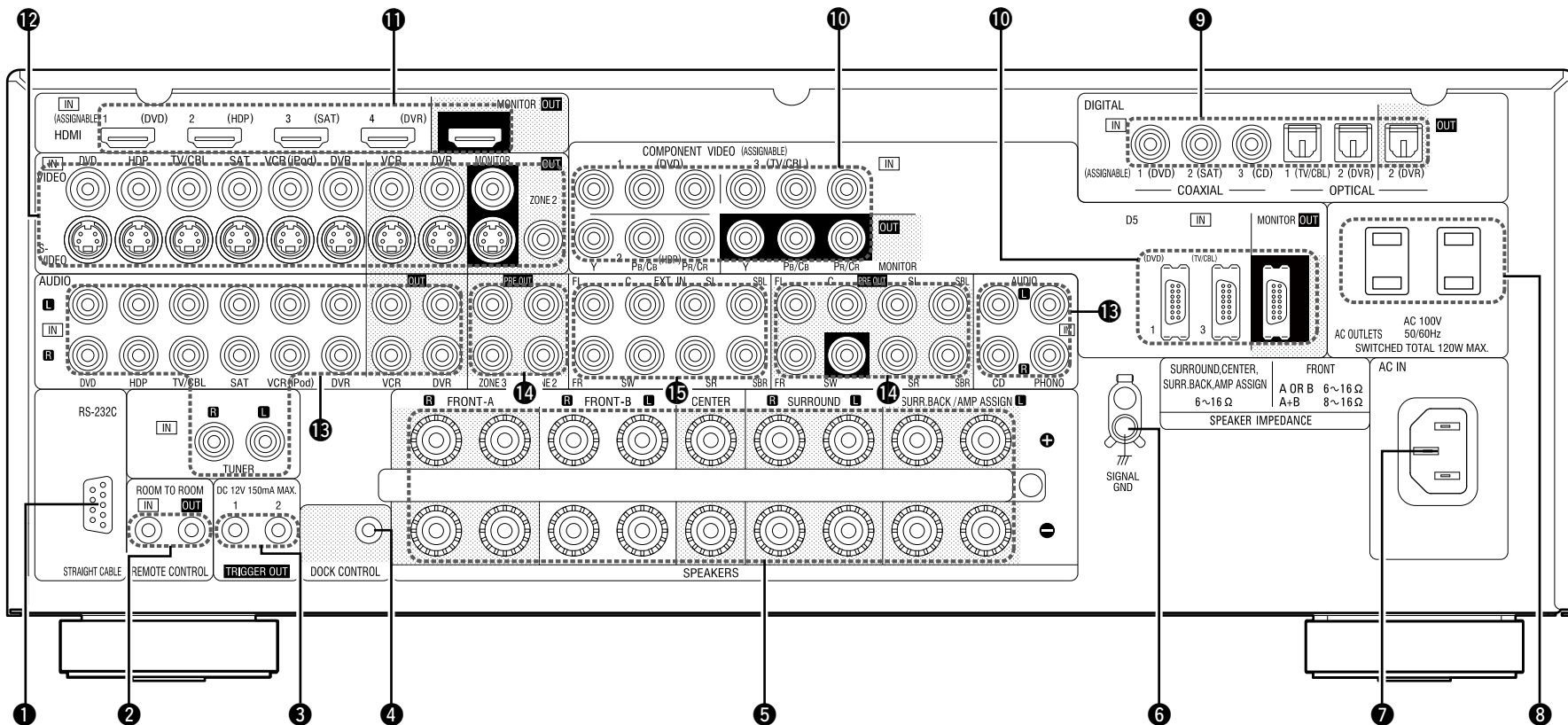
リアパネル

❶RS-232C 端子 ……………………………………(19)

❷リモートコントロール端子（REMOTE CONTROL）
コントロール入力 / 出力端子が付いた外部リモコン機器を接続します。

❸トリガー出力端子（TRIGGER OUT）………(19)

❹ドックコントロール端子（DOCK CONTROL）……………………………………(15)

❺スピーカー端子（SPEAKERS）…………………(12)

❻アース端子（SIGNAL GND）……………………(15)

❼AC インレット（AC IN）………………………(20)

❽AC アウトレット（AC OUTLETS）…………(20)

❾デジタル音声端子（OPTICAL/COAXIAL）…………………(14 ～ 17)

❿コンポーネント / D5 ビデオ端子 ……(14、16)

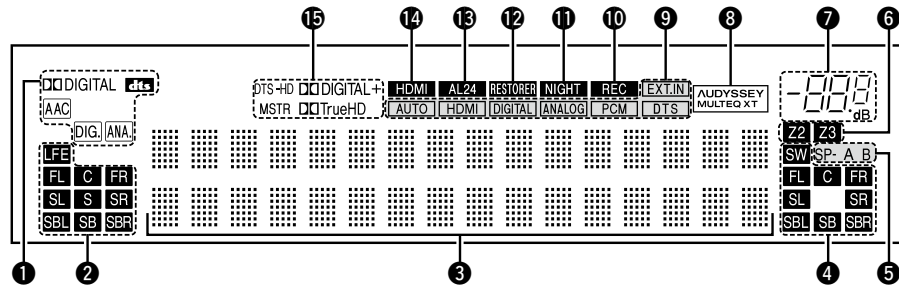
⓫HDMI 端子 ……………………………(13、14、16、17)

⓬ビデオ / S ビデオ端子（VIDEO/S-VIDEO）…………………………(14 ～ 17)

⓭アナログ音声端子（AUDIO）…………(14 ～ 18)

⓮プリアウト端子（PRE OUT）……………………(19)

⓯外部入力端子（EXT. IN）……………………………(18)

ディスプレイ

❶ 入力信号表示

❷ 入力信号チャンネル表示
デジタル信号入力時に点灯します。

❸ インフォメーションディスプレイ
入力ソース名、サラウンドモード、設定値などを表示します。

❹ 出力信号チャンネル表示

❺ フロントスピーカー表示
フロントスピーカー A/B の設定に合わせて点灯します。

❻ マルチゾーン表示
各ゾーンの電源が入っているときに点灯します。

❼ 主音量表示

❽ AUDYSSEY MULTEQ XT 表示
MultEQ XT 選択時に点灯します。

❾ 入力モード表示

❿ 録音出力ソース表示
RECOUT モード選択時に点灯します。
（“SOURCE”選択時は消灯します。）

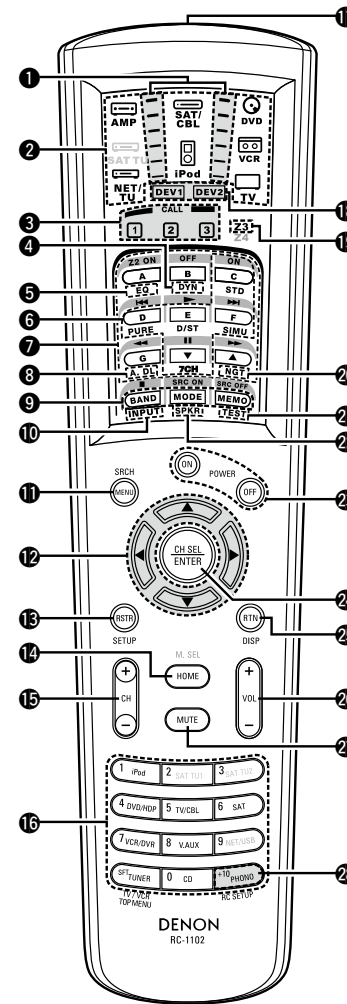
⓫ NIGHT 表示
ナイトモード選択時に点灯します。

⓬ RESTORER 表示
RESTORER モード選択時に点灯します。

⓭ AL24 表示
AL24 Processing Plus 動作時に点灯します（☞69 ページ）。

⓮ HDMI 表示
HDMI 接続で再生しているときに点灯します。

⓯ デコーダー表示
各デコーダー動作時に点灯します。

リモコン

❶ 送信表示……(55)
❷ モード切り替えボタン……(55)
❸ クイックセレクト / システムコールボタン……(54、59)
❹ DYNAMIC VOLUME ボタン（DYN）……(45)
❺ MULTEQ XT ボタン（EQ）……(44)
❻ サラウンドモードボタン……(40 ～ 42)
- スタンダードボタン（STD）……(41)
- ピュアダイレクトボタン（PURE）……(42)
- ダイレクト / ステレオボタン（D/ST）……(42)
- DSP シミュレーションボタン（SIMU）……(41)
- 7CH ステレオボタン（7CH）……(41)

❼ システムボタン……(59、60)
❽ オーディオディレイボタン（A.DL）……(48)
❾ チューナーシステムボタン……(60)
❿ 入力モード切り替えボタン（INPUT）……(18、39)
⓫ メニュー / サーチボタン（MENU / SRCH）……(20、53)
⓬ カーソルボタン (△▽◁ ▷)……(20)
⓭ RESTORER ボタン（RSTR）……(48)
⓮ ホームボタン（HOME）……(58)
⓯ チャンネルボタン（CH）……(53)
⓰ 入力ソース選択 / 番号ボタン……(51、58)
⓱ リモコン信号送信窓……(6)
⓲ デバイス選択表示（DEV1/DEV2）……(58)
⓳ ゾーン 3 選択表示（Z3）……(58)
⓴ ナイトボタン（NGT）……(48)
㉑ テストトーンボタン（TEST）……(28)
㉒ フロントスピーカー切り替えボタン（SPKR）……(52)
㉓ 電源ボタン（POWER）……(51)
㉔ チャンネル選択（CH SEL）/ エンターボタン（ENTER）……(20、56)
㉕ リターンボタン（RTN）……(20)
㉖ 主音量調節ボタン（VOL）……(51)
㉗ ミューティングボタン（MUTE）……(51)
㉘ リモコン設定ボタン（RC SETUP）……(58)

バックライトの点灯時間を変えることができます（☞63 ページ「バックライトの点灯時間を設定する」）。

ご注意

- 本機では、**M.SEL**、**NET/USB**、**SAT TU1** および **SAT TU2** ボタンは使用しません。
- 本機では、ゾーン 2 モードの **QUICK SELECT (1 ~ 3)**、**A. DL**、**NGT**、**INPUT**、**SPKR**、**TEST** ボタンおよびサラウンドモードボタンは使用しません。
- 本機では、ゾーン 4 モードは使用しません。

接続のしかた

この取扱説明書では、対応するすべての音声信号方式や映像信号方式の接続方法を説明しています。接続する機器に合わせていずれかの接続方法をお選びください。
接続方法によっては、本機の設定が必要なものもあります。詳しくは、各接続項目の説明をご覧ください。

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくＬとＬ、ＲとＲを接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因となることがあります。

準備

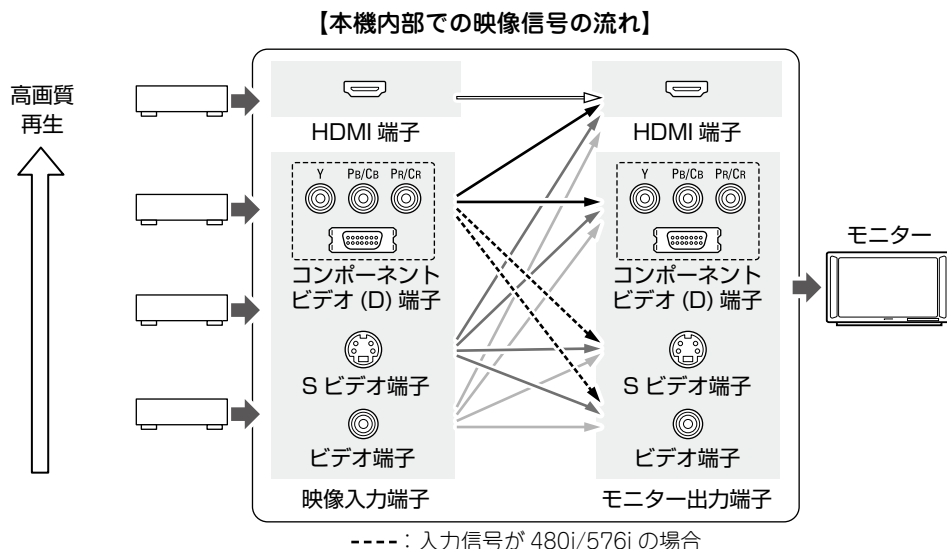
接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

ビデオコンバージョン機能

- この機能は、本機に入力されたさまざまな方式の映像信号を、本機からモニターに出力する映像信号方式に自動的に変換して出力するものです。
- 本機の映像入出力は、次の 4 つの映像信号に対応しています。
  デジタル映像信号：HDMI
  アナログ映像信号：コンポーネントビデオ、S ビデオ、ビデオ

【本機内部での映像信号の流れ】

----：入力信号が 480i/576i の場合

- この機能を使用しない場合は、映像入力端子と同じ種類の端子でモニターと接続してください。
- 本機と接続している HDMI 入力対応モニターの解像度は、メニューの "Information" – "HDMI Information" で確認できます（☞50 ページ）。

ご注意

- HDMI 信号は、アナログ信号に変換できません。
- コンポーネントビデオ入力の 1080p の信号は、コンポーネントビデオ以外の端子には出力できません。
- コンポーネントビデオ入力の 480p/576p、1080i および 720p の信号は、S ビデオ / ビデオ信号に変換できません。
- ゲーム機などの非標準ビデオ信号を入力した場合、ビデオコンバージョン機能が動作しない場合があります。

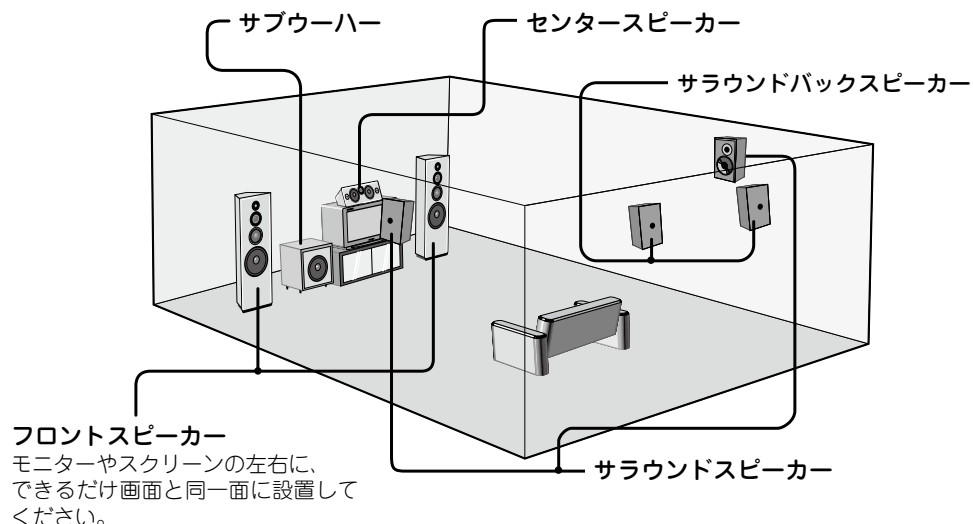
入力信号によるオンスクリーンディスプレイ表示について

本機に入力するビデオ信号の種類によって、オンスクリーンディスプレイ（OSD）表示のしかたが異なります。

使用しているビデオ入力	メニュー表示	操作時の一時的な状態表示（入力ソースや音量を切り替えたときの表示など）
HDMI端子、コンポーネント端子	OSDのみを表示	表示しません
Sビデオ端子、ビデオ端子	入力画像にOSDを重ねて表示	表示します

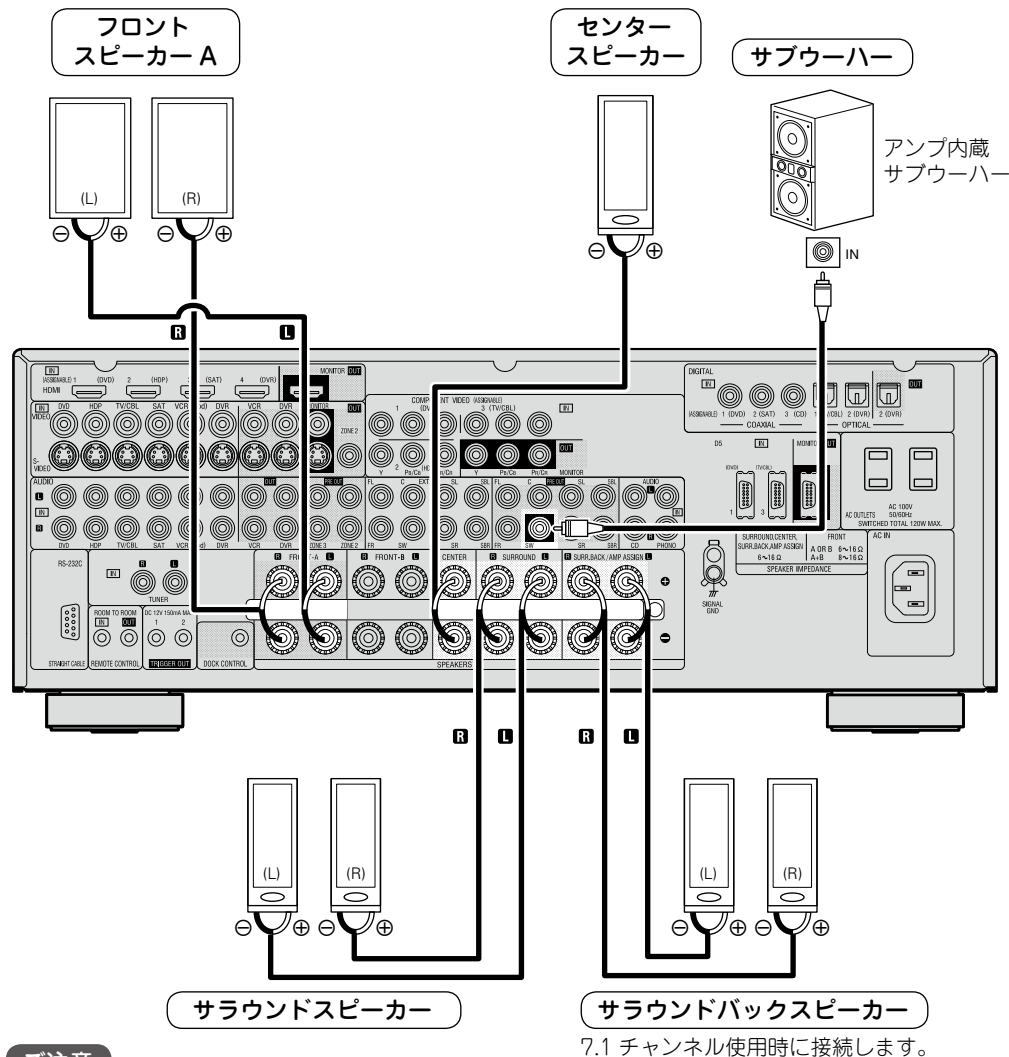
スピーカーの接続

スピーカーの設置

下図は、スピーカー（8 台）とモニターを組み合わせた基本的な設置例（7.1 チャンネル）です。

以下の表は、本機が対応している代表的なスピーカー構成です。

	フロントA/B		センター	サラウンド		サラウンドバック			サブウーハー
	L	R		L	R	L	R	1本のみ	
7.1チャンネル	○	○	○	○	○	○	○	–	○
6.1チャンネル	○	○	○	○	○	–	–	○	○
5.1チャンネル	○	○	○	○	○	–	–	–	○
3.1チャンネル	○	○	○	–	–	–	–	–	○
2.1チャンネル	○	○	–	–	–	–	–	–	○
2チャンネル	○	○	–	–	–	–	–	–	–

スピーカーの接続

【例】5.1/7.1 チャンネル

ご注意

サラウンドバックスピーカー：

- サラウンドバックスピーカーを 1 本のみお使いになる場合は、左チャンネル(SBL)に接続してください。

ゾーン 2 / ゾーン 3 スピーカー：

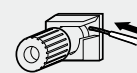
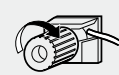
- ゾーン 2 または ゾーン 3 でサラウンドバックスピーカーから音声を出力する場合は、メニューの “Manual Setup” – “Option Setup” – “Amp Assign” を、“ZONE2” または “ZONE3” に設定してください。マルチゾーンで再生をおこなう場合は、「アンプアサインの設定とマルチゾーンの接続と操作」をご覧ください（☞64、65 ページ）。

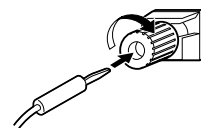
スピーカーケーブルを接続する

本機とご使用になるスピーカーの左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、＋（赤）、－（黒）をよく確認して、同じ極性を接続してください。

1 スピーカーケーブル先端の被覆を 10mm 程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理をおこなう。

2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。

3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。

4 スピーカー端子を右に回してしめる。

バナナプラグを使用する場合

スピーカー端子を強くしめてから、バナナプラグを差し込む。

ご注意

- スピーカーは、インピーダンスが 6 ～ 16 Ωのものをお使いください。また、フロントスピーカー A/B を同時に使用する場合は、8 ～ 16 Ωのものをお使いください。
- スピーカーケーブルは、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、＋側と－側が接触したりすると、保護回路が動作します（☞「保護回路について」）。
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。

保護回路について

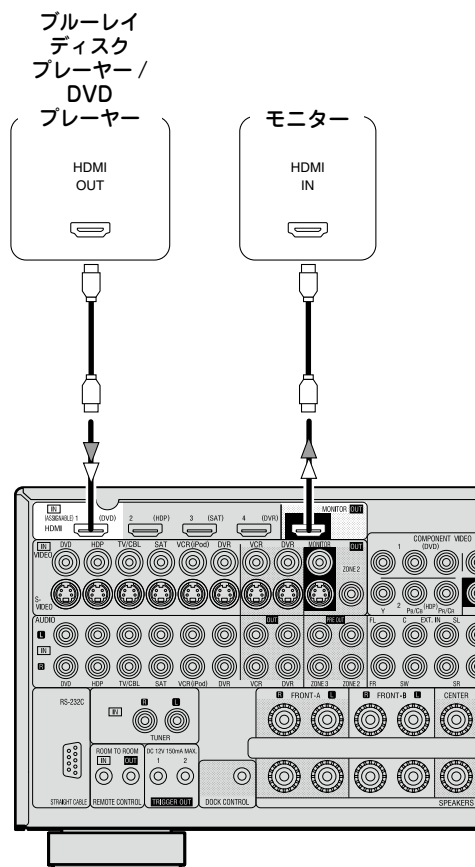
芯線がリアパネルやねじに接触したり、＋側と－側が接触したりすると、保護回路が動作して電源表示が約 0.5 秒間隔で赤色に点滅します。

保護回路が動作すると、スピーカー出力は遮断され、電源はスタンバイ状態になります。電源を切るか、電源コードを抜いてからスピーカーケーブルや入力ケーブルの接続を確認してください。

また、指定されたインピーダンス以下のスピーカー（例：4 Ω）を使用して大音量で再生すると、本機の温度が上昇して、保護回路が動作する場合があります。電源はスタンバイ状態になり、電源表示が約 2 秒間隔で赤色に点滅します。この場合は、電源を切って、周囲の通風状態を良くして、本機が冷えるのをお待ちください。

周囲の通風や接続に問題がないのにも関わらず保護回路が動作する場合は、本機が故障していることも考えられますので、電源を切った上で当社の修理相談窓口にご連絡ください。

HDMI 端子付き機器

HDMI で接続する場合は、映像および音声を HDMI ケーブル 1 本で伝送することができます。

- お買い上げ時の設定では、HDMI 音声を本機に接続されているスピーカーから出力します。
- テレビから音声を出力する場合は、メニューの“Manual Setup” - “HDMI Setup” - “HDMI Audio Out” - “TV”の設定をおこなってください（☞29 ページ）。

※ 本機は、HDMI のバージョン 1.3a に対応しています。他のバージョンとは互換性がありますので、HDMI 端子を装備した機器と接続してご使用いただけます。

※ 本機は、30 ビットと 36 ビットの Deep Color、xvYCC および Auto Lipsync に対応しています。

対応する音声フォーマット	詳　細	ディスク（例）
2 チャンネルリニア PCM	2ch 32-192kHz 16/20/24bits	CD、DVD-Video、DVD-Audio
マルチチャンネルリニア PCM	8ch 32-192kHz 16/20/24bits	DVD-Audio、Blu-ray
Dolby Digital、DTS	ビットストリーム	DVD-Video
DSD	2/5.1ch 2.8224MHz 1bit	SACD
Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD	ビットストリーム	Blu-ray

HDMI/DVI 変換ケーブル（アダプター）で接続する場合

- HDMI の映像信号は、DVI と原理的に互換性があります。
  DVI-D 端子付きモニターなどに接続する場合は、HDMI/DVI 変換ケーブルで接続できますが、機器の組み合わせによっては映像が出力されない場合があります。
- HDMI/DVI 変換アダプターを使用して接続する場合、接続したケーブルとの接触不良などにより映像が正しく出力されない場合があります。

著作権保護システム（HDCP）

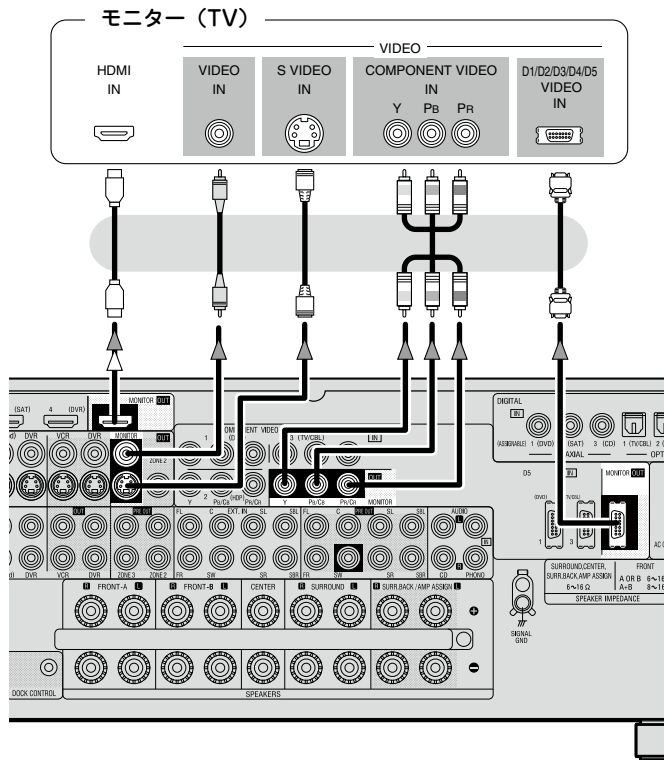
HDMI/DVI 接続を通して DVD ビデオや DVD オーディオのデジタル映像と音声を再生する場合は、接続されたブルーレイディスクプレーヤー /DVD プレーヤーとモニターの双方が HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）と呼ばれる著作権保護システムに対応している必要があります。
HDCP はデータの暗号化と相手機器の認証からなるコピープロテクション技術です。
本機は HDCP に対応しています。ご使用になるブルーレイディスクプレーヤー /DVD プレーヤーまたはモニターについては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

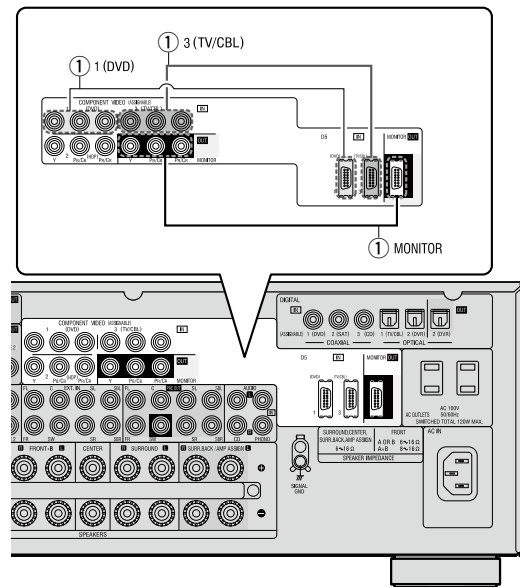
ご注意

- HDMI 端子から出力される音声信号（サンプリング周波数、ビット長など）は、接続する機器により制限される場合があります。
- HDCP に対応していない機器をご使用の場合は、映像が正しく出力されません。
- 入力された映像信号とモニターの解像度が合っていない場合は、映像が出力されません。このような場合は、ブルーレイディスクプレーヤー /DVD プレーヤーの解像度をモニターが対応している解像度に合わせてください。
- メニューの“Manual Setup” - “HDMI Setup” - “HDMI Audio Out”の設定（☞29 ページ）が“AMP”のときにモニターの電源を切ると、音声が途切れる場合があります。
- HDMI 端子の接続には、HDMI ロゴが表記されているケーブル（HDMI 認証品）をお使いください。HDMI ロゴが表記されていないケーブル（HDMI 非認証品）を使用すると、正しく再生できない場合があります。
- モニターまたはブルーレイディスクプレーヤー /DVD プレーヤーが Deep Color に対応していない場合は、Deep Color での伝送ができません。
- モニターまたはブルーレイディスクプレーヤー /DVD プレーヤーが xvYCC に対応していない場合は、xvYCC での伝送ができません。
- モニターが Auto Lipsync に対応していない場合、オートリップシンク補正機能は動作しません。
- 本機は HDMI の CEC（Consumer Electronics Control）機能に対応しています。次の点にご注意ください。
  - ・接続する機器や設定によって、動作しない場合があります。
  - ・HDMI の CEC 機能に対応していないテレビやプレーヤーは操作できません。

- 本機とブルーレイディスクプレーヤー /DVD プレーヤーを HDMI ケーブルで接続した場合は、本機とモニターも HDMI ケーブルで接続してください。
- 接続するモニターまたはブルーレイディスクプレーヤー /DVD プレーヤーが DVI-D 端子のみ対応の場合は、HDMI/DVI 変換ケーブルをお使いください。**DVI ケーブルをお使いの場合、音声信号は伝送されません。**
- Deep Color 対応の機器と接続する場合は、Deep Color 対応のケーブルをお使いください。

モニターの接続

- お使いになる端子を選んで接続してください（☞11 ページ「ビデオコンバージョン機能」）。
- HDMI で接続する場合は、映像および音声を HDMI ケーブル 1 本で伝送することができます。
- HDMI 接続したテレビから音声を再生する場合は、メニューの“Manual Setup”–“HDMI Setup”–“HDMI Audio Out”を“TV”に設定してください（☞29 ページ）。
- テレビの音声を本機で聞きたい場合は、光デジタルまたはアナログ接続をしてください。
  お使いのテレビに、両方の接続端子が装備されている場合は、光デジタル接続をしてください。

コンポーネントビデオ（D）端子のご使用について

① コンポーネントビデオ端子と D 端子は、同時に接続できません。接続する機器に合わせてどちらか片方を接続してください。

- モニターによって、コンポーネントビデオ端子の表示が異なります。詳しくは、モニターの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の D 端子は、D1 ～ D5（480i、480p、1080i、720p、1080p）の映像端子に対応しています。
- 本機の D 端子をコンポーネント変換ケーブルで接続した場合、D 端子から入力された解像度などの識別信号は出力されません。

ご注意

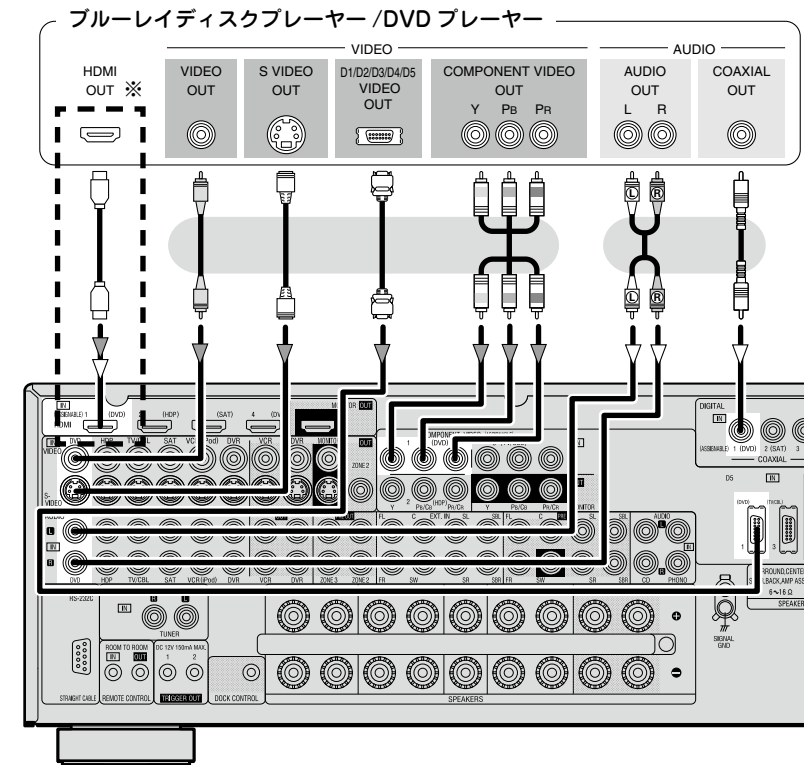
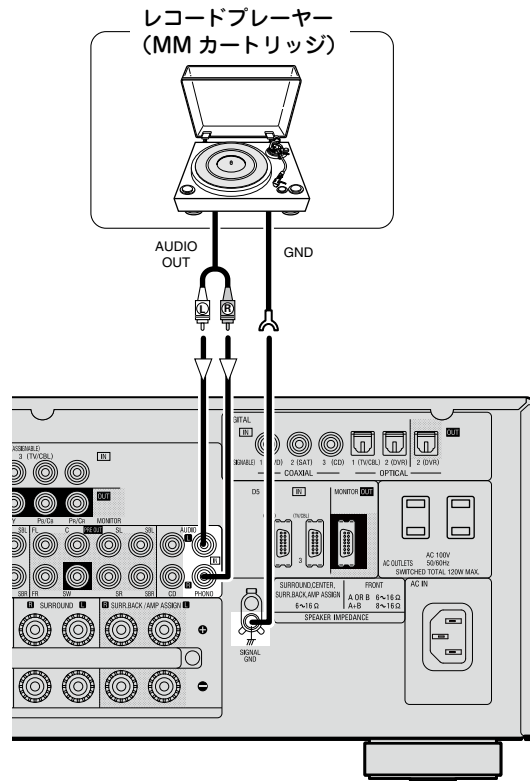
HDMI 入力端子から音声信号が入力された場合のみ、HDMI モニター出力端子から音声を出力します。

再生機器の接続

左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、入力（IN）、出力（OUT）を確認してから、正しく接続してください。

ブルーレイディスクプレーヤー / DVD プレーヤー

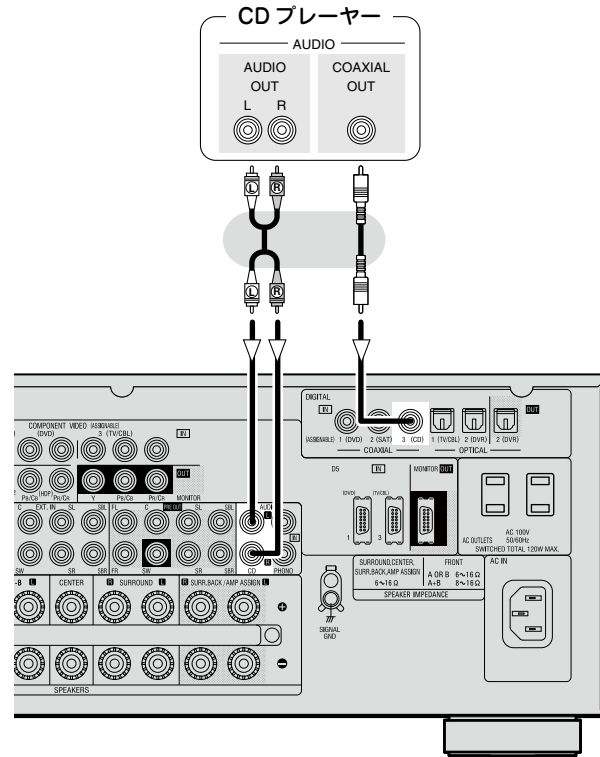
お使いになる端子を選んで接続してください。

※ 本機をブルーレイディスクプレーヤーと接続して Dolby TrueHD、DTS-HD または Dolby Digital Plus を再生する場合は、HDMI 接続をしてください。

デジタル音声の接続に光伝送ケーブルをお使いになる場合は、メニューの“Input Setup”-“Assign”-“Digital In”の設定をおこなってください（☞37 ページ）。

レコードプレーヤー

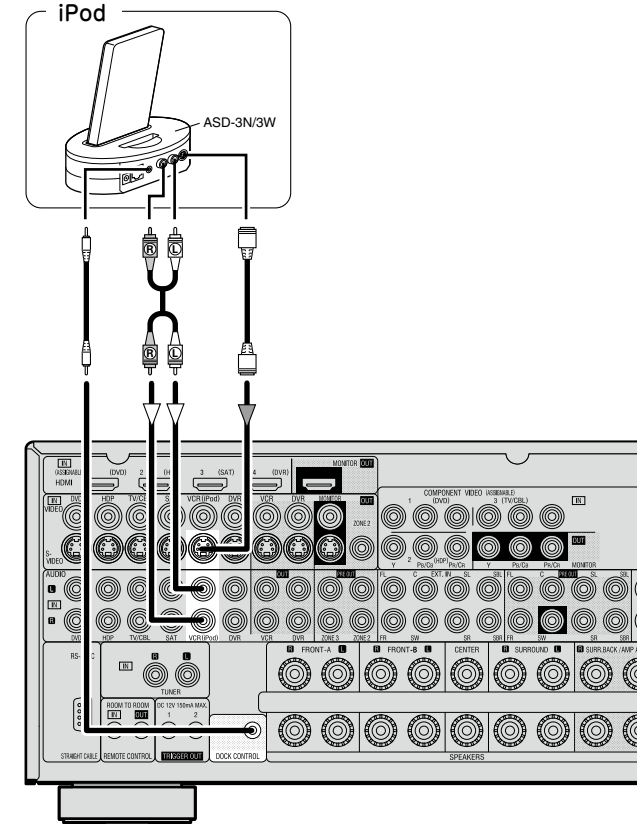
- MC カートリッジ付きのレコードプレーヤーを接続する場合は、市販の MC ヘッドアンプまたは昇圧トランスをご使用ください。
- レコードプレーヤーを接続せずに音量を上げたときに、“ブーン”という誘導ハム音がスピーカーから出力される場合があります。
- レコードプレーヤーによっては、アースワイヤーを接続しているときに雑音が発生する場合があります。このような場合は、アースワイヤーを外してください。
- PHONO イコライザー内蔵のレコードプレーヤーを使用する場合は、PHONO イコライザーを“オフ”に設定してください。

ご注意

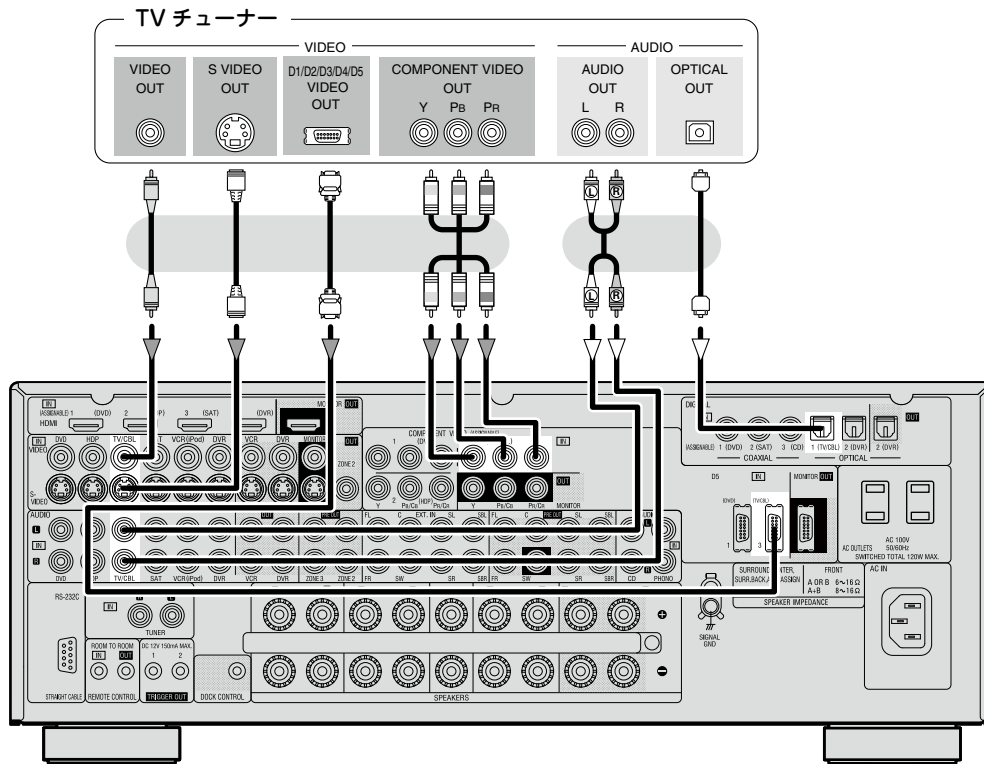
本機の SIGNAL GND 端子は、レコードプレーヤーを接続した場合に雑音の低減をはかるもので、安全アースではありません。

CD プレーヤー

デジタル音声の接続に光伝送ケーブルをお使いになる場合は、メニューの “Input Setup” – “Assign” – “Digital In” の設定をおこなってください（☞37 ページ）。

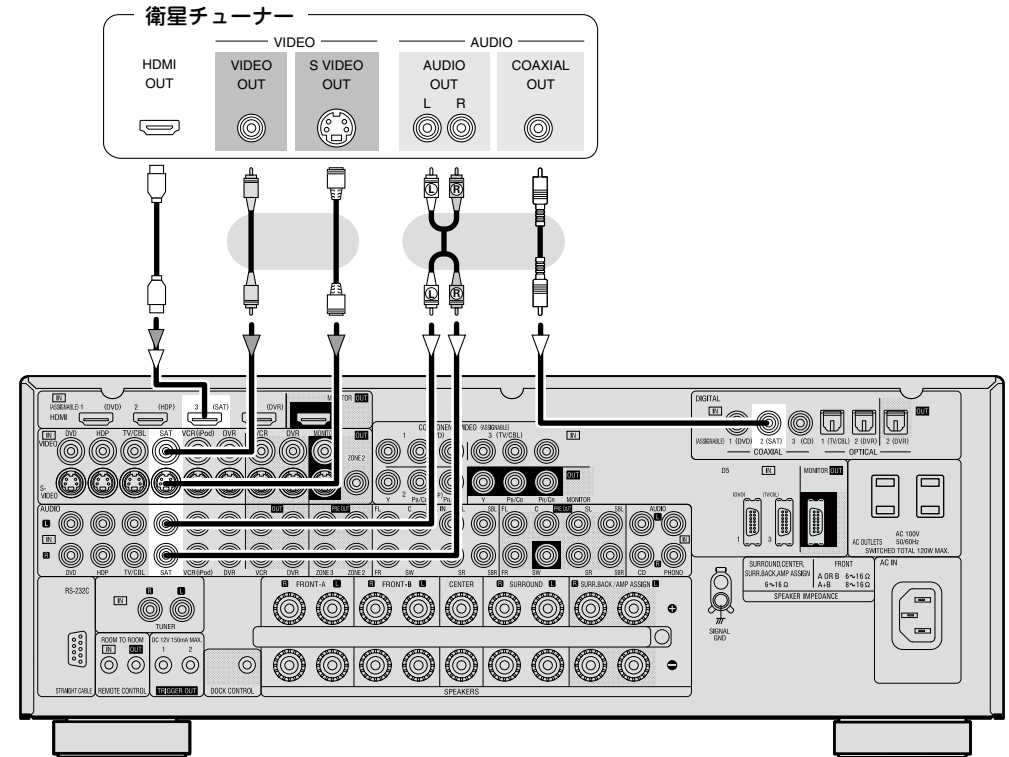
iPod®

本機と iPod の接続には、DENON 製 iPod 用コントロールドック（ASD-1R、ASD-11R、ASD-3N または ASD-3W、別売り）をお使いください。この場合、iPod 用コントロールドック側の設定も必要です。詳しくは、iPod 用コントロールドックの取扱説明書をご覧ください。

- お買い上げ時の設定では、iPod を VCR（iPod）端子に接続してお使いいただけます。
- iPod を VCR（iPod）端子以外に割り当てたい場合は、iPod Dock を割り当てたい入力ソースで、メニューの “Input Setup” – “Assign” – “iPod Dock” の設定をおこなってください（37 ページ）。

TV チューナー

お使いになる端子を選んで接続してください。

デジタル音声の接続に同軸デジタル（75 Ωピンプラグ）ケーブルをお使いになる場合は、メニューの“Input Setup”–“Assign”–“Digital In”の設定をおこなってください（☞37 ページ）。

衛星チューナー

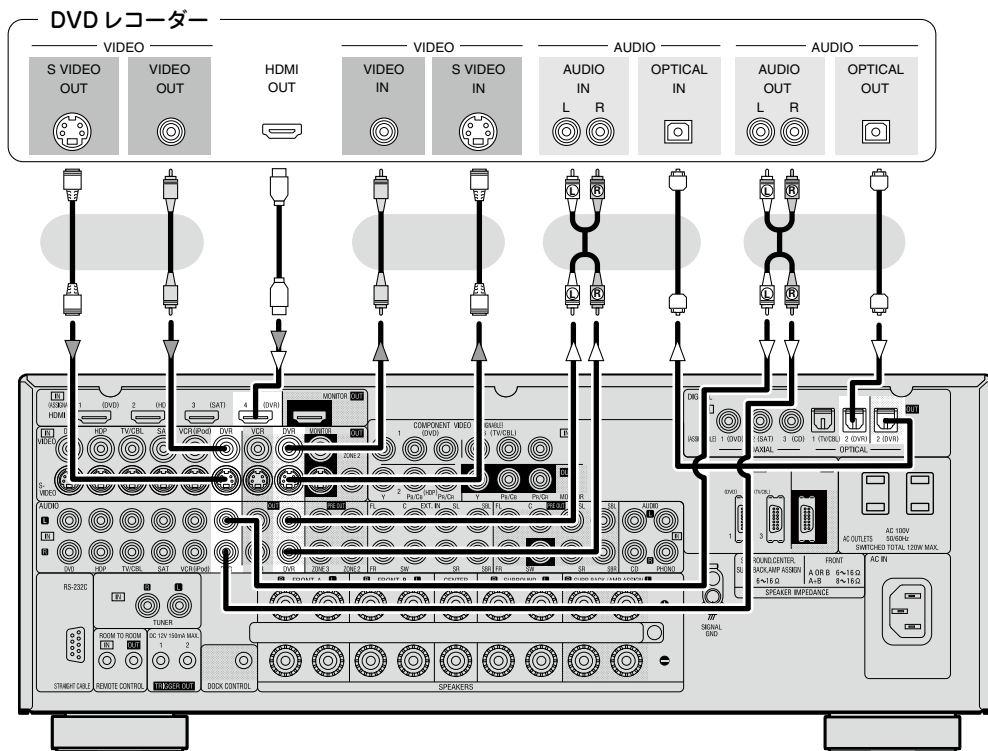
お使いになる端子を選んで接続してください。

- デジタル音声の接続に光伝送ケーブルをお使いになる場合は、メニューの“Input Setup”–“Assign”–“Digital In”の設定をおこなってください（☞37 ページ）。
- 映像の接続にコンポーネントビデオ用ケーブルや D 端子用ケーブルをお使いになる場合は、メニューの“Input Setup”–“Assign”–“Component In”の設定をおこなってください（☞37 ページ）。

録音 / 録画機器の接続

左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、入力（IN）、出力（OUT）を確認してから、正しく接続してください。

DVD レコーダー

お使いになる端子を選んで接続してください。

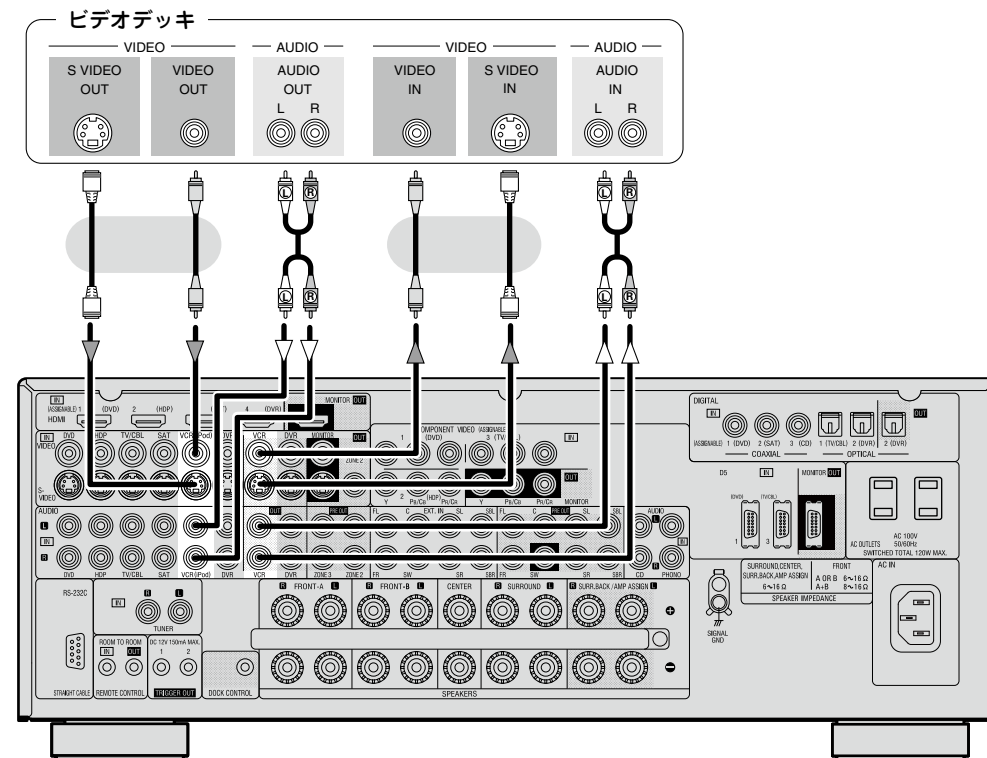
✎

- アナログ音声を録音する場合は、アナログ接続をしてください。
- 本機を通して録音する場合は、再生機器のケーブルの種類を本機の DVR 出力端子に接続するケーブルの種類と同じにする必要があります。
  例：TV 入力 → S ビデオケーブル：DVR 出力 → S ビデオケーブル
  TV 入力 → 映像用 75 Ωピンプラグケーブル：DVR 出力 → 映像用 75 Ωピンプラグケーブル
- 映像の接続にコンポーネントビデオ用ケーブルや D 端子用ケーブルをお使いになる場合は、メニューの“Input Setup”-“Assign”-“Component In”の設定をおこなってください（☞37 ページ）。

ご注意

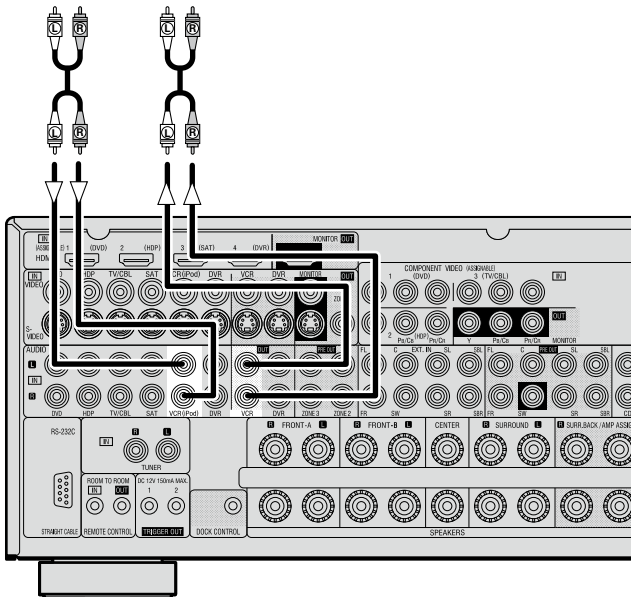
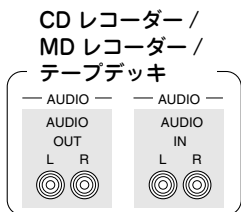
本機の OPTICAL2 出力端子に接続した機器の出力を、OPTICAL2 入力端子以外に接続しないでください。

ビデオデッキ

お使いになる端子を選んで接続してください。

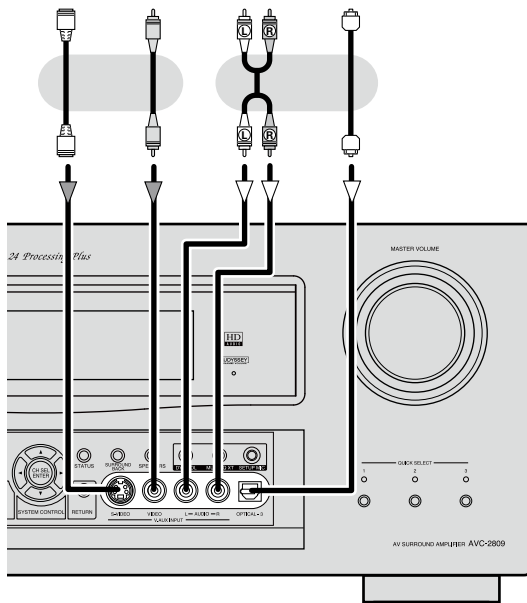
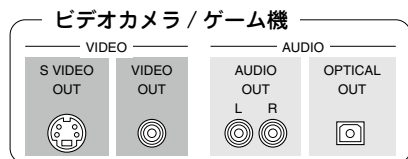
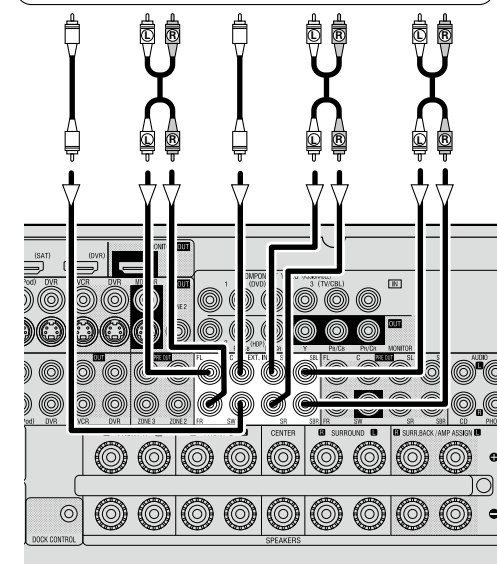
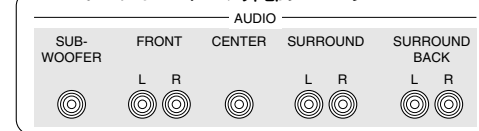
✎

- 本機を通して録音する場合は、再生機器のケーブルの種類を本機の VCR 出力端子に接続するケーブルの種類と同じにする必要があります。
  例：TV 入力 → S ビデオケーブル：VCR 出力 → S ビデオケーブル
  TV 入力 → 映像用 75 Ωピンプラグケーブル：VCR 出力 → 映像用 75 Ωピンプラグケーブル
- 映像の接続に D 端子用ビデオケーブルをお使いになる場合は、メニューの“Input Setup”-“Assign”-“Component In”の設定をおこなってください（☞37 ページ）。

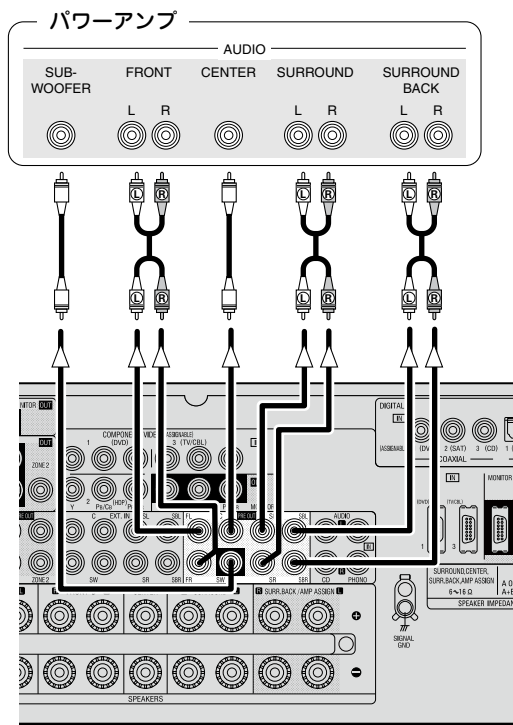
CD レコーダー /MD レコーダー / テープデッキ

お使いになる端子を選んで接続してください。

- お使いになる機器の端子に合わせて、アナログ音声を録音する場合はアナログ接続を、デジタル音声を録音する場合はデジタル接続をしてください。
- 本機を通して録音する場合は、再生機器のケーブルの種類を本機の VCR 出力端子に接続するケーブルの種類と同じにする必要があります。
  例：CD 入力 → ステレオピンプラグケーブル：
  VCR 出力 → ステレオピンプラグケーブル

その他の機器の接続

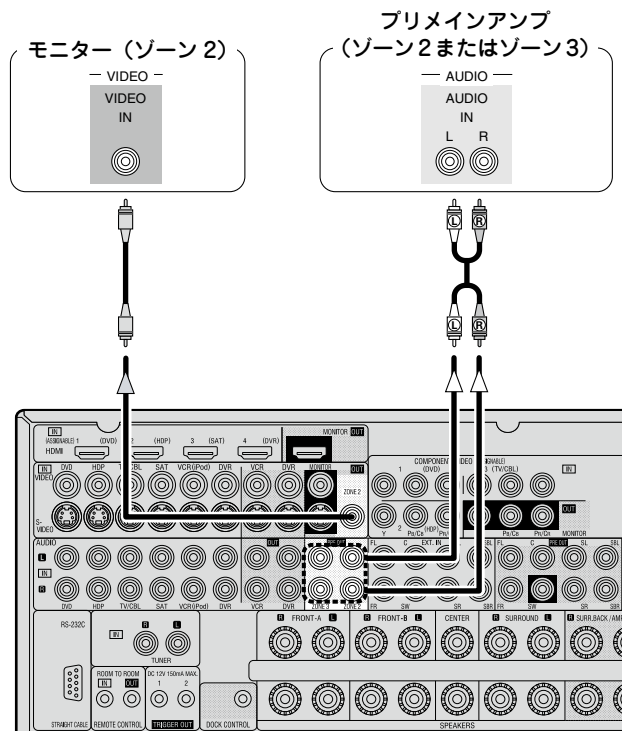
左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、入力（IN）、出力（OUT）を確認してから、正しく接続してください。

ビデオカメラ / ゲーム機

マルチチャンネル出力端子がある機器

- ハイビジョン（MUSE 3-1 方式）を接続するとき、サラウンドチャンネル出力がモノラルの場合には、市販のモノ / ステレオケーブルをお使いください。
- 外部入力（EXT. IN）端子に入力されたアナログ入力信号を再生する場合は、本体の **INPUT MODE** ボタンまたはリモコンの **INPUT** ボタンを押して“EXT. IN”を選ぶか、メニューの“Input Setup”–“Input Mode”–“Input Mode”–“EXT. IN”の設定をおこなってください（☞39 ページ）。
- 映像信号はブルーレイディスクプレーヤー /DVD プレーヤーと同じ方法で接続することができます（☞14 ページ）。
- 著作権保護がかかったディスクを再生する場合は、本機の外部入力 (EXT. IN) 端子とブルーレイディスクプレーヤー /DVD プレーヤーのアナログマルチチャンネル出力端子を接続してください。

外部のパワーアンプ

サラウンドバックスピーカーを 1 本のみご使用になる場合は、左チャンネル（SBL）に接続してください。

マルチゾーン

ゾーン 2 またはゾーン 3 のプリアウト接続

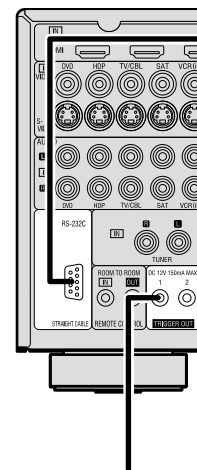
- 本機にパワーアンプまたはプリメインアンプを接続すると、ゾーン 2 とゾーン 3 で別のプログラムソースを同時に楽しむことができます（☞64 ～ 66 ページ）。
- 本機と入力機器の接続に S ビデオケーブルまたはビデオケーブルをお使いになる場合は、ビデオ端子に接続してください。
- ゾーン 2（またはゾーン 3）ビデオ信号は、ZONE2（または ZONE3）出力端子にのみ出力します。

ご注意

- 音声出力については、誘導ハム音や雑音がないように高品質のピンプラグケーブルをお使いください。
- 別売りの機器の設置や操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- マルチゾーンで再生をおこなう場合は、「アンプアサインの設定とマルチゾーンの接続と操作」をご覧ください（☞64、65 ページ）。

外部のコントロール機器

RS-232C 端子

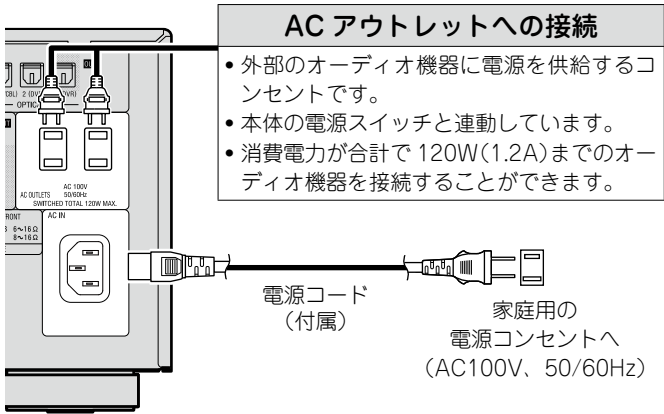
外部のコントロール機器から本機を操作することができます。

※ RS-232C 端子を使用して外部コントローラーから本機を操作する場合は、あらかじめ次の操作をおこなってください。
① 本機の電源スイッチを“▬ON”にする。
② 外部コントロール機器から本機の電源を切る。
③ 本機がスタンバイ状態になっていることを確認する。

トリガー出力端子

トリガー入力端子を持つ外部機器の電源を、本機の操作に連動させて入 / 切できます。詳しくは、メニューの“Manual Setup”－“Option Setup”－“Trigger Out”をご覧ください（☞35 ページ）。
- 出力レベル：DC 12V 150mA MAX
  接続する機器のトリガー入力条件を確認してください。

- RF リモートコントローラー（RC-7000CI、別売り）や RF リモートレシーバー（RC-7001RCI、別売り）を組み合わせて使用すると、本機とリモートコントローラーとの間で双方向通信がおこなえます。
  本機のステータス情報や iPod の音楽ファイルのブラウズが、RF リモートコントローラーのディスプレイを見ながら操作できます。
  詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- RF リモートコントローラーや RF リモートレシーバーと組み合わせてお使いになる場合は、メニューの“Manual Setup”－“Option Setup”－“232C Port”－“2Way Remote”の設定をおこなってください（☞35 ページ）。
- メニューの“Manual Setup”－“Option Setup”－“232C Port”を“2Way Remote”に設定している場合は、RS-232C 端子を外部コントローラー用としては使用できません（☞35 ページ）。

電源コードの接続

すべての接続が終わってから、電源コードを接続してください。

AC アウトレットへの接続

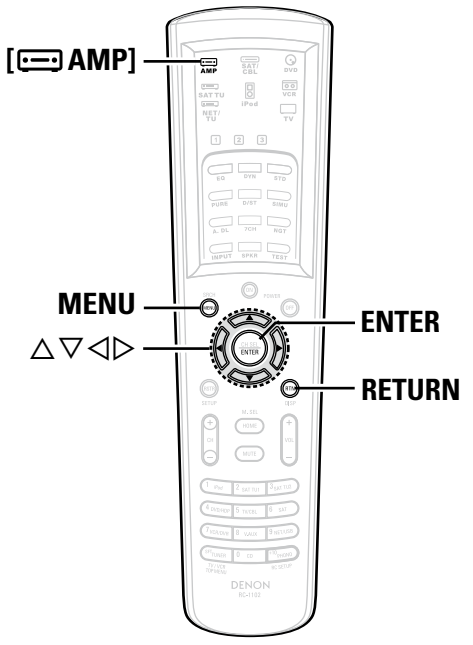
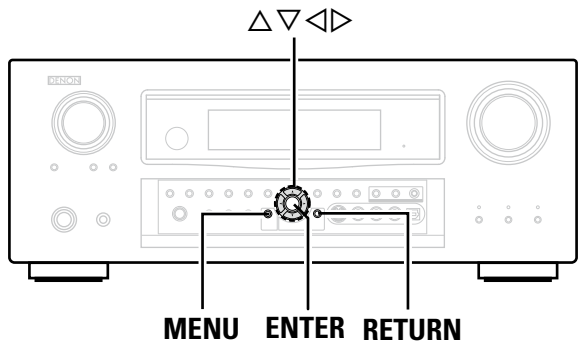
- 外部のオーディオ機器に電源を供給するコンセントです。
- 本体の電源スイッチと連動しています。
- 消費電力が合計で 120W（1.2A）までのオーディオ機器を接続することができます。

ご注意

- 電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- AC アウトレットへは、オーディオ機器の電源プラグを差し込んでください。ドライヤーなどオーディオ機器以外の電源としては使用しないでください。
- AC インレット（AC IN）のアース端子は接続されていません。

接続が終わったら

電源を入れる （☞51 ページ）

メニュー操作

本機では、ほとんどの機能の設定や操作を、モニター画面に表示されたメニューで操作することができます。

メニューの操作のしかた

本体でもリモコンでも同じ操作ができます。

1 **MENU を押す。**
メニューが表示されます（☞21、22ページ）。
※ リモコンで操作する場合は、あらかじめリモコンをアンプモードにしてください（☞58ページ）。

2 **△▽を押して、設定/操作したいメニューを選び、ENTER を押す。**

3 **△▽を押して、設定/操作したい項目を選び、ENTER を押す。**

4 **設定を変更する場合は、△▽で変更したい項目を選び、◁▷で設定を変更する。**
※ 前の項目に戻る場合は、**RETURN** を押してください。
※ “Default Yes” を選んだ後に ◁ を押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

5 **ENTER を押して、設定を確定する。**

6 **MENU を押して終了する。**

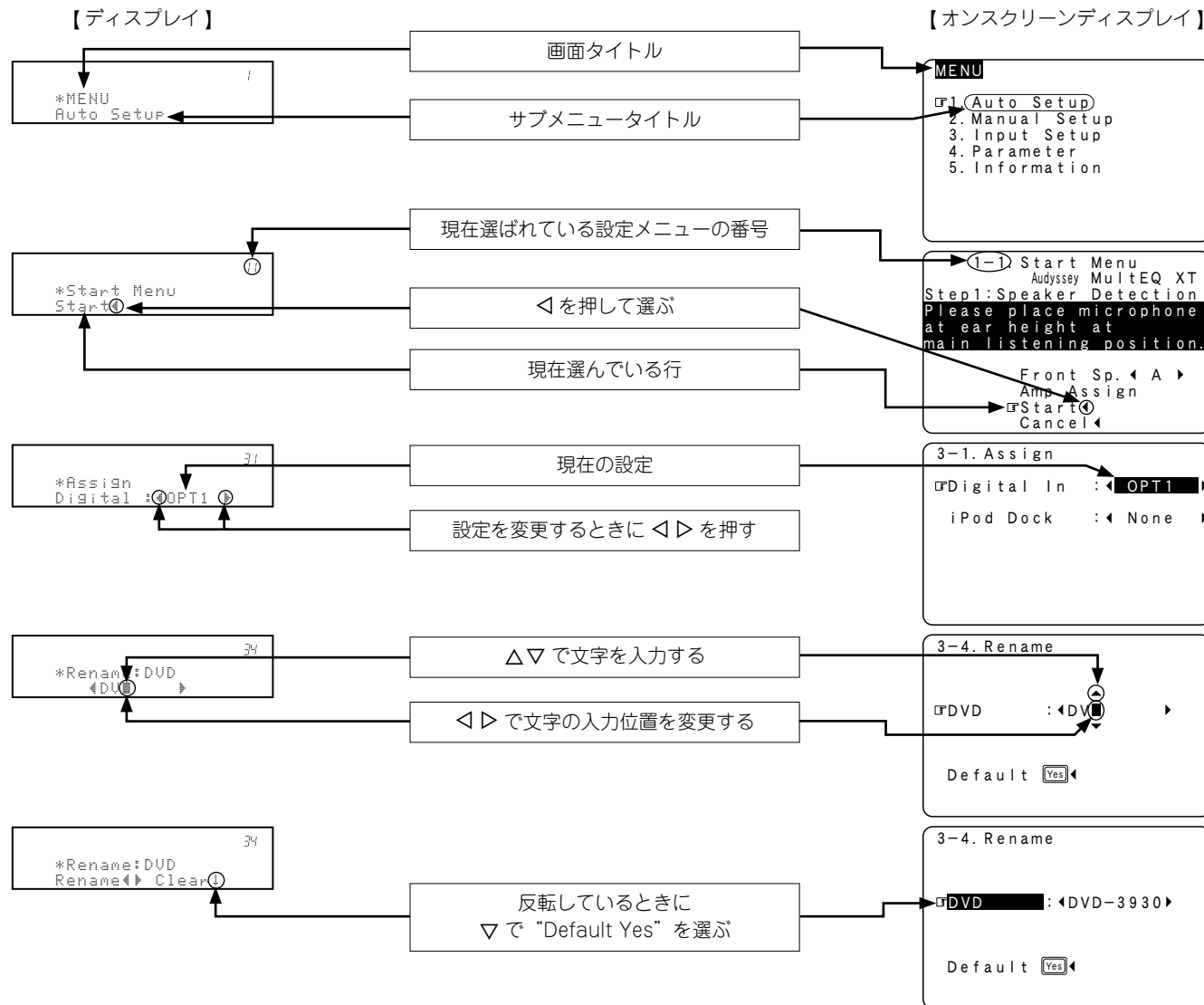
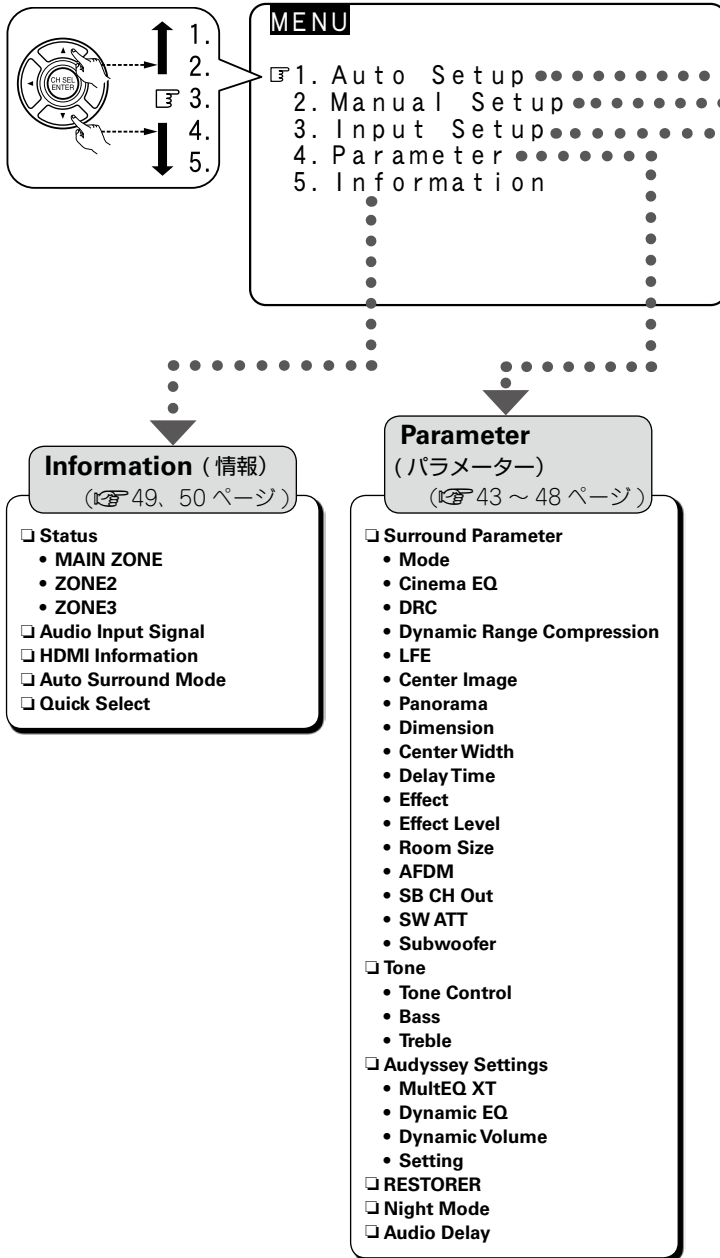
MENU を押すと、それまでに設定した内容を確定して、設定メニューを解除します。

お買い上げ時の設定（初期設定）の表示例

枠線が付いている項目は、お買い上げ時の設定項目または設定値です。

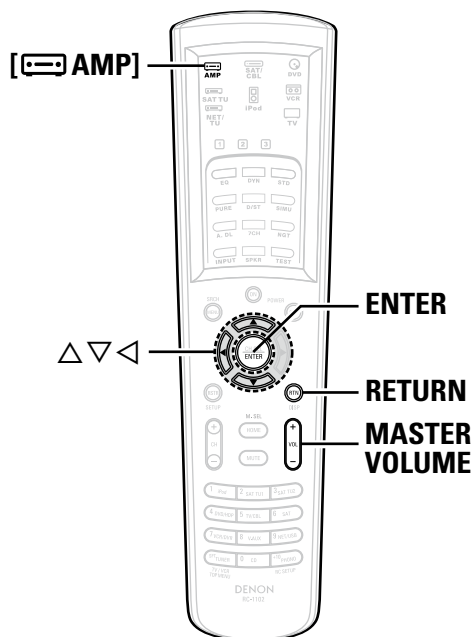
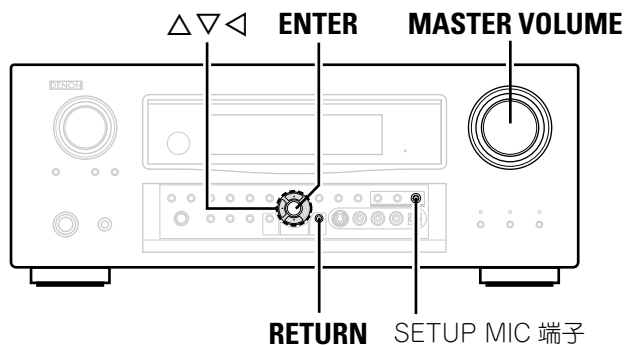
【選択できる項目】 A B A + B

オンスクリーンディスプレイとディスプレイ表示例

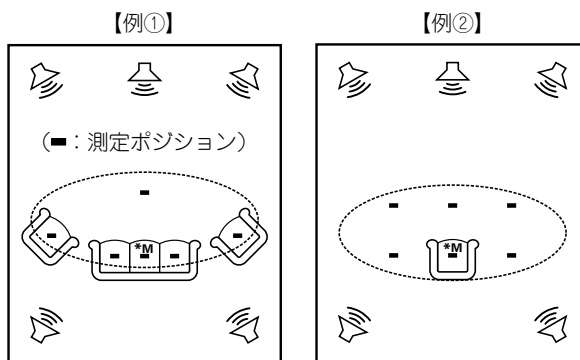
代表的な例を説明します。

メニューマップ

MENU
1. Auto Setup
2. Manual Setup
3. Input Setup
4. Parameter
5. Information
CH SEL
ENTER
1.
2.
3.
4.
5.
Auto Setup（オートセットアップ）（☞23 ～ 26 ページ）
❏ Start Menu
• Step 1: Speaker Detection
• Step 2: Measurement
• Step 3: Calculation
• Step 4: Check
• Step 5: Store
❏ Parameter Check
• Speaker Configuration Check
• Distance Check
• Channel Level Check
• Crossover Frequency Check
• EQ Check
• Restore
Manual Setup（マニュアル設定）（☞27 ～ 35 ページ）
❏ Speaker Setup（☞27 ～ 29 ページ）
• Speaker Configuration
• Subwoofer Setup
• Distance
• Channel Level
• Crossover Frequency
• Front Speaker Setup
❏ HDMI Setup（☞29、30 ページ）
• Color Space
• RGB Range
• Auto Lipsync
• HDMI Audio Out
• HDMI Control
• Power Off Control
❏ Audio Setup（☞30 ～ 32 ページ）
• EXT. IN Subwoofer Level
• 2ch Direct/Stereo
• Dolby Digital Setup
• Auto Surround Mode
• EQ Preset
• Bilingual Mode
❏ Zone Setup（☞32、33 ページ）
• ZONE2 Setup
• ZONE3 Setup
❏ Option Setup（☞33 ～ 35 ページ）
• Amp Assign
• Volume Control
• Source Delete
• On-Screen Display
• Quick Select Name
• Trigger Out
• Remote ID Setup
• 232C Port
• Display
• Setup Lock
Input Setup（入力の設定）（☞36 ～ 40 ページ）
❏ PHONO
• Video
• Input Mode
• Rename
• Source Level
❏ DVD, HDP, TV/CBL, SAT, VCR, DVR, V.AUX, TUNER, CD
• Assign
• Video
• Input Mode
• Rename
• Source Level
• iPod
Information（情報）（☞49、50 ページ）
❏ Status
• MAIN ZONE
• ZONE2
• ZONE3
❏ Audio Input Signal
❏ HDMI Information
❏ Auto Surround Mode
❏ Quick Select
Parameter（パラメーター）（☞43 ～ 48 ページ）
❏ Surround Parameter
• Mode
• Cinema EQ
• DRC
• Dynamic Range Compression
• LFE
• Center Image
• Panorama
• Dimension
• Center Width
• Delay Time
• Effect
• Effect Level
• Room Size
• AFDM
• SB CH Out
• SW ATT
• Subwoofer
❏ Tone
• Tone Control
• Bass
• Treble
❏ Audyssey Settings
• MultEQ XT
• Dynamic EQ
• Dynamic Volume
• Setting
❏ RESTORER
❏ Night Mode
❏ Audio Delay

Auto Setup（オートセットアップ）

取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの → **BUTTON**
本体のみにあるもの → **<BUTTON>**
リモコンのみにあるもの → **[BUTTON]**

- 本機のオートセットアップ機能 Audyssey MultEQ® XT は、リスニングルームの音響特性の測定・解析・設定を自動的におこない、最適なホームシアターオーディオ環境を提供します。
- オートセットアップは付属のセットアップマイク（DM-A409）を使っておこないます。
- 測定は、【例①】に示すように、リスニングエリア全体の複数の位置に付属のセットアップマイクを連続的に配置しておこないます。最善の結果を得るには、図のように 6 ポジションで測定することをおすすめします。
  リスニング環境が【例②】に示すように狭い場合でも、リスニングエリア全体の複数の位置で測定すると、より精度が高い設定ができます。

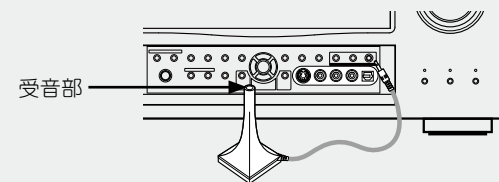
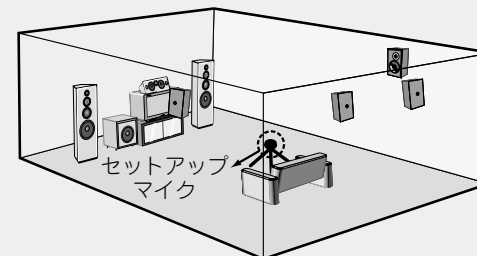
【例①】

【例②】

メインリスニングポジション（*M）について
メインリスニングポジションとは、リスナーが一人のときに音場のほぼ中心に座る位置をいいます。 Audyssey MultEQ XT はこの位置からの測定値を用いて、スピーカー距離、レベル、極性およびサブウーハーの最適なクロスオーバー周波数を計算します。

設定のマニュアル調節については、27 ～ 29 ページをご覧ください。

準備

1 付属のセットアップマイク（校正済み）を本機の SETUP MIC 端子に接続する。

自動的にオートセットアップ画面が表示されます。

2 セットアップマイクを三脚またはスタンドに取り付けて、メインリスニングポジションに設置し、受音部を耳の高さにする。

※ セットアップマイクを手で持ちながらオートセットアップをおこなわないでください。
※ セットアップマイクと各スピーカーの間には障害になるものがないようにしてください。
※ セットアップマイクを座席の背もたれや壁の近くに置くと、音の反響で正しい測定ができない場合があります。

サブウーハーをお使いになる場合は、オートセットアップをおこなう前に、次の設定をおこなってください。

- ダイレクトモード機能を搭載しているサブウーハーの場合は、"オン"にして音量と周波数の調節を無効にしてください。
- ダイレクトモード機能がないサブウーハーの場合は、次のように設定してください。
  - 音量：“12 時”の位置
  - クロスオーバー周波数：“最大 / 最高周波数”
  - ローパスフィルター：“オフ”
  - スタンバイモード：“オフ”

ご注意

- セットアップマイクは、オートセットアップが終わるまで抜かないでください。
- ヘッドホンを使用している場合は、オートセットアップをおこなう前に、ヘッドホンのプラグを抜いてください。

Auto Setup

（オートセットアップ）

お使いになるスピーカーに最適な設定を自動的におこないます。

1 Start Menu（スタートメニュー）

自動的に設定をします。

【オートセットアップの流れ】

Step 1:Speaker Detection（スピーカー構成の検出）

↓

Step 2：Measurement（測定）

↓

Step 3：Calculation（解析）

↓

Step 4：Check（解析結果）

↓

Step 5：Store（保存）

ご注意

- オートセットアップの測定中に、大きなテストトーンを出力しますが、これは正常な動作です。室内の騒音が大きいとさらにテストトーンの音量が大きくなります。
- 測定中は、スピーカーとセットアップマイクとの間に立ったり、障害物を置いたりしないでください。正しい測定ができなくなります。
- できるだけ部屋を静かにしてください。騒音は測定の妨げとなります。窓を閉め、テレビ、ラジオ、エアコン、蛍光灯などの電化製品をオフにしてください。測定はこれらの騒音の影響を受けることがあります。
  測定中、携帯電話はリスニングルームとは別の場所に置いてください。携帯電話の電波が測定を妨害する原因になることがあります。
- 測定中に **MASTER VOLUME** を操作すると、測定を中止します。

オートセットアップについて

Audyssey MultEQ XT オートセットアップ機能が、各スピーカーの有無やサイズ、チャンネルレベル、距離、クロスオーバー周波数の最適設定を自動的に計算します。また、Audyssey MultEQ XT がリスニングエリア内の音響歪みを補正します。

オートセットアップをはじめると、Audyssey MultEQ XT は各スピーカーからテストトーンを出力します。

スタートの前にすべてのスピーカーを接続し、設置してください。

※ オートセットアップをはじめる前に（☞①）

環境に合わせて必要であれば、以下の項目を設定してからおこなってください。

❑ Front Speaker（フロントスピーカー）

測定するフロントスピーカーをあらかじめ選びます。

【選択できる項目】

A	：フロントスピーカー A からテストトーンを出力します。
B	：フロントスピーカー B からテストトーンを出力します。
A＋B	：フロントスピーカー A と B からテストトーンを出力します。

❑ Amp Assign（アンプの割り当て）

パワーアンプの割り当てを変更します。

サウンドバックスピーカーを、マルチゾーンやフロントチャンネルのバイアンプ用に使用することができます。（お買い上げ時の設定：7.1ch）

上級者向けの設定です（☞33 ページ）。

Step 1：Speaker Detection

（ステップ 1：スピーカー構成の検出）

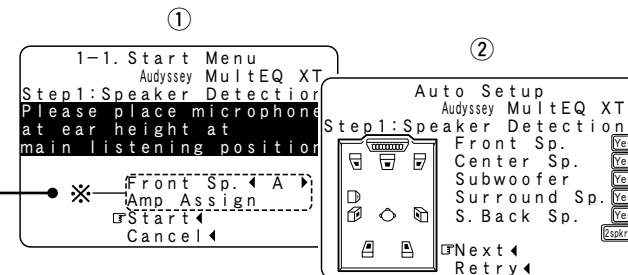
●メニュー画面●

①

```
1-1.Start Menu
     Audyssey MultEQ XT
Step1:Speaker Detection
Please place microphone
at ear height at
main listening position

※ Front Sp.◀ A ▶
   Amp Assign
  ☞Start◀
   Cancel◀
```

②

```
Auto Setup
     Audyssey MultEQ XT
Step1:Speaker Detection
   Front Sp.       Yes
   Center Sp.      Yes
   Subwoofer       Yes
   Surround Sp.    Yes
   S.Back Sp.      Yes
                   2spkrs
  ☞Next◀
   Retry◀
```

スピーカーの接続の有無と極性を最初の測定位置（メインリスニングポジション）で検出し、スピーカーのサイズ・チャンネルレベル・距離・クロスオーバー周波数の測定をおこないます。

① “Start ◀” を選び、◁ を押す。
  - メインリスニングポジションの測定をはじめます。

② “Next ◀” を選び、◁ を押す。

❑ オートセットアップをキャンセルするには

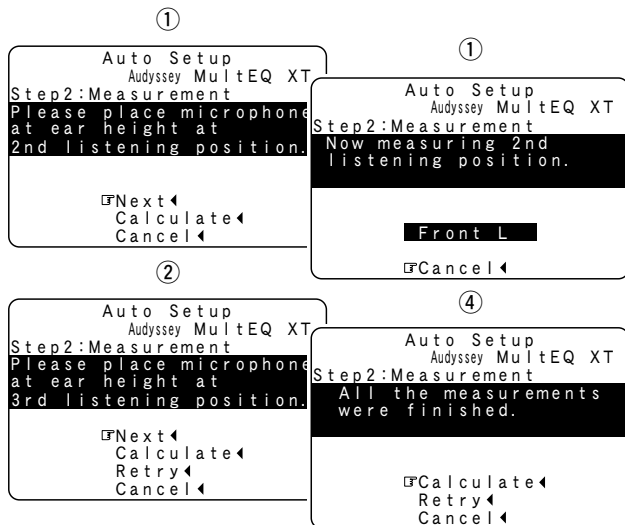
△▽ で “Cancel ◀” を選び、◁ を押す。

- 測定中にエラーメッセージが表示された場合は、「エラーメッセージ」（☞26 ページ）をご覧になり、必要な処理をおこなってから再びオートセットアップをおこなってください。
- 接続している状態と異なる結果が出た場合や、エラーメッセージが表示された場合は、「エラーメッセージ」（☞26 ページ）をご覧になり、▽ で “Retry ◀” を選んだ後に ◁ を押して、再びオートセットアップをおこなってください。
- 再測定後の結果も、接続している状態と異なる結果が出た場合や再度エラーメッセージが表示された場合は、接続を間違えている可能性がありますので、必ず一度本機の電源を切ってからスピーカーの接続を確かめて、最初から測定をやり直してください。

ご注意

“Step 1” の測定をおこなった後に、スピーカーの接続やサブウーハーの音量を変更しないでください。

Step 2 : Measurement
（ステップ２：測定）

●メニュー画面●

① “Next ◀” を選び、◁ を押す。
- ２ポジション目の測定をはじめます。
- ▽ で “Calculate ◀” を選んだ後に ◁ を押すと、Step ３へ進みます。

② セットアップマイクを３ポジション目に移動し、◁ を押す。
- ３ポジション目の測定をはじめます。
- ▽ で “Calculate ◀” を選んだ後に ◁ を押すと、Step ３へ進みます。

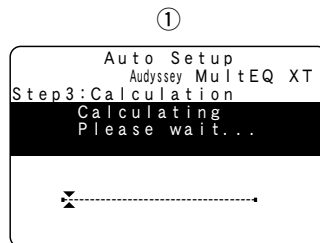
③ ６ポジションかそれ以上までくり返し測定してください。最大８ポジションまで測定できます。

④ ８ポジションの測定が完了すると、オンスクリーンディスプレイに “All the measurements were finished.” が表示されます。
- “Calculate ◀” を選んだ後に ◁ を押すと、Step ３へ進みます。

❑ オートセットアップをキャンセルするには
△▽ で “Cancel ◀” を選び、◁ を押す。

1 ポジション目の測定が完了したら、セットアップマイクを次の位置に移動してください。最低６ポジション（メインリスニングポジションとその周囲の最低５ポジション）で測定します。６ポジション未満でも測定を完了することはできますが、最善の結果を得るには、６ポジション以上（最大８ポジション）で測定することをおすすめします。

Step 3 : Calculation
（ステップ３：解析）

●メニュー画面●

得られた測定値を自動的に解析し、リスニングルームにおけるそれぞれのスピーカーの特性を決定します。

① Step 2 で “Calculate ◀” を選び、◁ を押す。
- 解析をはじめます。

- 解析には数分間かかります。
- 解析時間は、接続されたスピーカーの数と測定ポジション数に依存します。スピーカー数が多ければ多いほど、解析に要する時間は長くなります。

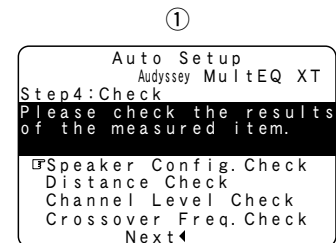
ご注意

- 測定をおこなった後に、スピーカーの接続やサブウーハーの接続を変更しないでください。もし変更した場合は、オートセットアップを再度おこなってください。
- 例えば、スピーカーの位置や向きを変えた場合は、最適な EQ 補正を得るために再度オートセットアップをおこなってください。

Step 4 : Check
（ステップ４：解析結果）

●メニュー画面●

①

Auto Setup
Audyssey MultEQ XT
Step4:Check
Please check the results
of the measured item.
☞Speaker Config.Check
Distance Check
Channel Level Check
Crossover Freq.Check
Next◂

解析が終わったら、次の 4 項目の解析結果を確認します。

① △▽ で項目を選び、**ENTER** を押す。
- スピーカーの有無やサイズ
  “Speaker Config. Check”
- リスニングポジションからのスピーカーの距離
  “Distance Check”
- スピーカーのチャンネルレベル
  “Channel Level Check”
- クロスオーバー周波数
  “Crossover Freq. Check”

② ▽△ で各スピーカーの表示を切り替える。

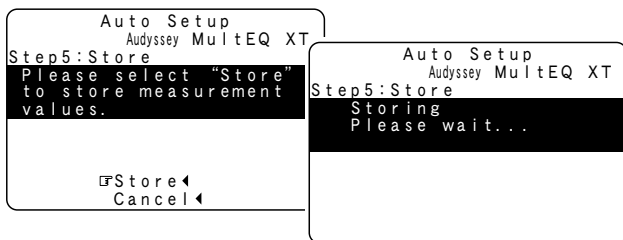
③ **RETURN** を押す。
解析結果の項目に戻りますので、①の操作をくり返しおこなってください。

④ ▽ で “Next ◀” を選んだ後に ◁ を押すと、Step 5 へ進みます。

フィルター内蔵スピーカー（サブウーハーなど）では、実際の距離と異なる値が表示される場合があります。これは、フィルターが信号に電気的遅延を加えているためです。

Step 5 : Store
（ステップ５：保存）

●メニュー画面●

①

オートセットアップの測定結果を、本機に保存します。

① "Store ◀" を選び、◁ を押す。
- 保存中はオンスクリーンディスプレイに "Storing Please wait..." が表示されます。
- 保存が終了すると、オンスクリーンディスプレイに "Storing complete. Auto Setup is now finished." が表示されます。

② 本機からセットアップマイクを抜く。

❑ 保存をキャンセルするには

△▽ で "Cancel ◀" を選び、◁ を押す。
- 測定されたすべてのオートセットアップデータを消去します。

ご注意 測定結果の保存中は、電源を切らないでください。

2 Parameter Check（パラメーター確認）

オートセットアップの測定結果を確認します。
（このメニュー項目は、オートセットアップ実行後に表示されます。）

【確認できる項目】

Speaker Config. Check（スピーカー構成確認）

Distance Check（距離確認）

Channel Level Check（チャンネルレベル確認）

Crossover Freq. Check（クロスオーバー周波数確認）

EQ Check（EQ確認）

"Restore" を選ぶと、各設定を手動で変更した場合でもオートセットアップの結果（MultEQ XT が当初計算した値）に戻すことができます。

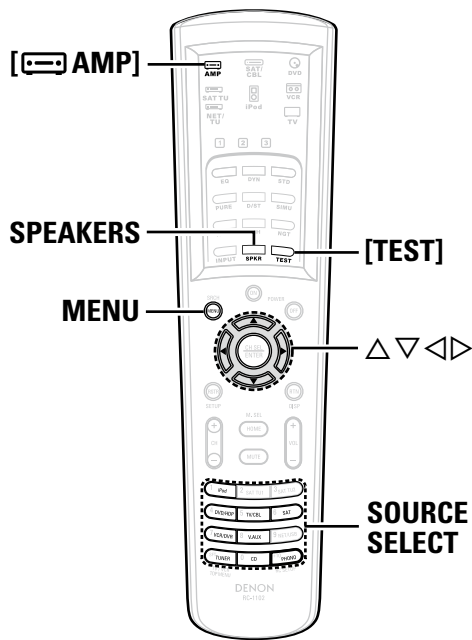
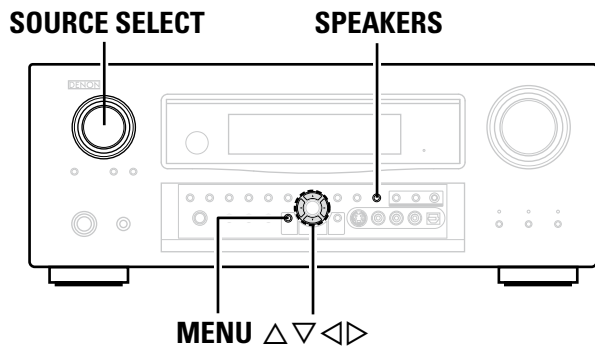
エラーメッセージ

スピーカーの設置や測定環境などにより、オートセットアップを完了できなかった場合に、エラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示された場合は、関連する項目をチェックし、必要な処理をおこなってください。問題点を修正したら、再びオートセットアップをおこなってください。

エラーメッセージ（例）	原　因	処　理
Auto Setup Audyssey MultEQ XT Caution! ☞Microphone:None or Speaker :None Retry◀ Cancel◀	● 付属のセットアップマイクが接続されていません。 ● すべてのスピーカーが検出されません。 ● フロント左スピーカーが正しく検出されません。	● 付属のセットアップマイクを本機の SETUP MIC 端子に接続してください。 ● スピーカーの接続を確認してください。
Auto Setup Audyssey MultEQ XT Caution! ☞Ambient noise is too high or Level is too low. Retry◀ Cancel◀	● 部屋の騒音が大きいため、正しく測定できません。 ● スピーカーやサブウーハーの音量が小さいため、正しく測定できません。	● 騒音を発生する機器の電源を切るか、遠ざけてください。 ● 周囲がより静かなときに再度試みてください。 ● スピーカーの設置や向きを確認してください。 ● サブウーハーの音量を調節してください。
Auto Setup Audyssey MultEQ XT Caution! ☞◀Front ▶ R :None Retry◀ Cancel◀	● 表示されたスピーカーが検出されませんでした。 ・フロント右スピーカーが正しく検出されません。 ・サラウンドスピーカーの片方のチャンネルしか検出されていません。 ・サラウンドバックスピーカーを 1 台のみ接続している場合に、右チャンネルから検出されました。 ・サラウンドバックスピーカーが検出されましたが、サラウンドスピーカーが検出されません。	● 表示されたスピーカーの接続を確認してください。
Auto Setup Audyssey MultEQ XT Caution! ☞◀Front ▶ L :Phase Retry◀ Cancel◀ Skip◀	● 表示されたスピーカーの極性が、逆に接続されています。	● 表示されたスピーカーの極性を確認してください。 ● スピーカーによっては、正しく接続されていてもこのエラーメッセージが表示される場合があります。接続が正しければ、"Skip" を選んでください。

再度測定をおこなう場合は、"Retry" を選んでください。

ご注意 スピーカーの接続を確認する前に、必ず電源を切ってください。

Manual Setup（マニュアル設定）

いろいろなパラメーターの詳細な設定をおこないます。

Speaker Setup
（スピーカーの設定）

スピーカーを手動で設定する場合、またはオートセットアップで設定された内容を変更する場合におこなってください。

●メニュー画面●

1 Speaker Configuration
（スピーカーの構成）

スピーカーの有り・無しや低音域再生能力によるスピーカーの大きさの分類を選びます。

Front Speaker（フロント）

フロントスピーカーの大きさを選びます。

【選択できる項目】 **Large** Small

Center Speaker（センター）

センタースピーカーの有り・無しや大きさを選びます。

【選択できる項目】 Large **Small** None

Subwoofer（サブウーハー）

サブウーハーの有り・無しを選びます。

【選択できる項目】 **Yes** No

Surround Speaker（サラウンド）

サラウンドスピーカーの有り・無しや大きさを選びます。

【選択できる項目】 Large **Small** None

Surround Back Speaker（サラウンドバック）

サラウンドバックスピーカーの有り・無しや大きさを選びます。

【選択できる項目】 Large **Small** None
2spkrs 1spkr

Large：低音域を十分に再生できる能力があるスピーカーを使用するときに選びます。

Small：低音域の再生能力が十分でない小型スピーカーを使用するときに選びます。

None：スピーカーを使用しないときに選びます。

Yes：サブウーハーを使用するときに選びます。

No：サブウーハーを使用しないときに選びます。

2spkrs **1spkr**：使用するサラウンドバックスピーカーの数を選びます。

サラウンドバックスピーカーを設定していても、再生するソースによっては、サラウンドバックスピーカーから音声が出力されない場合があります。このような場合は、メニューの“Parameter”–“Surround Parameter”–“SB CH Out”の設定を“OFF”以外に設定してください（☞45ページ）。

各メニューの選択 / 設定 / 解除については「メニューの操作のしかた」（☞20 ページ）をご覧ください。

- “Large” と “Small” の選択は、スピーカーの外形で判断せずに、“Crossover Frequency”（☞29 ページ）で設定した周波数を基準とした低域再生能力で判断してください。
- “Front Speaker” を “Small” に設定すると、“Subwoofer” の設定は自動的に “Yes” になります。
- “Subwoofer” を “No” に設定すると、“Front Speaker” の設定は自動的に “Large” になります。
- “Surround Speaker” を “None” に設定すると、“Surround Back Speaker” の設定は自動的に “None” になります。
- “Front Speaker” を “Small” に設定した場合 “Center Speaker” および “Surround Speaker” を “Large” に設定することはできません。
- サラウンドバックスピーカーを 1 本のみ使用する場合は、左チャンネル（SBL）に接続してください。
- “Amp Assign” が “7.1ch” 以外に設定されている場合、“Surround Back Speaker” は表示されません。

2 Subwoofer Setup（サブウーハーの設定）

サブウーハーで再生する低音域信号を選びます。

【選択できる項目】

LFE ：“Small” に設定したチャンネルの低音域と LFE 信号を再生します。

LFE+Main ：すべてのチャンネルの低音域信号と LFE 信号を再生します。

- メニューの “Speaker Configuration” - “Subwoofer” の設定が “Yes” のときに設定できます。
- 音楽ソースや映画ソースを再生して、量感のある低音域が得られる方のモードを選んでください。
- 常にサブウーハーから低音域信号を出力したい場合は、“LFE+Main” を選んでください。

3 Distance（距離）

リスニングポジションからスピーカーまでの距離を設定します。
設定をおこなう前に、リスニングポジションから各スピーカーまでの距離を測っておいてください。

Unit（ユニット）

距離の単位を選びます。

【選択できる項目】 **Meters** **Feet**

Step（ステップ）

ステップ（最小可変距離）を切り替えます。

【選択できる項目】

0.1m **0.01m** ：“Meters” のときに表示されます。

1ft **0.1ft** ：“Feet” のときに表示されます。

Default（初期化）

設定を初期化します。

距離の設定

設定したいスピーカーを選び、距離を設定します。
測定した距離に最も近い値に設定してください。

【可変できる範囲】

0.00m ~ 18.00m ：“Meters” のときに表示されます。

0.0ft ~ 60.0ft ：“Feet” のときに表示されます。

ご注意

リスニングポジションから各スピーカーまでの距離の差は、6.00m（20.0ft）以下に設定してください。

4 Channel Level（チャンネルレベル）

すべてのスピーカーからの音量が同じになるように各チャンネルのレベルを調節します。

Test Tone（テストトーン）

テストトーンの再生方法を選びます。

【選択できる項目】

Auto ：テストトーンを出力するスピーカーを自動的に切り替えます。

Manual ：テストトーンを出力するスピーカーを手動で選びます。

Test Tone Start（テストトーンスタート）

テストトーンを出力します。

【可変できる範囲】 **OFF*** **–12dB** ~ **0dB** ~ **+12dB**

＊：サブウーハーの場合 “–12dB” のときに音量を下げる操作をおこなうと、“OFF（なし）” の設定になります。

Default（初期化）

設定を初期化します。

リモコンでも操作できます

テストトーンによる調節は、下記の通りリモコンからでもおこなえます。
リモコンでのテストトーンによる調節は “Auto” のみで、STANDARD（Dolby/DTS サラウンド）モード時に有効です。調節したレベルは上記各サラウンドモードに自動的に記憶されます。

① **[TEST]** を押す。
テストトーンを各スピーカーより出力します。
② ◁ ▷ ボタンを押して各スピーカーの音量が同じになるように調節する。
③ 調節が終わったら、もう一度 **[TEST]** を押す。

- メニューの “Speaker Configuration” - “Surround Back Speaker” の設定が “1spkr” の場合、サラウンドバックスピーカーの表示は “SB” になります。
- “Speaker Configuration” の設定で、“None” に設定されているスピーカーは表示されません。
- “Channel Level” を調節すると、調節された値がすべてのサラウンドモードに対して設定されます。サラウンドモード別にチャンネルレベルを調節する場合は、56 ページをご覧ください。

各メニューの選択 / 設定 / 解除については「メニューの操作のしかた」（☞20 ページ）をご覧ください。

5 Crossover Frequency （クロスオーバー周波数）

サブウーハーから出力する各スピーカーの低音域信号を何 Hz 以下にするかを選びます。

【選択できる項目】

40Hz 60Hz **80Hz** 90Hz 100Hz 110Hz 120Hz 150Hz 200Hz 250Hz：

サブウーハーから出力される各スピーカーの低音域信号を、設定された周波数以下で出力します。
お使いになるスピーカーの低域再生能力に合わせて設定してください。

Advanced：

各スピーカーごとに、クロスオーバー周波数を設定します。

- "Advanced"の設定では、メニューの"Subwoofer Setup"が"LFE"の場合は、"Speaker Configuration"で"Small"に設定されているスピーカーの設定ができます。また、"LFE+Main"の場合は、スピーカーの大きさに関係なく設定ができます。
- "Small"に設定されたスピーカーの場合、クロスオーバー周波数以下の音をカットして出力します。カットした低音域は、サブウーハーまたはフロントスピーカーから出力します。
- クロスオーバー周波数は、通常"80Hz"に設定してください。ただし、小型スピーカーを使用する場合は、より高い周波数に設定することをおすすめします。

6 Front Speaker Setup （フロントスピーカーの設定）

各サラウンドモードで使用するフロントスピーカーを選びます。

【選択できる項目】

Normal：設定を変更する場合は、"Custom"を選びます。

Custom："Custom"を選ぶと、サラウンドモードごとに使用するフロントスピーカーをあらかじめ選ぶことができます。

【選択できる項目】

DIRECT/STEREO：**A** B A+B

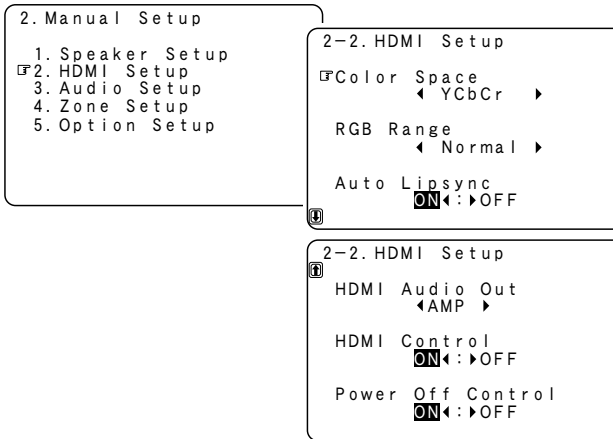
MULTI CH：**A** B A+B

ご注意

"Custom"に設定すると、**SPEAKERS** は操作できません。

HDMI Setup（HDMI 設定）

HDMI の映像 / 音声出力に関する設定をします。

●メニュー画面●

1 Color Space （カラースペース）

出力する色空間方式を設定します。

【選択できる項目】

YCbCr：YCbCr 方式で出力します。

RGB：RGB 方式で出力します。

HDMI/DVI 変換ケーブルを使用して、DVI-D 端子付きモニター（HDCP 対応）と接続した場合は、設定内容に関わらず RGB 形式で出力します。

2 RGB Range （RGB 映像レンジ）

出力する RGB 映像レンジを設定します。

【選択できる項目】

Normal：16（黒）〜 235（白）の映像レンジで出力します。

Enhanced：0（黒）〜 255（白）の映像レンジで出力します。黒色が浮く場合に設定します。

"Color Space"の設定が"YCbCr"の場合、この設定は無効になります。

3 Auto Lipsync （オートリップシンク）

出力する音声と映像の時間のずれを自動的に修正します。

【選択できる項目】 **ON** OFF

4 HDMI Audio Out （HDMI 音声出力）

HDMI の音声の出力先を設定します。

【選択できる項目】

AMP：本機に接続されたスピーカーで再生します。

TV：接続されたテレビで再生します。

ご注意

HDMI コントロール機能が働いているときは、接続されたテレビ側の音声を再生する設定を優先します（☞55 ページ「HDMI コントロール機能」）。

各メニューの選択 / 設定 / 解除については「メニューの操作のしかた」（☞20 ページ）をご覧ください。

5 HDMI Control（HDMI コントロール）

HDMI コントロール機能のオン / オフを設定します。

【選択できる項目】 ON　**OFF**

- 接続している機器の設定は、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 詳しくは、「HDMI コントロール機能」をご覧ください（☞55 ページ）。

6 Power Off Control（パワーオフコントロール）

HDMI コントロール機能で電源オフを連動させます。

【選択できる項目】 **ON**　OFF

- “HDMI Control”の設定が“ON”のときに設定できます。
- 接続している機器の設定は、各機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- “HDMI Control”の設定を変更した場合は、変更後必ず接続機器の電源を切り、電源を入れ直してください。
- 本機の電源を切った場合は、HDMI コントロール機能およびパワーオフコントロール機能は働きません。
  電源を入れるかスタンバイ状態にしてください。
- 詳しくは、「HDMI コントロール機能」をご覧ください（☞55 ページ）。

Audio Setup（音声の設定）

音声の再生に関する設定をします。

●メニュー画面●

```
2.Manual Setup

 1.Speaker Setup
 2.HDMI Setup
☞3.Audio Setup
 4.Zone Setup
 5.Option Setup
```

```
2-3.Audio Setup

☞1.EXT. IN SW Level
 2.2ch Direct/Stereo
 3.Dolby Digital Setup
 4.Auto Surround Mode
 5.EQ Preset
 6.Bilingual Mode
```

1 EXT. IN Subwoofer Level（外部入力のサブウーハーレベルの設定）

EXT. IN モードで再生するときのサブウーハーレベルの設定をします。

【選択できる項目】 0dB　+5dB　+10dB　**+15dB**

“+15dB”に設定することをおすすめします。

2 2ch Direct/Stereo（2ch ダイレクト / ステレオ）

2 チャンネルモードで再生するときのスピーカーの各種設定をします。

Setting（設定）

設定を変更する場合は、“Custom”を選びます。

【選択できる項目】

Basic：“Speaker Setup”と同じ設定で再生します。

Custom：2 チャンネルモード専用の設定をします。

Front（フロント）

フロントスピーカーの大きさを選びます。

【選択できる項目】 **Large**　Small

Subwoofer（サブウーハー）

サブウーハーの有り・無しを選びます。

【選択できる項目】 **Yes**　No

Subwoofer Mode（サブウーハーモード）

サブウーハーで再生する低音域信号を選びます。

【選択できる項目】 **LFE**　LFE+Main

Crossover（クロスオーバー）

クロスオーバー周波数を設定します。

【選択できる項目】

40Hz　60Hz　**80Hz**　90Hz　100Hz　110Hz　120Hz　150Hz　200Hz　250Hz

Distance FL（フロント左までの距離）

リスニングポジションからフロントスピーカー左までの距離を設定します。

【可変できる範囲】 0.00m ~ 18.00m

Distance FR（フロント右までの距離）

リスニングポジションからフロントスピーカー右までの距離を設定します。

【可変できる範囲】 0.00m ~ 18.00m

ご注意

リスニングポジションから各スピーカーまでの距離の差は、6.00m（20.0ft）以下に設定してください。

各メニューの選択 / 設定 / 解除については「メニューの操作のしかた」（☞20 ページ）をご覧ください。

❸ Dolby Digital Setup
（ドルビーデジタル再生時の設定）

Dolby Digital ソースをダウンミックスで再生するときのダイナミックレンジの設定をします。

【選択できる項目】

ON ：圧縮します。フロントスピーカーの音がひずんで聞こえるときに選びます。

OFF ：圧縮しません。推奨の設定です。

- フロントスピーカーの音が歪んで聞こえる場合は、“ON” に設定してください。
- センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを使用しない場合、再生音はダウンミックスしてフロントスピーカーから出力します。

❹ Auto Surround Mode
（オートサラウンドモード）

入力信号の種類ごとにサラウンドモードの設定を記憶します。

【選択できる項目】

ON ：記憶します。ラストメモリーしたサラウンドモードで自動的に再生します。

OFF ：記憶しません。入力信号が変化してもサラウンドモードは切り替わりません。

- オートサラウンドモードは、次の 4 種類の入力信号に対して、最後に再生したサラウンドモードを記憶させることができます。
  ① アナログや PCM の 2 チャンネル信号
  ② Dolby Digital や DTS などの 2 チャンネル信号
  ③ Dolby Digital や DTS などのマルチチャンネル信号
  ④ Dolby Digital や DTS 以外の DSD や PCM のマルチチャンネル信号
- PURE DIRECT モードで再生中は、入力信号が変化してもサラウンドモードは切り替わりません。

❺ EQ Preset（EQ プリセット）

MultEQ XT に関する設定やマニュアル EQ をあらかじめ設定します。

EQ Customize（EQ カスタマイズ）

使用しない “MultEQ XT” や “Manual EQ” をあらかじめ設定すると、本体やリモコンで “Manual EQ” を選んだときにスキップすることができます。

❑ オートセットアップの前に

【選択できる項目】

Manual : **Used** **Not used**

❑ オートセットアップの後に

【選択できる項目】

Audyssey Byp. L/R : **Used** **Not used**

Audyssey Flat : **Used** **Not used**

Manual : **Used** **Not used**

Direct Mode（ダイレクトモード）

DIRECT や PURE DIRECT モードで “MultEQ XT” を使用するかどうかを選びます。

【選択できる項目】

ON ：“MultEQ XT” を使用します。

OFF ：“MultEQ XT” を使用しません。

Manual EQ（マニュアル EQ）

グラフィックイコライザーを使用して、各スピーカーの音色を調節します。

❑ Default（初期化）

設定を初期値に戻します。

❑ Base Curve Copy（ベースカーブコピー）

“MultEQ XT” の “Audyssey Flat” の補正カーブをコピーします。

“Base Curve Copy” は、オートセットアップをおこなった後に表示されます。

❑ Adjust CH（調節チャンネル）

① スピーカーの調節方法を選びます。

【選択できる項目】

Each CH ：各スピーカーごとに音色を調節します。

L/R CH ：左右のペアごと一緒に音色を調節します。

All CH ：すべてのスピーカーの音色を一緒に調節します。

② スピーカーや周波数帯を選び、レベルを調節します。

【選択できる項目】 **63Hz** **125Hz** **250Hz** **500Hz** **1kHz** **2kHz** **4kHz** **8kHz** **16kHz**

【可変できる範囲】 **–20dB** ～ **0dB** ～ **+6dB**

各メニューの選択 / 設定 / 解除については「メニューの操作のしかた」（☞20 ページ）をご覧ください。

6 Bilingual Mode（バイリンガルモード）

AAC ソースや Dolby Digital ソースの二重音声の出力内容を設定します。

【選択できる項目】

MAIN ：主音声のみ出力します。

SUB ：副音声のみ出力します。

MAIN/SUB ：主音声は左チャンネルから、副音声は右チャンネルから出力します。

MAIN+SUB ：主音声と副音声をミックスして出力します。

- バイリンガルモードは、AAC ソースおよび Dolby Digital ソースで、二重音声の情報がある場合のみ有効です。
- 二重音声の情報があるソースを録音する場合は、プレーヤーまたはチューナー側で録音したい音声に切り替えてください。

AAC ソースまたは Dolby Digital ソースで二重音声の情報を検出した場合

設定により入力信号チャンネル表示が点灯します。

- “MAIN”選択時： FL C FR（FL 点灯）
- “SUB”選択時： FL C FR（FR 点灯）
- “MAIN/SUB”または“MAIN+SUB”選択時：

※ DTS ソースで二重音声を検出した場合は、バイリンガルモードの設定に関わらず、“FL”と“FR”が点灯します。

※ “MPEG2 AAC”モードの場合、音声はセンタースピーカーより出力されます。フロントスピーカーで再生する場合は、“STEREO”モードなどを選んでください。

Zone Setup（ゾーンの設定）

マルチゾーンで再生する音声の設定をします。

●メニュー画面●

```
2.Manual Setup

 1.Speaker Setup
 2.HDMI Setup
 3.Audio Setup
☞4.Zone Setup
 5.Option Setup
```

```
2-4.Zone Setup

☞ZONE2 Setup
 ZONE3 Setup
```

1 ZONE2 Setup（ゾーン 2 の設定）

ゾーン 2 で再生する音声の設定をします。

2 ZONE3 Setup（ゾーン 3 の設定）

ゾーン 3 で再生する音声の設定をします。

Bass（低音）

低音のトーンを調節します。

【可変できる範囲】 –10dB ～ **0dB** ～ +10dB

Treble（高音）

高音のトーンを調節します。

【可変できる範囲】 –10dB ～ **0dB** ～ +10dB

HPF（ハイパスフィルター）

低音がひずんで聞こえるときに低域成分をカットして出力します。

【選択できる項目】

OFF ：低域成分をカットしません。

ON ：低域成分をカットします。

Level Lch（左レベル）

左チャンネルの出力レベルを調節します。

【可変できる範囲】 –12dB ～ **0dB** ～ +12dB

“Level Lch”と“Level Rch”は、“Channel”の設定が“Stereo”のときに設定できます。

Level Rch（右レベル）

右チャンネルの出力レベルを調節します。

【可変できる範囲】 –12dB ～ **0dB** ～ +12dB

Channel（チャンネル）

ステレオ / モノラル出力を切り替えます。

【選択できる項目】

Stereo ：ステレオ信号を出力します。

Mono ：モノラル信号を出力します。

メニューの“Manual Setup”-“Option Setup”-“Amp Assign”を“ZONE2/3-MONO”に設定すると、“Channel”の設定は自動的に“Mono”になります（☞33 ページ）。

Volume Level（音量レベル）

メインの音量出力レベルを設定します。

【選択できる項目】

VAR ：リモコンで音量調節ができます。

–40dB ：音量は -40dB に固定されます。

0dB ：音量は 0dB に固定されます。

メニューの“Manual Setup”-“Option Setup”-“Amp Assign”の設定でゾーン 2/ ゾーン 3 の出力チャンネルにパワーアンプを割り当てると、“VAR”に設定されます（☞33 ページ）。

Volume Limit（音量の上限）

音量の上限を設定します。

【選択できる項目】

OFF	：設定しません。
–20dB	：–20dB まで音量を上げることができます。
–10dB	：–10dB まで音量を上げることができます。
0dB	：0dB まで音量を上げることができます。

“Volume Level”の設定が“VAR”のときに設定できます。

Power On Level（電源オン時の音量）

電源を入れたときの音量を設定します。

【選択できる項目】

Last	：記憶している前回の主音量で再生します。
– – –	：常に電源を入れたときは消音状態です。

【可変できる範囲】

–70dB ~ +18dB	：電源オン時の音量レベルを 1dB 単位で設定します。

“Volume Level”の設定が“VAR”のときに設定できます。

Mute Level（ミューティングレベル）

ミューティング時の音量の減衰量を設定します。

【選択できる項目】

Full	：消音状態になります。
–40dB	：現在の主音量から 40dB 下げて再生します。
–20dB	：現在の主音量から 20dB 下げて再生します。

Option Setup（その他の設定）

その他の設定をします。

●メニュー画面●

```
2.Manual Setup

 1.Speaker Setup
 2.HDMI Setup
 3.Audio Setup
 4.Zone Setup
☞5.Option Setup
```

```
2-5.Option Setup
☞1.Amp Assign
 2.Vol.Control
 3.Source Delete
 4.On-Screen Display
 5.Quick Select Name
 6.Trigger Out
 7.Remote ID Setup
 8.232C Port
 9.Display
 10.Setup Lock
```

1 Amp Assign（アンプの割り当て）

サラウンドバックスピーカーチャンネルのアンプの用途を設定します。

お使いになる環境にあわせて、サラウンドバック用アンプの使用先を自由に設定することができます。
これにより、マルチゾーンでのスピーカー出力やフロントスピーカーの高音質再生（バイアンプ）をお楽しみいただけます。

【選択できる項目】

7.1ch	：SURR.BACK/AMP ASSIGN 端子に接続されたスピーカーからは、サラウンドバックチャンネルの音声を出力します。
ZONE2	：ゾーン 2 の電源が入っているとき、SURR.BACK/AMP ASSIGN 端子に接続されたスピーカーからは、ゾーン 2 のチャンネルの音声を出力します。
ZONE3	：ゾーン 3 の電源が入っているとき、SURR.BACK/AMP ASSIGN 端子に接続されたスピーカーからは、ゾーン 3 のチャンネルの音声を出力します。
ZONE2/3-MONO	：SURR.BACK/AMP ASSIGN（L）端子に接続されたスピーカーから ZONE2 のモノラル音声を出力し、SURR.BACK/AMP ASSIGN（R）端子に接続されたスピーカーから ZONE3 のモノラル音声を出力します。
FrontA Bi-Amp	：SURR.BACK/AMP ASSIGN 端子に接続されたスピーカーからは、バイアンプ用としてフロント A チャンネルの音声を出力します。
FrontB Bi-Amp	：SURR.BACK/AMP ASSIGN 端子に接続されたスピーカーからは、バイアンプ用としてフロント B チャンネルの音声を出力します。

詳しくは、「アンプアサインの設定とマルチゾーンの接続と操作」をご覧ください（☞64、65 ページ）。

2 Volume Control（音量の設定）

音量の設定をします。

Volume Limit（音量の上限）

主音量の上限を設定します。

【選択できる項目】

OFF：設定しません。

–20dB：–20dB まで音量を上げることができます。

–10dB：–10dB まで音量を上げることができます。

0dB：0dB まで音量を上げることができます。

Power On Level（電源オン時の音量）

電源を入れたときの音量を設定します。

【選択できる項目】

Last：記憶している前回の主音量で再生します。

– – –：常に電源を入れたときは消音状態です。

【可変できる範囲】

–80dB ~ +18dB：電源オン時の音量レベルを 1dB 単位で設定します。

Mute Level（ミューティングレベル）

ミューティング時の音量の減衰量を設定します。

【選択できる項目】

Full：消音状態になります。

–40dB：現在の主音量から 40dB 下げて再生します。

–20dB：現在の主音量から 20dB 下げて再生します。

3 Source Delete（使用ソースの選択）

使用しない入力ソースを消去し、表示しないように設定します。

【選択できる項目】

ON：使用します。

Delete：使用しません。

Default（初期化）

設定を初期化します。

ご注意

- 現在選択中の入力ソースは、削除できません。
- “Delete”に設定された入力ソースは、**SOURCE SELECT** でも選べなくなります。

4 On-Screen Display（オンスクリーンディスプレイ）

オンスクリーンディスプレイの表示に関する設定をします。入力信号によるオンスクリーンディスプレイの表示については、11 ページをご覧ください。

Screensaver（スクリーンセーバー）

スクリーンセーバーの表示を設定します。
スクリーンセーバー機能によりモニター画面の焼き付きを防止します。

【選択できる項目】

ON：約 3 分間操作をしないとスクリーンセーバー機能が働きます。

OFF：スクリーンセーバー機能は働きません。

“Screensaver”を“ON”に設定している場合、約 3 分間何も操作しないとスクリーンセーバーが起動します。
△▽◁ ▷ を押すと、スクリーンセーバーが解除され、スクリーンセーバーが起動される前の画面を表示します。

Text（操作内容の表示）

操作内容を表示します。

【選択できる項目】

ON：表示します。

OFF：表示しません。

Master Volume（主音量表示）

主音量を調節するときに主音量レベルを表示します。

【選択できる項目】

ON：表示します。

OFF：表示しません。

iPod Information（iPod 操作時の表示）

iPod 操作時にオンスクリーンディスプレイを表示する時間を設定します。

【選択できる項目】

Always：常に表示します。

30Sec：操作後 30 秒間表示します。

10Sec：操作後 10 秒間表示します。

OFF：表示しません。

Display Mode（ディスプレイモード）

オンスクリーンディスプレイの表示モードを設定します。

【選択できる項目】

Mode1：映像信号がないとき、オンスクリーンディスプレイのちらつきを防止しません。

Mode2：映像信号がないとき、オンスクリーンディスプレイのちらつきを防止します。
“Mode1”でオンスクリーンディスプレイが表示されない場合は、このモードにしてください。

各メニューの選択 / 設定 / 解除については「メニューの操作のしかた」（☞20 ページ）をご覧ください。

5 Quick Select Name
（クイックセレクトネーム）

クイックセレクト 1 ～ 3 の名前を変更します。
16 文字まで入力することができます。

【入力できる文字】

A ~ Z　a ~ z　0 ~ 9　! # % & ' ( ) * + , - . / : ; = " ? @ [\ ]（空白）

Default（初期化）

設定を初期化します。

6 Trigger Out（トリガーアウト）

入力ソースやサラウンドモードなどに対して、トリガーアウト 1 および 2 を出力する条件を選びます。
トリガーアウトについては、19 ページをご覧ください。

ゾーンに対する設定

トリガーアウトを設定するゾーンを選びます。

【選択できる項目】

All　MAIN　ZONE2　ZONE3　MAIN/2　MAIN/3　2/3

入力ソースに対する設定

"ON" に設定された入力ソースが選ばれたときに、トリガー出力がオンします。

【選択できる項目】

ON：出力の条件にします。

– – –：条件にしません。

サラウンドモードに対する設定

- "ON" に設定されたサラウンドモードが選ばれたときに、トリガー出力がオンします。
- 「ゾーンに対する設定」で "MAIN ZONE" が選ばれているときに連動します。
- 「入力ソースに対する設定」で "ON" に設定されている入力ソースが選ばれているときに連動します。

【選択できる項目】

ON：出力の条件にします。

– – –：条件にしません。

Default（初期化）

設定を初期化します。

7 Remote ID Setup（リモコン ID の設定）

リモコンの ID を設定します。
使用するリモコンと本機の ID を合わせてください。

【選択できる項目】 1　2　3　4

"リモコン ID" を変更する場合は、メインリモコンの "AMP"、"iPod"、"TU" モードも同時に変更してください（☞61 ページ）。

8 232C Port（232C ポート）

外部コントローラーまたは双方向リモコンを接続したときに設定します。

【選択できる項目】

Serial Control：外部コントローラーを使用するときに設定します。

2Way Remote：双方向リモコンを使用するときに設定します。

ご注意

双方向リモコン（RC-7000CI や RC-7001RCI、別売り）をお使いになる場合は、"2Way Remote" に設定してください。この場合、RC-232C 端子を外部コントローラー用としては使用できません。

9 Display（ディスプレイの明るさ）

本体のディスプレイ表示の明るさを調節します。

【選択できる項目】

Bright：通常の明るさです。

Dim：薄暗くします。

Dark：暗くします。

OFF：操作時以外は消灯します。

"OFF" に設定すると、メニュー設定操作中のディスプレイの明るさは "Dark" になります。

10 Setup Lock（設定の保護）

設定した内容を変更できないように保護します。

【選択できる項目】

ON：保護します。

OFF：保護しません。

- "Setup Lock" を "ON" に設定すると、以下の設定が変更できなくなります。また、関連するボタンを操作すると、ディスプレイに "SETUP LOCKED!" を表示します。
  - ・RESTORER
  - ・ナイトモード
  - ・MultEQ XT
  - ・Dynamic EQ
  - ・Dynamic Volume
  - ・チャンネルレベル
  - ・オーディオディレイ
- 設定を解除する場合は、**MENU** を押して再度 "Setup Lock" 画面を表示させ、"OFF" に設定し直してください。

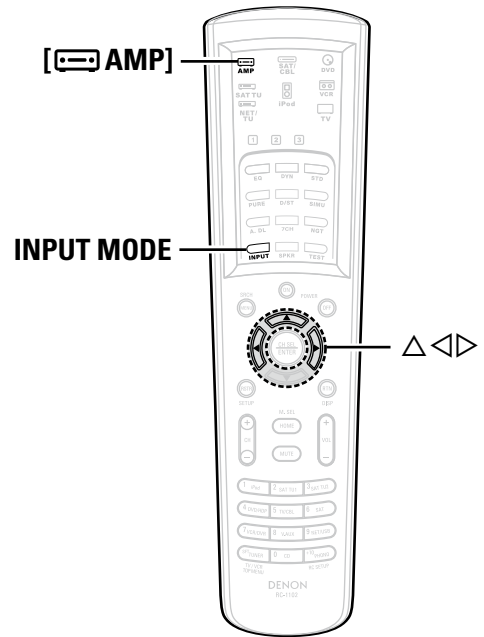
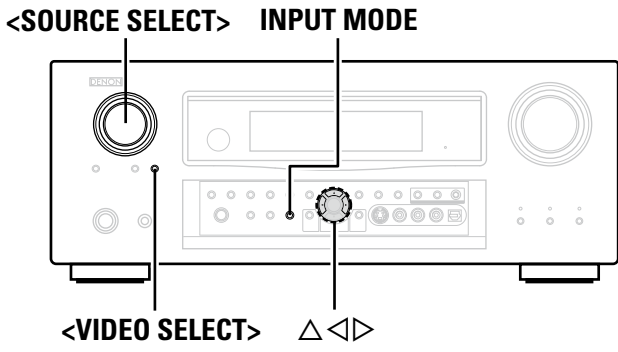
各メニューの選択 / 設定 / 解除については「メニューの操作のしかた」（☞20 ページ）をご覧ください。

Input Setup（入力の設定）

取説中のボタン名の表示について

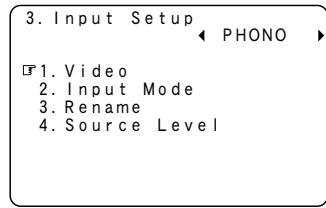
本体とリモコンの両方にあるもの → **BUTTON**
本体のみにあるもの → **<BUTTON>**
リモコンのみにあるもの → **[BUTTON]**

<SOURCE SELECT> **INPUT MODE**

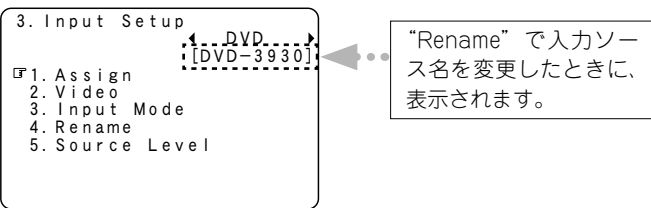
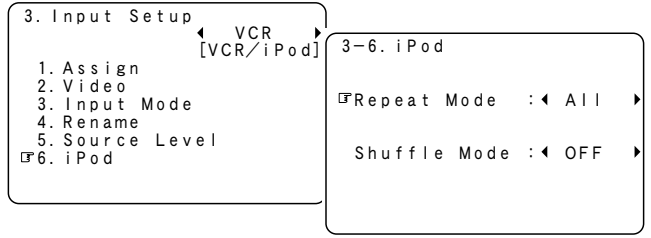
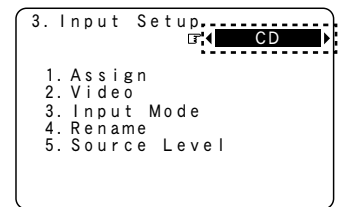
<VIDEO SELECT> △◁▷

入力ソースの選択や入力ソースの再生に関する設定をします。

❏ PHONO

入力ソース“PHONO”のメニューです。

●メニュー画面●

❏ DVD, HDP, TV/CBL, SAT, VCR, DVR, V.AUX, TUNER, CD

入力ソース“DVD”“HDP”“TV/CBL”“SAT”“VCR”“DVR”“V.AUX”“TUNER”“CD”のメニューです。

●メニュー画面●

※ これらの入力ソースは、“iPod Dock”を“Assign”に設定しているときに、以下のメニューの設定ができます。

“Input Setup”内での入力ソースの変えかた

“Input Setup”内で入力ソースを変えても、メインゾーンで現在選ばれている入力ソースは変わりません。

入力ソースに関する設定

1 Assign（端子の割り当て）

選んだ入力ソースに割り当てる入力端子を設定します。

HDMI In（HDMI 端子）

選んだ入力ソースに割り当てる HDMI 入力端子を設定します。

【入力ソース】 **DVD** **HDP** **TV/CBL** **SAT** **VCR** **DVR** **V.AUX**

【選択できる項目】

HDMI1 ：HDMI 1 入力端子を割り当てます。
HDMI2 ：HDMI 2 入力端子を割り当てます。
HDMI3 ：HDMI 3 入力端子を割り当てます。
HDMI4 ：HDMI 4 入力端子を割り当てます。
None ：HDMI 入力端子を割り当てません。

入力ソース	DVD	HDP	TV/CBL	SAT	VCR	DVR	V.AUX
初期設定	**HDMI1**	**HDMI2**	None	**HDMI3**	None	**HDMI4**	None

- HDMI では、映像信号と音声信号を同時に伝送します。“HDMI In”で割り当てた映像信号と“Digital In”で割り当てた音声信号を組み合わせて再生したい場合は、メニューの“Input Mode”を“Digital”に設定してください。
- 本機とテレビを HDMI ケーブルで接続したとき、テレビが HDMI 音声の再生に対応していない場合は、映像信号のみをテレビに出力します。
- テレビにはアナログ端子、デジタル端子および EXT. IN 端子から入力された音声信号を出力しません。

Digital In（デジタル端子）

選んだ入力ソースに割り当てるデジタル入力端子を設定します。

【入力ソース】
【選択できる項目】

COAX1 ：COAXIAL 1 入力端子を割り当てます。
COAX2 ：COAXIAL 2 入力端子を割り当てます。
COAX3 ：COAXIAL 3 入力端子を割り当てます。
OPT1 ：OPTICAL 1 入力端子を割り当てます。
OPT2 ：OPTICAL 2 入力端子を割り当てます。
OPT3 ：OPTICAL 3 入力端子を割り当てます。
None ：デジタル入力端子を割り当てません。

入力ソース	DVD	HDP	TV/CBL	SAT	VCR	DVR	V.AUX	TUNER	CD
初期設定	**COAX1**	None	**OPT1**	**COAX2**	None	**OPT2**	**OPT3**	None	**COAX3**

Component In（コンポーネント端子）

選んだ入力ソースに割り当てるコンポーネントビデオ（D）入力端子を設定します。

【入力ソース】 **DVD** **HDP** **TV/CBL** **SAT** **VCR** **DVR** **V.AUX**

【選択できる項目】

1-D/RCA ：コンポーネントビデオ 1 入力端子を割り当てます。
2-RCA ：コンポーネントビデオ 2 入力端子を割り当てます。
3-D/RCA ：コンポーネントビデオ 3 入力端子を割り当てます。
None ：コンポーネントビデオ入力端子を割り当てません。

入力ソース	DVD	HDP	TV/CBL	SAT	VCR	DVR	V.AUX
初期設定	**1-D/RCA**	**2-RCA**	**3-D/RCA**	None	None	None	None

ご注意

コンポーネントビデオ入力端子 1、3 および出力端子はコンポーネントビデオ端子（ピンジャック）と D5 端子を同時に接続することはできません。

iPod Dock

選んだ入力ソースに iPod 用コントロールドックを割り当てます。

【入力ソース】 **DVD** **HDP** **TV/CBL** **SAT** **VCR** **DVR** **V.AUX** **TUNER** **CD**

【選択できる項目】

Assign ：iPod Dock の入力を割り当てます。
None ：iPod Dock の入力を割り当てません。

- お買い上げ時の設定では、iPod 用コントロールドックを VCR（iPod）端子に接続してお使いいただけます。
- “iPod Dock”を“Assign”に設定しても、本機と iPod 用コントロールドックを接続しなければ、その入力は通常の入力ソースとしてお使いいただけます。

2 Video（ビデオ）

選んだ入力ソースの映像の設定をします。

Video Select（ビデオセレクト）

音声を聴きながら映像の入力ソースを切り替えます。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX TUNER PHONO CD

【選択できる項目】

DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX：
見たい映像の入力ソースを選びます。

Source：入力ソースと同じ映像と音声を再生します。

本体でも操作できます

<VIDEO SELECT> を押して、好きな映像が出るまで **<SOURCE SELECT>** を回す。

※ 解除する場合は、**<VIDEO SELECT>** を押してから **<SOURCE SELECT>** を回して、“Source”を選んでください。

ご注意

- HDMI の入力信号は選べません。
- HDMI を再生中、HDMI モニター出力に他の入力ソースは出力できません。
- “Source Delete”で“Delete”に設定した入力ソースは選べません。

Convert（コンバート）

映像入力信号をモニター出力に自動的に変換します。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX

【選択できる項目】

ON：変換します。

OFF：変換しません。

ご注意

- ゲーム機などの非標準ビデオ信号を入力した場合、ビデオコンバージョン機能が働かない場合があります。このようなときは、“Video Convert”を“OFF”に設定してください。
- “Convert”を“OFF”に設定すると、ビデオコンバージョン機能は働きません。この場合は、映像入力端子と同じ種類の端子でモニターと接続してください。

i/p Scaler（i/p スケーラー）

i/p スケーラー機能の設定をします。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX

【選択できる項目】

A to H：アナログ映像信号に対して i/p スケーラー機能を使用します。

OFF：i/p スケーラー機能を使いません。

“Convert”の設定が“OFF”の場合、“i/p Scaler”は設定できません。

Resolution（解像度）

出力する HDMI 映像信号の解像度を設定します。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX

【選択できる項目】

Auto：モニターのパネル画素数を検出し、出力する解像度を自動的に選びます。

480p/576p：480p/576p の解像度で出力します。

1080i：1080i の解像度で出力します。

720p：720p の解像度で出力します。

1080p：1080p の解像度で出力します。

“i/p Scaler”の設定が“A to H”のときに設定できます。

ご注意

- “1080i”の信号を“720p”に変換することはできません。
- “720p”の信号を“1080i”に変換することはできません。

Progressive Mode（プログレッシブモード）

映像素材に最適なプログレッシブモードを選びます。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX

【選択できる項目】

Auto：映像の素材を自動的に判定します。

Video1：ビデオ素材の再生に適しています。

Video2：ビデオ素材や 30 フレームのフィルム素材の再生に適しています。

“i/p Scaler”の設定が“A to H”のときに設定できます。

Aspect（アスペクト）

480i/576i または 480p/576p の入力信号を HDMI モニター出力端子に出力するときのアスペクト比を設定します。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX

【選択できる項目】

Full：16:9 のアスペクト比で出力します。

Normal：4:3 のアスペクト比で出力します。

“i/p Scaler”の設定が“A to H”のときに設定できます。

各メニューの選択 / 設定 / 解除については「メニューの操作のしかた」（☞20 ページ）をご覧ください。

3 Input Mode（入力モード）

選んだ入力ソースの入力モードとデコードモードを設定します。選択できる入力モードは、入力ソースや"Assign"の設定によって異なります（☞37 ページ）。

Input Mode（入力モード）

選んだ入力ソースの入力モードを設定します。

【入力ソース】 PHONO

【選択できる項目】

Analog：アナログ入力端子からの入力信号のみを再生します。

EXT. IN：外部入力端子からの入力信号のみを再生します。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX TUNER CD

【選択できる項目】

Auto：本機に入力されている信号を自動的に検出して再生します。

HDMI ＊1：HDMI 入力端子からの入力信号のみを再生します。（TUNER および CD は除きます。）

Digital ＊2：デジタル入力端子からの入力信号のみを再生します。

Analog：アナログ入力端子からの入力信号のみを再生します。

EXT. IN：外部入力端子からの入力信号のみを再生します。

＊1：メニューの"Assign"の設定で"HDMI In"で割り当てている入力ソースに対して選べます（☞37 ページ）。
＊2：メニューの"Assign"の設定で"Digital In"で割り当てている入力ソースに対して選べます（☞37 ページ）。

- デジタル信号が正しく入力されると、ディスプレイの"DIG."表示が点灯します。"DIG."表示が点灯しない場合は、デジタル入力端子の割り当てや接続を確認してください。
- 入力モードが"EXT. IN"の場合は、サラウンドモードの設定ができません。

本体やリモコンでも操作できます

INPUT MODE を押す。
ボタンを押すたびに、入力モードの表示が切り替わります。

＊1：メニューの"Assign"の設定で"HDMI In"で割り当てている入力ソースに対して選べます（☞37 ページ）。
＊2：メニューの"Assign"の設定で"Digital In"で割り当てている入力ソースに対して選べます（☞37 ページ）。

Decode Mode（デコードモード）

選んだ入力ソースのデコードモードを設定します。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX TUNER CD

【選択できる項目】

Auto：デジタル入力信号の種類を識別し、自動的にデコードして再生します。

PCM：PCM 信号が入力されたときだけデコードして再生します。

DTS：DTS 信号が入力されたときだけデコードして再生します。

- メニューの"Assign"の設定で"HDMI In"または"Digital In"で割り当てている入力ソースに対して選ぶことができます（☞37 ページ）。
- "PCM"や"DTS"は、それぞれの入力信号を再生するときのみ設定してください。

4 Rename（入力名の変更）

このソースの表示名を変更します。
8 文字まで入力することができます。

【入力できる文字】 A～Z a～z 0～9 !#%&'()*+,-./:;="?@[\]（空白）

Default（初期化）

設定を初期化します。

5 Source Level（ソースレベル）

選んだ入力ソースの音声入力の再生レベルを補正します。

【可変できる範囲】 –12dB ～ 0dB ～ +12dB

メニューの"Assign"の設定で"HDMI In"または"Digital In"で割り当てている入力ソースに対しては、アナログ入力レベルとデジタル入力レベルを別々に調節することができます。

6 iPod

iPod の再生の設定をします。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX TUNER CD

Repeat Mode（リピートモード）

リピートモードの設定をします。

【選択できる項目】

All：すべての曲をリピート再生します。

One：再生中の曲をリピート再生します。

OFF：リピート再生モードを解除します。

Shuffle Mode（シャッフルモード）

シャッフルモードの設定をします。

❏ DENON 製 iPod 用コントロールドック ASD-1R または ASD-11R 接続時

【選択できる項目】

Songs：すべての曲の中からシャッフル再生します。

Albums：再生中のアルバムの中の曲でシャッフル再生します。

OFF：シャッフル再生モードを解除します。

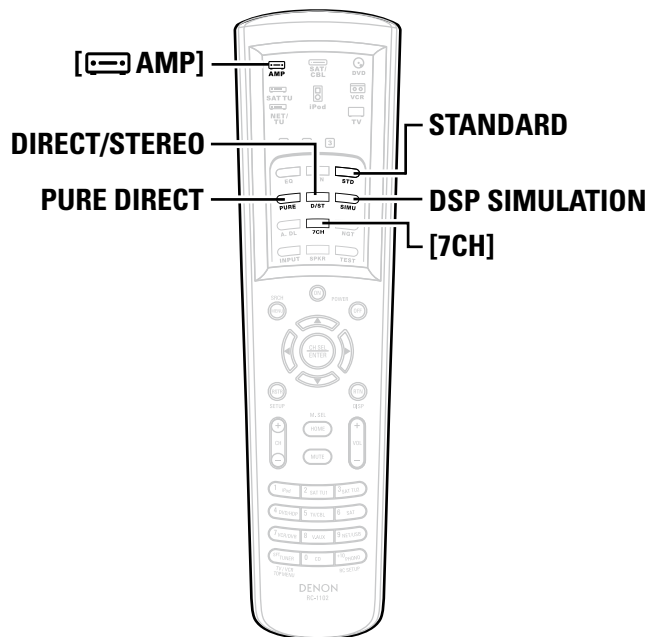
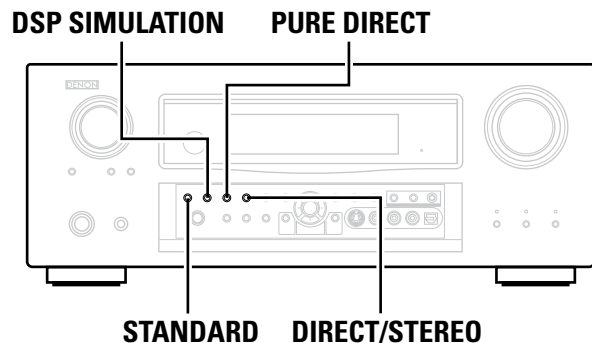
❏ DENON 製 iPod 用コントロールドック ASD-3N または ASD-3W 接続時

【選択できる項目】

ON：シャッフル再生します。

OFF：シャッフル再生モードを解除します。

“iPod Dock”の設定で iPod 用コントロールドックを割り当てた入力ソースに対して設定できます。

Surround Mode（サラウンドモード）

① スタンダード再生

プログラムソースに合わせてサラウンド再生を楽しむモードです。

2 チャンネルのソースをサラウンド再生する場合

サラウンドモードの選択のしかた

STANDARD を押して選ぶ。
ボタンを押すたびに、モードが切り替わります。

【選択できる項目】

DOLBY PLⅡx または DOLBY PLⅡ *：DOLBY PLⅡx または DOLBY PLⅡ でデコードして、サラウンド再生をします。

DTS NEO:6：DTS NEO:6 でデコードしてサラウンド再生をします。

*：DOLBY PLⅡx は、サラウンドバックスピーカーを使用しているときに選べます。
DOLBY PLⅡ は、サラウンドバックスピーカーを使用していないときに選べます。

再生するソースにあわせて選択できるモード

“Cinema”、“Music”、“Game”、“PL” モードは、メニューの “Parameter” – “Surround Parameter” - “Mode” で選びます（☞44 ページ）。

❏DOLBY PLⅡx または DOLBY PLⅡ

Cinema：映画ソースに適したモードです。

Music：音楽ソースに適したモードです。

Game：ゲームに適したモードです。

Pro Logic：プロロジック再生モードです。PLⅡ デコーダーで再生する場合に選べます。このモードを選ぶと、表示は“DOLBY PL”になります。

❏DTS NEO:6

Cinema：映画ソースに適したモードです。

Music：音楽ソースに適したモードです。

マルチチャンネルのソースを再生する場合（Dolby Digital、DTS、AAC など）

マルチチャンネルソースのスタンダード再生では、入力している マルチチャンネル音声の信号形式を検出し、自動的にその専用デコーダーを動作させて、サラウンド再生をおこないます。

【選択できる項目】

STANDARD：

次の表の"ディスプレイ表示"のいずれかのサラウンドモードは、入力信号やサラウンドバックスピーカーの有無により変わります。

入力信号	ディスプレイ表示
Dolby Digital（2ch 以外）/ Dolby Digital EX	DOLBY DIGITAL
	DOLBY DIGITAL EX
	DOLBY DIGITAL+PLⅡx CINEMA
	DOLBY DIGITAL+PLⅡx MUSIC
Dolby Digital Plus（∗4）	DOLBY DIGITAL +
Dolby TrueHD（∗4）	DOLBY TrueHD
	DOLBY HD+EX
	DOLBY HD+PLⅡx CINEMA
	DOLBY HD+PLⅡx MUSIC
DTS（5.1ch）/ DTS-ES Discrete 6.1/ DTS-ES Matrix 6.1/ DTS 96/24	DTS SURROUND
	DTS+PLⅡx CINEMA
	DTS+PLⅡx MUSIC
	DTS+NEO:6
	DTS ES MTRX6.1（∗1）
	DTS ES DSCRT6.1（∗2）
	DTS 96/24（∗3）
DTS-HD（∗4）	DTS-HD HI RES
	DTS-HD MSTR
	DTS-HD+NEO:6
	DTS-HD+PLⅡx CINEMA
	DTS-HD+PLⅡx MUSIC
MPEG-2 AAC（5.1ch）	MPEG2 AAC
	AAC + Dolby EX
	AAC + PLⅡx CINEMA
	AAC + PLⅡx MUSIC
MPEG-2 AAC（1+1ch）	MPEG2 AAC
PCM（multi ch）/ DSD（multi ch）	MULTI CH IN
	MULTI IN+PLⅡx CINEMA
	MULTI IN+PLⅡx MUSIC
	MULTI CH IN 7.1

∗1：入力信号が"DTS-ES Matrix 6.1"で、本機の"AFDM"の設定が"ON"のときに表示されます。
∗2：入力信号が"DTS-ES Discrete 6.1"のときに表示されます。
∗3：入力信号が"DTS 96/24"のときに表示されます。
∗4：HD AUDIO 信号が入力されたときに、HD AUDIO 表示が点灯します。

詳しくは、72、73 ページをご覧ください。

MPEG-2 AAC について

- AAC 放送再生中に再生チャンネル数などの放送内容が切り替わった場合、音声が途中で途切れる場合があります。
- テレビやデジタルチューナーなどによっては、AAC 出力が"オフ"になっていたり、AAC 信号を PCM 信号に変換する設定になっていたりする場合があります。テレビやデジタルチューナーなどの設定画面で、デジタル音声や AAC 出力の設定をご確認ください。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

❑入力信号チャンネル表示について

プログラムソースにより、入力信号チャンネル表示が点灯します。

●2 チャンネルソース

LFE
FL C FR
SL S SR
SBL SB SBR

STANDARD を押すと、"DOLBY PLⅡx"モードと"DTS NEO:6"モードを切り替えることができます。

●5.1 チャンネルソース

LFE
FL C FR
SL S SR
SBL SB SBR

STANDARD を押すと、5.1 チャンネル再生ができます。
5.1 チャンネルで再生しているときは、"MPEG2 AAC"を表示します。

●モノラルソース

STANDARD を押すと、"MPEG2 AAC"を表示します。
音声は、センタースピーカーより出力します。フロントスピーカーで再生する場合は、サラウンドモード（"STEREO"など）を選んでください。

●二重音声ソース

FL C FR

FL C FR

二重音声の情報がある AAC ソースを再生する場合は、主音声や副音声などの出力内容を選べます。
詳しくは、"Bilingual Mode"（☞32 ページ）をご覧ください。

② DSP シミュレーション再生

10 通りの DENON オリジナルサラウンドの中から、プログラムソースや視聴するシチュエーションに応じてお好みのモードを選ぶことができます。
サラウンドパラメーター（☞70、71 ページ）を調節することで、よりリアルでパワフルな音場を再現することができます。

サラウンドモードの選択のしかた

DSP SIMULATION を押して選ぶ。
ボタンを押すたびに、モードが切り替わります。

【選択できる項目】

- **5CH/7CH STEREO** ∗1 ∗2：ステレオサウンドをすべてのスピーカーで楽しむモードです。
- **WIDE SCREEN**：大きなスクリーンで映画を見ているような雰囲気を楽しむモードです。
- **SUPER STADIUM**：スポーツプログラムの観戦に適したモードです。
- **ROCK ARENA**：アリーナのライブコンサートの雰囲気を楽しむモードです。
- **JAZZ CLUB**：ライブハウスでのライブコンサートの雰囲気を楽しむモードです。
- **CLASSIC CONCERT**：クラシックコンサートプログラムの鑑賞に適したモードです。
- **MONO MOVIE** ∗3：モノラルの映画ソースをサラウンド再生するモードです。
- **VIDEO GAME**：ビデオゲームのサラウンドに適したモードです。
- **MATRIX**：ステレオの音楽ソースに広がり感を加えて楽しむモードです。
- **VIRTUAL**：フロントスピーカーやヘッドホンでサラウンド効果を楽しむモードです。

∗1："5CH STEREO"は、"Surround Parameter"－"SB CH Out"が"OFF"に設定されているとき、および"Amp Assign"が"7.1ch"以外に設定されているときに表示されます（☞33、45 ページ）。
∗2：**[7CH]** を押しても選択できます。
∗3：MONO MOVIE モードでモノラル録音ソースを再生する場合、片チャンネル（左または右）では音が片寄るため、両チャンネルに入力してください。

再生するプログラムソースによっては、十分な効果が得られない場合があります。このような場合は、各モードを試してお好みの音場でお楽しみください。

③ダイレクト再生

モードの選択のしかた

DIRECT/STEREO を押して選ぶ。

【選択する項目】

DIRECT ：

音質調節回路を通さず、高音質で再生するモードです。
入力信号のチャンネルのまま音声を出力します。

入力信号	ディスプレイ表示
アナログ信号 PCM（2ch） Dolby Digital ソース DTS ソース その他の 2ch のデジタル信号	DIRECT
DSD（2ch）	DSD DIRECT（＊）
PCM（multi ch）	MULTI CH DIRECT
	M DIRECT + PLⅡx CINEMA
	M DIRECT + PLⅡx MUSIC
	M DIRECT 7.1
DSD（multi ch）	DSD MULTI CH DIRECT（＊）

＊：オーディオパラメーターやスピーカーの設定で DSD 信号が PCM 信号に変換される場合は、“DIRECT” や “MULTI CH DIRECT” の表示になります。

詳しくは、73 ページをご覧ください。

④ステレオ再生

モードの選択のしかた

DIRECT/STEREO を押して選ぶ。

【選択する項目】

STEREO ：

音質調節ができるステレオ再生用のモードです。
フロント左 / 右スピーカーとサブウーハーから音声を出力します。

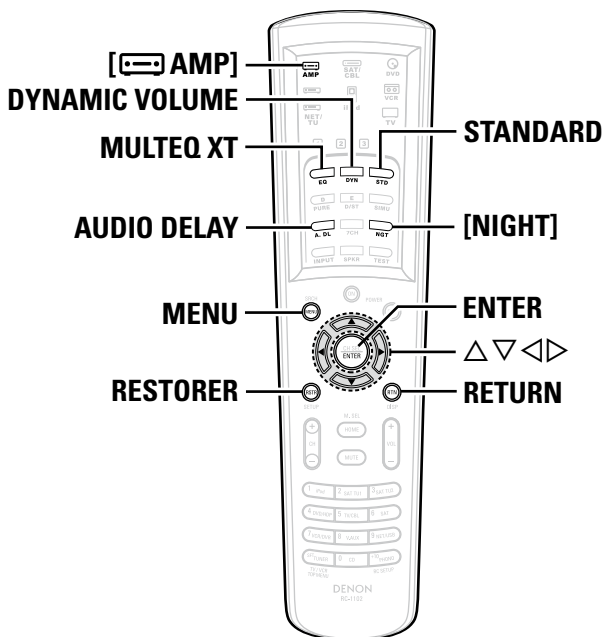
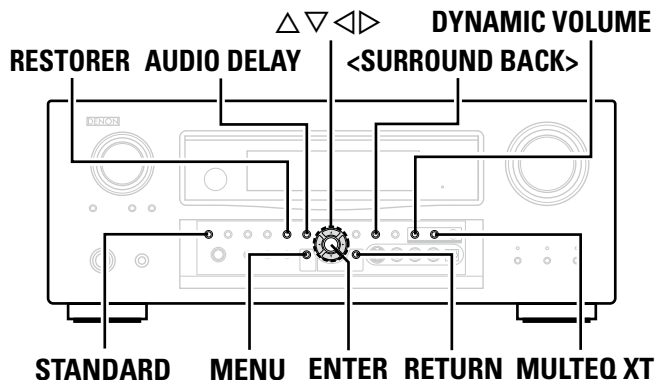
DIRECT/STEREO を押すたびに、DIRECT モードと STEREO モードを切り替えることができます。

ピュアダイレクトモード再生

原音に最も忠実で、極めて高品質な再生ができます。

PURE DIRECT を押す。

- 解除するときは、もう一度 **PURE DIRECT** を押してください。
- **PURE DIRECT モード中はメニュー画面を表示しません。また、本体のディスプレイが消灯します。**
- HDMI 入力端子を選択すると、PURE DIRECT モードでも映像を出力します。
- PURE DIRECT モード時のチャンネルレベルおよびサラウンドパラメーターは、DIRECT モードと共通になります。

Parameter（パラメーター）

パラメーターの調節のしかた

1 **MENU を押す。**
メニューが表示されます。

※ リモコンで操作する場合は、あらかじめリモコンをアンプモードにしてください（☞58ページ）。

2 **△▽で“Parameter”を選び、ENTER を押す。**

3 **設定を変更する場合は、△▽で変更したい項目を選び、◁ ▷で設定を変更する。**

※ 前の項目に戻る場合は、**RETURN** を押してください。
※ “Default Yes”を選んだ後に ◁ を押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

4 **ENTER を押して、設定を確定する。**

❑ 調節を終了するには
調節中に、**MENU** を押す。

Surround Parameter
（サラウンドパラメーター）

音場効果を調節します。

調節できるパラメーター（項目）は、次の状況によって異なります。
- **入力信号の有り（再生中）/ 無し（停止中など）**
- **入力信号の種類**
- **サラウンドモードの種類**

各サラウンドモードのときの調節できるパラメーターについては、「サラウンドパラメーター 一覧表」（☞70、71 ページ）をご覧ください。

❑ Surround Parameter（サラウンドパラメーター）
1 Mode（モード）
2 Cinema EQ（シネマ EQ）
3 DRC（ダイナミックレンジコントロール）
4 Dynamic Range Compression（ダイナミックレンジコンプレッション）
5 LFE（低域効果）
6 Center Image（センターイメージ）
7 Panorama（パノラマ）
8 Dimension（ディメンション）
9 Center Width（センター幅）
10 Delay Time（ディレイタイム）
11 Effect（エフェクト）
12 Effect Level（エフェクトレベル）
13 Room Size（ルームサイズ）
14 AFDM（オートフラグディテクトモード）
15 SB CH Out（サラウンドバックチャンネル出力）
16 SUBWOOFER ATT（サブウーハーアッテネーター）
17 Subwoofer（サブウーハー）

❑ Tone（トーン）
18 Tone Control（トーンコントロール）
19 Bass（低音）
20 Treble（高音）

❑ Audyssey Settings（Audyssey の設定）
21 MultEQ XT
22 Dynamic EQ
23 Dynamic Volume
24 Setting（Dynamic Volume の設定）

❑ RESTORER
❑ Night Mode（ナイトモード）
❑ Audio Delay（オーディオディレイ）

●メニュー画面●

```
4. Parameter

☞1. Surround Parameter
 2. Tone
 3. Audyssey Settings
 4. RESTORER
 5. Night Mode
 6. Audio Delay
```

Surround Parameter
（サラウンドパラメーター）

音場効果を調節します。
調節できるパラメーターは、各サラウンドモードによって異なります（☞70、71 ページ）

1 Mode（モード）

再生する映画ソースや音楽ソースなどに合わせてモードを選びます。

❑PLⅡx または PLⅡ モード時

【選択できる項目】

- **Cinema**：映画ソースに適したモードです。
- **Music**：音楽ソースに適したモードです。
- **Game**：ゲームソースに適したモードです。
- **PL**：ドルビープロロジック再生モードです。（4 チャンネル（フロント L、フロント R、センター、サラウンド（モノ））再生 ）

❑DTS NEO:6 モード時

【選択できる項目】

- **Cinema**：映画ソースに適したモードです。
- **Music**：音楽ソースに適したモードです。

"Music" モードは、ステレオ音楽成分を多く含む映画ソースにも効果的です。

2 Cinema EQ（シネマ EQ）

映画のセリフの高域成分をやわらげ、聴きやすくします。

【選択できる項目】

- **ON**："Cinema EQ" を使用します。
- **OFF**："Cinema EQ" を使用しません。

3 DRC（ダイナミックレンジコントロール）

ダイナミックレンジ（静かな音と大きな音のレベル差）を適度に圧縮します。

【選択できる項目】

- **Auto**：再生するソースによってダイナミックレンジを自動で ON/OFF します。
- **Low**：圧縮率を "弱" に設定します。
- **Middle**：圧縮率を "標準" に設定します。
- **High**：圧縮率を "強" に設定します。
- **OFF**：ダイナミックレンジを圧縮しません。

Dolby TrueHD のときに設定できます。

4 Dynamic Range Compression
（ダイナミックレンジコンプレッション）

ダイナミックレンジ（静かな音と大きな音のレベル差）を適度に圧縮します。

【選択できる項目】

- **OFF**：ダイナミックレンジを圧縮しません。
- **Low**：圧縮率を "弱" に設定します。
- **Mid**：圧縮率を "標準" に設定します。
- **High**：圧縮率を "強" に設定します。

DTS ソースを再生する場合は、対応するソフトのみ表示されます。

5 LFE（低域効果）

低域信号（LFE）レベルを調節します。

【可変できる範囲】 –10dB ～ **0dB**

各プログラムソースを正しく再生するために、次の値に設定することをおすすめします。
•Dolby Digital ソース："0dB"
•DTS の映画ソース："0dB"
•DTS の音楽ソース："–10dB"

6 Center Image（センターイメージ）

センターチャンネルの音声を左右に振り分け、前方の音場イメージを広げます。

【可変できる範囲】 0.0 ～ **0.3** ～ 1.0

7 Panorama（パノラマ）

フロント左右チャンネルの音場をサラウンドチャンネルまで拡大し、前方の音場イメージを広げます。

【選択できる項目】 ON **OFF**

8 Dimension（ディメンション）

音場イメージの中心を前方または後方にシフトし、再生バランスを調節します。

【可変できる範囲】 0 ～ **3** ～ 6

9 Center Width（センター幅）

センターチャンネルの音声を左右に振り分け、前方の音場イメージを広げます。

【可変できる範囲】 0 ～ **3** ～ 7

10 Delay Time（ディレイタイム）

遅延時間を調節し、音場イメージの大きさを広げます。

【可変できる範囲】 0 ms ～ **30 ms** ～ 300 ms

11 Effect（エフェクト）

マルチサラウンドスピーカーの効果を持つエフェクト信号を切り替えます。

【選択できる項目】 **ON** OFF

各パラメーターの調節については「パラメーターの調節のしかた」（☞43 ページ）をご覧ください。

⓬ Effect Level（エフェクトレベル）

エフェクト信号の大きさを調節します。

【可変できる範囲】 1 ～ 10 ～ 15

サラウンド信号の定位感や位相感が不自然に感じる場合は、低いレベルに設定してください。

⓭ Room Size（ルームサイズ）

音場の広がり感のイメージを選びます。

【選択できる項目】

Small	：小さな音場空間のイメージ。
Med.S	：やや小さな音場空間のイメージ。
Medium	：標準な音場空間のイメージ。
Med.L	：やや大きな音場空間のイメージ。
Large	：大きな音場空間のイメージ。

ご注意

“Room Size”は、再生する部屋の大きさを表すものではありません。

⓮ AFDM（オートフラグディテクトモード）

ソースの識別信号を検出して自動的にサラウンドモードを設定します。
専用の識別信号が記録されたソフトのみに働きます。
再生するソフトがドルビーデジタル EX または DTS-ES で記録されている場合は、6.1 チャンネルで再生し、記録されていない場合は、5.1 チャンネルで再生します。

【選択できる項目】 ON OFF

【例】ドルビーデジタルソフト（EX フラグあり）の再生

- “AFDM”を“ON”に設定すると、サラウンドモードは自動的に“DOLBY D + PLⅡx C”モードになります。
- DOLBY DIGITAL EX モードで再生する場合は、“AFDM”を“OFF”、“SB CH Out”を“MTRX ON”に設定してください。

- Dolby Digital EX ソースには、EX フラグが含まれていないものがあります。“AFDM”を“ON”に設定していても、再生モードが自動的に切り替わらない場合は、“SB CH Out”を“MTRX ON”または“PLⅡx CINEMA”に設定してください。
- “Amp Assign”の設定が“7.1ch”で、サラウンドバックスピーカーを使用している場合に、“AFDM”の設定ができます。

⓯ SB CH Out（サラウンドバックチャンネル出力）
（マルチチャンネルソース再生中に選択表示できます。）

サラウンドバックチャンネルの再生方法を選びます。

【選択できる項目】

OFF	：サラウンドバックチャンネルは再生しません。
MTRX ON	：サラウンドチャンネル信号をデジタルマトリックス処理し、サラウンドバックチャンネルから再生します。
PLⅡx CINEMA	＊1：Dolby Pro Logic Ⅱx Cinema モードでデコードし、サラウンドバック信号を再生するモードです。
PLⅡx MUSIC	＊2：Dolby Pro Logic Ⅱx Music モードでデコードし、サラウンドバック信号を再生するモードです。
ES MTRX	＊3：DTS 信号を再生する場合にサラウンドバック信号をデジタルマトリックス処理をして再生するモードです。
ES DSCRT	＊4：DTS 信号でディスクリート 6.1ch ソースである認識信号が含まれている場合にソースに含まれているサラウンドバック信号を再生するモードです。
DSCRT ON	：7.1ch デジタルディスクリート音声信号に含まれるサラウンドバック信号をディスクリート再生するモードです。

＊1： メニューの“Manual Setup”–“Speaker Setup”–“Speaker Configuration”（☞27、28 ページ）の設定で、“Surround Back Speaker”が“2spkrs”のときに選べます。
＊2： メニューの“Manual Setup”–“Speaker Setup”–“Speaker Configuration”の設定で、“Surround Back Speaker”が“2spkrs”または“1spkr”のときに選べます。
＊3： DTS ソースを再生しているときに選べます。
＊4： ディスクリート 6.1 チャンネルの信号の識別信号が含まれている DTS ソースを再生しているときに選べます。

STANDARD または <SURROUND BACK> を押すたびに、設定することもできます。
サラウンドバックスピーカーをお使いになるときは、次の設定にしてください。
① “Amp Assign”を“7.1ch”（お買い上げ時の設定）に設定してください。
② “Surround Parameter”の“SB CH Out”を“OFF”以外に設定してください。

⓯ SB CH Out（サラウンドバックチャンネル出力）
（2 チャンネルソース再生中に選択表示できます。）

サラウンドバックスピーカーを使うか使わないかを設定します。

【選択できる項目】

ON	：サラウンドバックスピーカーを使用して再生します。
OFF	：サラウンドバックスピーカーを使用しないで再生します。

<SURROUND BACK> でも操作できます。

⓰ SUBWOOFER ATT
（サブウーハーアッテネーター）

外部入力（EXT. IN）端子使用時のサブウーハーチャンネルのレベルを抑えます。

【選択できる項目】

ON	：サブウーハーチャンネルからの入力を減衰します。
OFF	：サブウーハーチャンネルからの入力を減衰しません。通常はこのモードでお使いください。

オーディオ信号を再生したときに、サブウーハーチャンネルのレベルが大きいと感じる場合は、“ON”に設定してください。

⓱ Subwoofer（サブウーハー）

サブウーハー出力をするかしないかを設定します。

【選択できる項目】

ON	：サブウーハー出力を使用します。
OFF	：サブウーハー出力を使用しません。

各パラメーターの調節については「パラメーターの調節のしかた」（☞43 ページ）をご覧ください。

Tone（トーン）

トーンを調節します。

⑱ Tone Control（トーンコントロール）

トーンの調節をするかしないかを設定します。

【選択できる項目】

ON ：低音や高音のトーンを調節できます。

OFF ：トーンの調節をしないで再生します。

DIRECT モード中は、トーンの調節ができません。

ご注意

“Dynamic EQ”の設定が“ON”のときには、設定できません。

⑲ Bass（低音）

低音のトーンを調節します。

【可変できる範囲】 **–6 dB** ~ **0 dB** ~ **+6 dB**

⑳ Treble（高音）

高音のトーンを調節します。

【可変できる範囲】 **–6 dB** ~ **0 dB** ~ **+6 dB**

“Bass”および“Treble”は、“Tone Control”の設定が“ON”のときに設定できます。

Audyssey Settings（Audyssey の設定）

MultEQ XT、Dynamic EQ および Dynamic Volume を選びます。

㉑ MultEQ XT

お好みの補正タイプをお選びください。

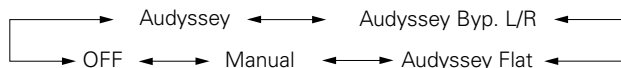
【選択できる項目】

Audyssey ：すべてのスピーカーの周波数特性を最適化します。

Audyssey Byp. L/R ：フロントスピーカー以外のスピーカーの周波数特性を最適に補正します。

Audyssey Flat ：すべてのスピーカーの周波数特性が均一になるように補正します。

Manual ：“Manual EQ”（☞31 ページ）で調節された周波数特性を適用します。

OFF ：イコライザーを使用しません。

本体やリモコンでも操作できます

MULTEQ XT を押す。

- “Audyssey”、“Audyssey Byp. L/R”または“Audyssey Flat”を選ぶと、“AUDYSSEY MULTEQ XT”表示が点灯します。
- オートセットアップをおこなった後、測定したスピーカーの本数を増やさずに、スピーカーの構成、距離、チャンネルレベルおよびクロスオーバー周波数などの設定を変更した場合は、“AUDYSSEY MULTEQ XT”表示が点灯します。

- オートセットアップをおこなった後に、“Audyssey”、“Audyssey Byp. L/R”および“Audyssey Flat”を選ぶことができます。
- オートセットアップをおこなうと、“MultEQ XT”の設定は自動的に“Audyssey”になります。
- オートセットアップで“None”と判定されたスピーカーの設定を変更した場合、“Audyssey”、“Audyssey Byp. L/R”および“Audyssey Flat”を選べません。再度オートセットアップをおこなうか、メニューの“Auto Setup”–“Parameter Check”–“Restore”で、オートセットアップ実行後の設定に戻してください。
- メニューの“Manual Setup”–“Audio Setup”–“EQ Preset”–“EQ Customize”（☞31 ページ）で“Not Used”に設定した“MultEQ XT”および“Manual EQ”は選べません。
- ヘッドホン使用時、“MultEQ XT”は“OFF”になります。

㉒ Dynamic EQ

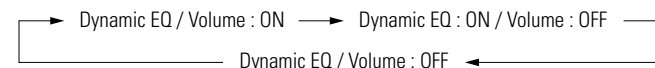
Audyssey Dynamic EQ は、人間の聴覚や部屋の音響特性を考慮し、ボリュームレベルを下げた際に発生する音質の低下を防ぐ技術です。
Dynamic EQ は、Audyssey MultEQ XT 技術と連動することによりすべてのボリュームレベルに対して最適なバランスの音質をすべてのリスナーに提供します。

【選択できる項目】

ON ：Dynamic EQ 機能を使用します。

OFF ：Dynamic EQ 機能を使用しません。

本体やリモコンでも操作できます

DYNAMIC VOLUME を押す。

- “Dynamic EQ”は、オートセットアップをおこなった後に設定できます。
- オートセットアップをおこなうと、“Dynamic EQ”の設定は自動的に“ON”になります。
- 次の場合、“Dynamic EQ”は設定できません。
  - “Auto Setup”が完了していない場合
  - オートセットアップをおこなった後、測定したスピーカーから使用するスピーカーを増やした場合
- “MultEQ XT”を“OFF”に設定すると、“Dynamic EQ”は自動的に“OFF”になります。
- オートセットアップ実行前やオートセットアップ実行後にスピーカーの本数を増やして **DYNAMIC VOLUME** を押した場合に“Run Audyssey”を表示します。このような場合には、オートセットアップをおこなうか、メニューの“Auto Setup”–“Parameter Check”–“Restore”で、オートセットアップ実行後の設定に戻してください。

ご注意

“Dynamic EQ”を“ON”に設定すると、“Tone Control”および“Night Mode”は“OFF”になります。

❏各機能の動作条件

- **Dynamic EQ：** “MultEQ XT”を“ON”に設定しているとき
- **Dynamic Volume：** “Dynamic EQ”を“ON”に設定しているとき
- **Setting：** “Dynamic Volume”を“ON”に設定しているとき

各パラメーターの調節については「パラメーターの調節のしかた」（☞43 ページ）をご覧ください。

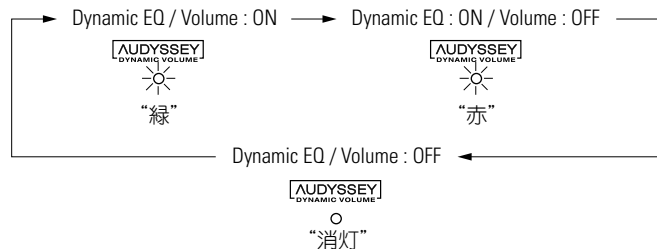
㉓ Dynamic Volume

Audyssey Dynamic Volume は、テレビや映画など再生されるコンテンツ内におけるボリュームレベルの変化（静かな音のシーンと大きな音のシーンの間など）をユーザーの好みのボリューム設定値に自動的に調整する技術です。
また、Dynamic Volume は Audyssey Dynamic EQ の技術をアルゴリズムの中に取り込むことによりボリュームレベルの調整時やテレビチャンネルの切り替え時、ステレオコンテンツからサラウンドコンテンツなどの切り替え時でも低域特性や音質バランス、サラウンド効果、ダイアログの明瞭さを保っています。

【選択できる項目】

ON ：Dynamic Volume 機能を使用します。
Dynamic Volume の効果は、“Setting”にて設定した値になります。

OFF ：Dynamic Volume 機能を使用しません。

本体やリモコンでも操作できます

DYNAMIC VOLUME を押す。

- “Dynamic Volume”は、オートセットアップをおこなった後に設定できます。
- 次の場合、“Dynamic Volume”は設定できません。
  - “Auto Setup”が完了していない場合
  - オートセットアップをおこなった後、測定したスピーカーから使用するスピーカーを増やした場合
- “MultEQ XT”を“OFF”または“Manual”に設定すると、“Dynamic Volume”は自動的に“OFF”になります。
- オートセットアップ実行前やオートセットアップ実行後にスピーカーの本数を増やして **DYNAMIC VOLUME** を押した場合に“Run Audyssey”を表示します。このような場合には、オートセットアップをおこなうか、メニューの“Auto Setup”－“Parameter Check”－“Restore”で、オートセットアップ実行後の設定に戻してください。

ご注意

“Dynamic Volume”と“Night Mode”との併用はできません。

㉔ Setting（Dynamic Volume の設定）

“Dynamic Volume”の設定が“ON”のときに設定できます。
Dynamic Volume の効果を設定します。

選択できる項目】

Midnight ：高設定です。すべての音を一定の大きさにします。

Evening ：中設定です。平均的な音より大きな音と小さな音を調節します。

Day ：低設定です。非常に大きな音と非常に小さな音を調節します。

ご注意

- “Setting”は、オートセットアップをおこなった後に設定できます。
- 次の場合、“Setting”は設定できません。
  - “Auto Setup”が完了していない場合
  - オートセットアップをおこなった後、測定したスピーカーから使用するスピーカーを増やした場合
  - “Dynamic Volume”の設定が“OFF”の場合

Dynamic EQについて

Audyssey Dynamic EQ は、人間の聴覚や部屋の音響特性を考慮し、ボリュームレベルを下げた際に発生する音質の低下を防ぐ技術です。
Dynamic EQ は、すべてのボリューム変化に応じて自動的に最適な周波数特性とサラウンドレベルに補正します。その結果、どのようにボリュームレベルを変更しても、常に最適な低域特性や音質バランス、サラウンド効果、ダイアログの明瞭さを楽しむことが可能な技術です。また、正しい補正をおこなうために必要不可欠な条件である、入力（再生）されるコンテンツの情報と、実際に視聴する部屋に出力される音圧レベル情報とを組み合わせています。
Dynamic EQ は、Audyssey MultEQ XT 技術と連動することにより、すべてのボリュームレベルに対して最適なバランスの音質をすべてのリスナーに提供します。

Dynamic Volumeについて

Audyssey Dynamic Volume は、テレビ番組や CM（コマーシャル）、映画などのコンテンツにおける静かな音のシーンと大きな音のシーンの間におけるボリュームレベルの違いによって発生する問題を解決する技術です。
Dynamic Volume は、入力されるコンテンツを常にモニターし、ユーザーが設定した好みのボリュームレベルに常に自動的に調整することにより、ユーザーからボリューム調整の煩わしさを解放します。再生中のコンテンツの中に含まれる特徴を正確にモニターし、ボリュームの変化が急激であっても、緩やかな変化であってもコンテンツの特徴に忠実に最適なボリューム値（ユーザー設定値）に自動調整をおこないます。
また、Dynamic Volume は Audyssey Dynamic EQ の技術をアルゴリズムの中に取り込むことにより、ボリュームレベルの調整時やテレビチャンネルの切り替え時、ステレオコンテンツからサラウンドコンテンツなどの切り替え時でも低域特性や音質バランス、サラウンド効果、ダイアログの明瞭さを保っています。

各パラメーターの調節については「パラメーターの調節のしかた」（☞43ページ）をご覧ください。

RESTORER

圧縮音声を圧縮前に近い状態に復元し、低域と高域の量感を補正して豊かに再生します。

【選択できる項目】

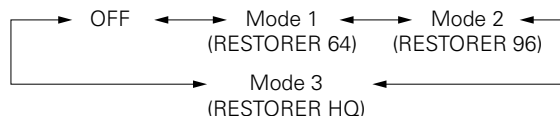
OFF：
RESTORER を使用しません。

Mode1（RESTORER 64）：
高域が極端に少ない圧縮音声ソースに対して、最適なモードです。

Mode2（RESTORER 96）：
圧縮音声全般に対して、低域と高域を共に適切に補正します。

Mode3（RESTORER HQ）：
高域が十分にある圧縮音声ソースに対して、最適なモードです。

“iPod”の初期設定は、“Mode3”です。その他は、すべて“OFF”に設定されています。

“OFF”以外に設定すると、“RESTORER”表示が点灯します。

本体やリモコンでも操作できます

RESTORER を押す。

RESTORER機能について
●MP3、WMA（Windows Media Audio）や MPEG-4 AAC などの圧縮オーディオフォーマットは、人間の耳には聞こえにくい部分の信号を省いてデータ量を減らしています。RESTORER は、圧縮処理をするときに省かれた信号を生成し、圧縮する前の音に近い状態に復元する機能です。同時に低音域の量感の補正もおこないますので、圧縮オーディオ信号をより豊かに再生することができます。 ●アナログ入力や PCM 信号（fs = 44.1/48kHz）が入力されたときにサラウンドパラメーター内に表示され、設定することができます。

Night Mode（ナイトモード）

夜間に小音量で音声を聞くときに設定します。

【選択できる項目】

OFF：設定しません。

Low：調節量を“弱”に設定します。

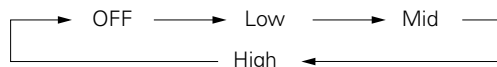
Mid：調節量を“標準”に設定します。

High：調節量を“強”に設定します。

リモコンでも操作できます

[NIGHT] を押す。

“Low”“Mid”“High”を選んだときに、“NIGHT”表示が点灯します。

ご注意

- “Dynamic EQ”を“ON”に設定している場合、“Night Mode”は設定できません。
- HD-Audio（Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD）再生時、“Night Mode”は設定できません。

Audio Delay（オーディオディレイ）

映像と音声の再生タイミングのずれを補正します。

音声を遅らせる時間を設定します。

【可変できる範囲】 **0 ms** ～ **200 ms**

HDMI やコンポーネントビデオ信号の再生中に、“Audio Delay”の調整をしたい場合は、△ を押して“OSD”を“OFF”にすると映像を見ながら調整することができます。（もう一度 △ 押すと、オンスクリーンディスプレイに切り替わります。）

本体やリモコンでも操作できます

AUDIO DELAY を押して、◁ ▷ で調節します。

ご注意

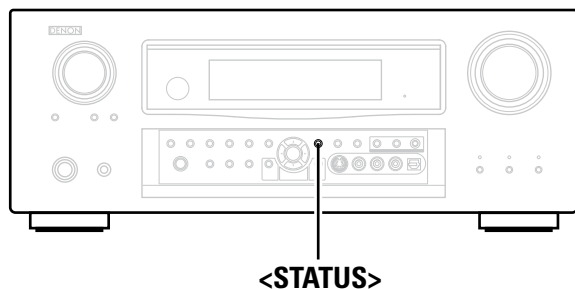
リモコンで操作する場合、オンスクリーンディスプレイは表示されません。

- “EXT. IN”、“DIRECT” および “STEREO” モード（Front Speaker：“Large”、Tone Control：“OFF”、MultEQ XT：“OFF”、RESTORER：“OFF”、Night Mode：“OFF”）で再生中は、調節できません。
- オートリップシンク補正機能が働いている場合は、0 ～ 100ms の範囲で設定できます。
- “Audio Delay”の設定は、入力ソースごとに記憶します。

各パラメーターの調節については「パラメーターの調節のしかた」（☞43ページ）をご覧ください。

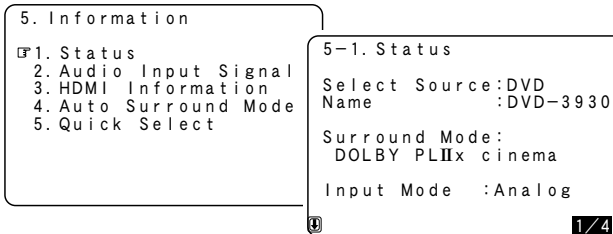
Information（情報）

☞ **取説中のボタン名の表示について**

本体とリモコンの両方にあるもの	**BUTTON**
本体のみにあるもの	**<BUTTON>**
リモコンのみにあるもの	**[BUTTON]**

<STATUS> を押すたびに、本体のディスプレイに現在の設定状態を表示させることもできます。

Status（現在の設定）

現在の設定状態を表示します。

●メニュー画面●

1 MAIN ZONE（メインゾーン）

メインゾーンの設定状態を表示します。

【確認できる項目】

Select Source（選択ソース） **Name**（ネーム） **Surround Mode**（サラウンドモード） **Input Mode**（入力モード） **Rec Select**（Recセレクト） **Video Select**（ビデオセレクト） **Source Level**（ソースレベル） **MultEQ XT** **Dynamic EQ** **Dynamic Volume** **Night Mode**（ナイトモード） **RESTORER** など

2 ZONE2/ZONE3

マルチゾーンの設定状態を表示します。

【確認できる項目】

Power（電源） **Select Source**（選択ソース） **Volume Level**（音量レベル）

Audio Input Signal（音声入力信号）

音声入力信号の情報を表示します。

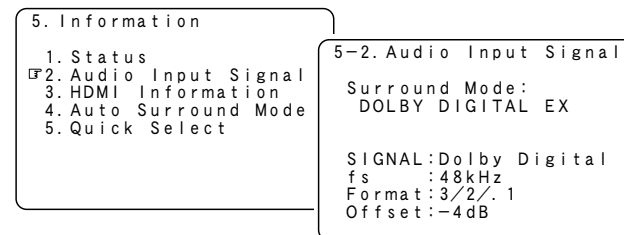
●メニュー画面●

```
5. Information

 1. Status
☞2. Audio Input Signal
 3. HDMI Information
 4. Auto Surround Mode
 5. Quick Select

5-2. Audio Input Signal

 Surround Mode:
  DOLBY DIGITAL EX

 SIGNAL:Dolby Digital
 fs    :48kHz
 Format:3/2/.1
 Offset:-4dB
```

【確認できる項目】

Surround Mode	：設定されているサラウンドモードを表示します。
SIGNAL	：入力信号の種類を表示します。
fs	：入力信号のサンプリング周波数を表示します。
Format	：入力信号のチャンネル数（フロント / サラウンド /LFE の有無）を表示します。
Offset	：ダイアログノーマライゼーションの補正値を表示します。
Flag	：入力信号がマトリックス処理されている場合は“MATRIX”、ディスクリート処理されている場合は“DISCRETE”を表示します。

ダイアログノーマライゼーション機能について

ドルビーデジタルソースの再生中に、自動的に動作します。
この機能は、プログラムソースごとに異なる標準信号レベルを自動的に補正します。
補正値は、**<STATUS>** でも確認できます。

```
Dial.Norm
Offset  - 4dB
```

数字は、標準レベルに補正した場合の補正値です。

各メニューの選択 / 設定 / 解除については「メニューの操作のしかた」（☞20 ページ）をご覧ください。

HDMI Information
（HDMI情報）

HDMIの入力信号やモニターの情報を表示します。

●メニュー画面●

1 HDMI Signal Information
（HDMI 信号情報）

HDMI の入力信号の情報を表示します。

【確認できる項目】

Resolution（解像度）　**Color Space**（カラースペース）

Pixel Depth（ビット数）

2 HDMI Monitor Information
（HDMI モニター情報）

本機に接続された HDMI モニターの情報を表示します。

【確認できる項目】

Interface（インターフェース）

Support Resolution（対応解像度）

Auto Surround Mode
（オートサラウンドモード）

オートサラウンドモードに記憶されている内容を表示します。

入力信号の種類ごとに、ラストメモリーされているサラウンドモードを表示します。

●メニュー画面●

【確認できる項目】

Analog/PCM 2CH（アナログ/PCM 2CH）

Digital 2CH（デジタル2CH）

Digital 5.1CH（デジタル5.1CH）

Multi ch（マルチチャンネル）

Quick Select
（クイックセレクト）

クイックセレクトに記憶している内容を表示します。

●メニュー画面●

【確認できる項目】

Name（ネーム）　**Input Source**（入力ソース）

Input Mode（入力モード）　**Volume Level**（音量レベル）

MultEQ XT　**Dynamic EQ**　**Dynamic Volume**

Front Sp（フロントスピーカー）

Analog/PCM 2CH（アナログ/PCM 2CH）

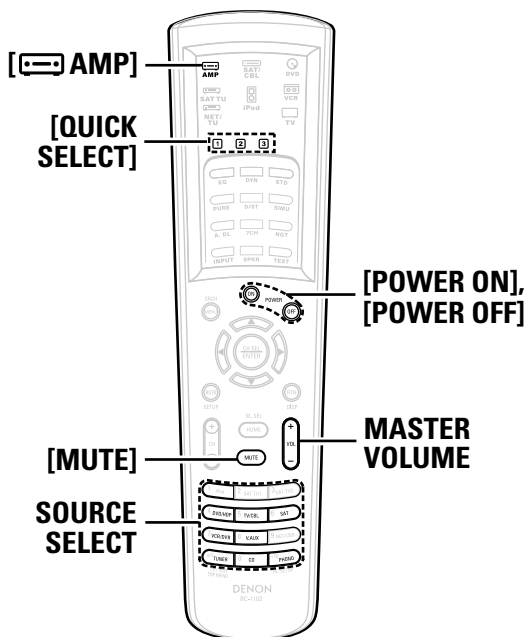
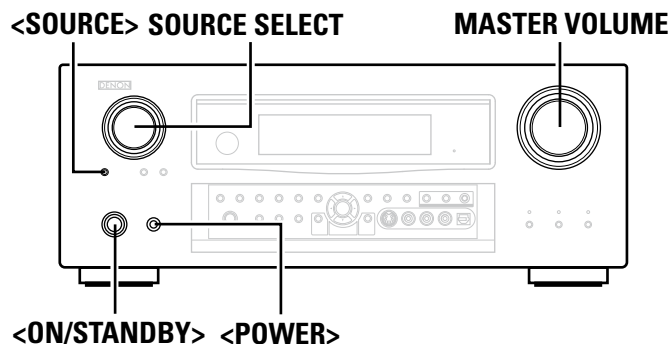
Digital 2CH（デジタル2CH）

Digital 5.1CH（デジタル5.1CH）

Multi ch（マルチチャンネル）

クイックセレクト1～3への記憶のしかたは、57ページをご覧ください。

各メニューの選択 / 設定 / 解除については「メニューの操作のしかた」（☞20 ページ）をご覧ください。

再生のしかた

準備

電源を入れる

1 **<POWER> を押す。**
電源表示が赤色に点灯して、電源がスタンバイ状態になります。

2 **<ON/STANDBY> または [POWER ON] を押す。**
電源表示が緑色に点滅して、電源が入ります。

※ スタンバイモード時に **[SOURCE SELECT]** を押しても、電源が入ります。この場合、リモコンで選択した入力ソースになります。
※ スタンバイモード時に **[QUICK SELECT]** を押しても、電源が入ります。この場合、リモコンで選択したクイックセレクトモードになります（☞57ページ）。

電源を切る

① **<ON/STANDBY>** または **[POWER OFF]** を押す。
電源がスタンバイ状態になります。
② **<POWER>** を押す。
電源表示が消灯して、電源が切れます。

ご注意
電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、**<POWER>** を押して電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

入力ソースを選ぶ

SOURCE SELECT で選ぶ。
<SOURCE SELECT> を回すたびに、または **[SOURCE SELECT]** を押すたびに、入力ソースが切り替わります。

入力ソースに“ZONE2/3 / Rec Select”または“Video Select”を選んでいる場合は、**<SOURCE>** を押してから **<SOURCE SELECT>** を回してください。

再生中にできる操作

主音量の調節

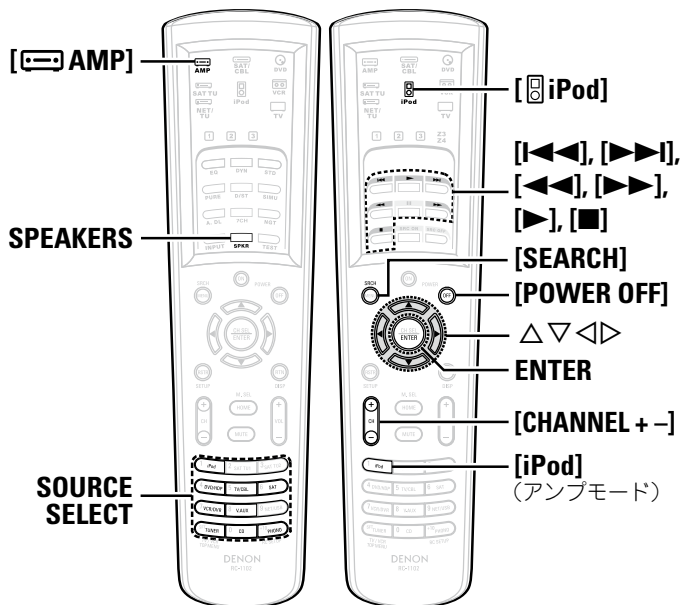
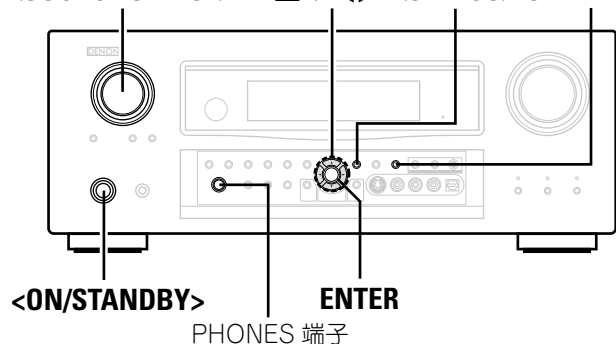
<MASTER VOLUME> を回すか、[MASTER VOLUME] を押す。

【可変できる範囲】 ––– –80.0dB ~ 18.0dB

ご注意
入力信号とチャンネルレベルの設定などにより、可変できる範囲が異なります。

一時的に音を消す（ミューティング）

[MUTE] を押す。

- メニューの“Manual Setup”–“Option Setup”–“Volume Control”–“Mute Level”で設定したレベルまで減衰します。
- 解除するときは、もう一度 **[MUTE]** を押してください。主音量を調節しても解除することができます。

ヘッドホンで音を聴く

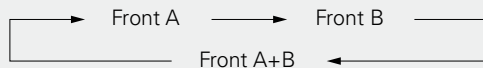
本機の PHONES 端子に、ヘッドホンのプラグを差し込む。

自動的にスピーカーおよびプリアウト端子から音が出なくなります。

ご注意

ヘッドホンをお使いになるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

フロントスピーカーを切り替える

SPEAKERS を押す。

ご注意

"Front Speaker Setup" で "Custom" に設定すると、**SPEAKERS** は操作できません（☞29 ページ）。

映像機器や音声機器の再生

基本操作

1 準備をする。

① BD、DVD や CD などのソフトをセットする。
（☞ 各機器の取扱説明書）

② 映像機器を再生する場合は、モニターの入力を切り替える。（☞ モニターの取扱説明書）

2 SOURCE SELECT を使って、本機の入力ソースを切り替える。

3 再生をはじめる。

（☞ 各機器の取扱説明書）

リモコンで外部機器の操作をおこなうことができます。
「リモコン操作」（☞58ページ）をご覧ください。

iPod® を再生する

iPod 用コントロールドック（ASD-1R、ASD-11R、ASD-3N または ASD-3W、別売り）を使用することにより、iPod の音楽を再生することができます。また、リモコンでも操作することができます。

Made for iPod

iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc. の商標または登録商標です。

※ iPod は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

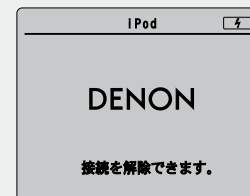
基本操作

1 準備をする。

① DENON 製 iPod 用コントロールドックに、iPod をセットする。（☞iPod 用コントロールドックの取扱説明書）

② iPod 用コントロールドックの入力を割り当てる。
お買い上げ時の設定では、VCR に iPod 用コントロールドックの入力が割り当てられています。

メニュー："Input Setup" – "Assign" – "iPod Dock"（☞37 ページ）

2 <SOURCE SELECT> を回すか、[iPod] を押して、操作 1- ②で割り当てた入力ソースを選ぶ。

（iPod の画面 ）

※ 上記の画面が表示されない場合は、iPodが正しく接続されていない可能性があります。再度接続をやり直してください。

3 リモコンで操作する場合は、リモコンを iPod モードにする。

（☞58 ページ「リモコン操作」）

4 **[SEARCH] を 2 秒以上長押しして、表示モードを選ぶ。**

長押しするたびに、モードが切り替わります。
リモートモードのときには、“Remote” が表示されます。

【選択できるモード】		ブラウズモード	リモートモード
表示するディスプレイ		本機のディスプレイ	iPod のディスプレイ
再生できるファイル	音声ファイル	○	○
	映像ファイル	○ ＊1	○ ＊2
操作できるボタン	本機のリモコン	○	○
	iPod	×	○

＊1： iPod用コントロールドックASD-3NまたはASD-3Wを使用時
＊2：ASD-1RまたはASD-11RとiPodの組み合わせによっては、映像が出力されない場合があります。

- お買い上げ時の設定は、iPod用コントロールドックをVCR（iPod）端子に接続してお使いいただけます。
- 圧縮オーディオの低域や高域を拡張してより豊かな再生をするには、RESTORERモードをおすすめします（☞48ページ）。お買い上げ時の設定は“Mode3”になっています。
- iPodは、**<ON/STANDBY>** または **[POWER OFF]** で本機の電源をスタンバイ状態にしてから、取り外してください。iPod Dockの入力を割り当てていない入力ソースに切り替えても、iPodを取り外すことができます。
- iPod用コントロールドック ASD-3NまたはASD-3Wを使用する場合は、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

音楽を聴く

1 **△▽ で項目を選び、ENTER または ▷ で再生したい音楽ファイルを選ぶ。**

2 **ENTER または ▷ を押す。**

再生をはじめます。

❑ 一時停止するには

再生中に **ENTER** または **[▶]** を押す。
もう一度押すと、再生を再開します。

❑ 早送りや早戻しするには

再生中に **[◀◀]**（早戻し）または **[▶▶]**（早送り）を長押しする。

❑ 頭出しするには

再生中に **[I◀◀]**（前の曲の頭出し）または **[▶▶I]**（次の曲の頭出し）を押す。

❑ 停止するには

再生中に **ENTER** を長押しするか、**[■]** を押す。

❑ リピート再生するには

[CHANNEL –] を押す。

【選択できる項目】 **All** **One** **OFF**

メニュー： “Input Setup” – “iPod” –
“Repeat Mode” （☞39ページ）

❑ シャッフル再生するには

[CHANNEL +] を押す。

- **DENON製iPod用コントロールドック ASD-1RまたはASD-11R接続時**

【選択できる項目】 **Albums** **Songs** **OFF**

- **DENON製iPod用コントロールドック ASD-3NまたはASD-3W接続時**

【選択できる項目】 **ON** **OFF**

メニュー： “Input Setup” – “iPod” –
“Shuffle Mode” （☞40ページ）

- ブラウズモードの再生中に **<STATUS>** を押すと、タイトル名、アーティスト名およびアルバム名の確認ができます。
- ブラウズモードでは、フォルダ名とファイル名を表示できます。半角英数字と一部の記号のみを表示できます。対応していない文字は、“.（ピリオド）”に置き換えて表示します。
- メニューの “Manual Setup” – “Option Setup” – “On-Screen Display” – “iPod Information” （☞34ページ）で、メニューの表示時間（初期値：30秒）を設定することができます。
△▽◁ ▷ を押すと、元の画面に戻ります。

iPod の静止画像やビデオを見る

スライドショーやビデオ機能がある iPod に保存してある写真やビデオのデータをモニターで見ることができます。（ASD-1R または ASD-11R 使用時）

1 **[SEARCH] を長押しして、リモートモードにする。**

本機のディスプレイに“Remote iPod”を表示します。

2 **iPodの画面を見ながら △▽ を押して、“写真” または “ビデオ” を選ぶ。**

3 **再生したい画像が表示されるまで、[ENTER]を押す。**

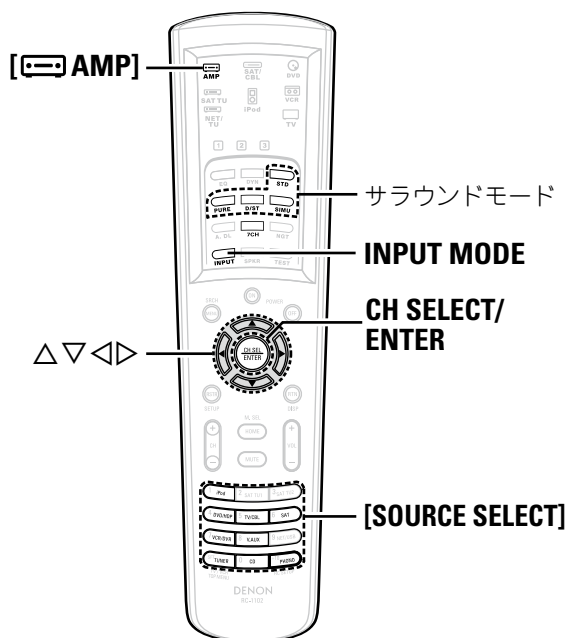
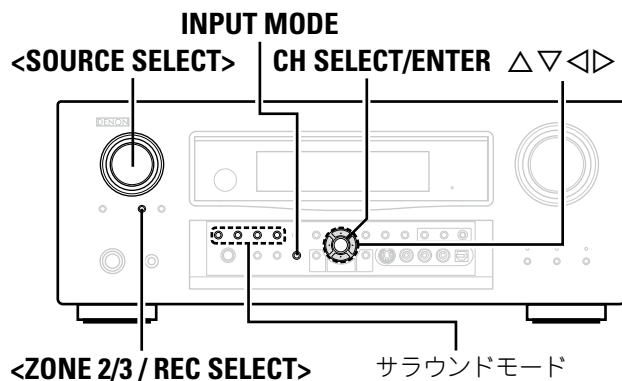
- iPodの写真データやビデオデータをモニターに映し出すには、iPodの“スライドショー設定”または“ビデオ設定”の“TV出力”を“オン”に設定する必要があります。詳しくは、iPodの取扱説明書をご覧ください。
- DENON製iPod用コントロールドック ASD-3NまたはASD-3Wを使用してiPodのビデオファイルを見る場合は、ブラウズモードにて “iPod” – “Video” を選んでください。

ご注意

- iPodの種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。
- 万一、iPodのデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。

その他の操作や機能

取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの → BUTTON
本体のみにあるもの → <BUTTON>
リモコンのみにあるもの → [BUTTON]

その他の操作

スーパーオーディオ CD の再生

1 "HDMI In"の設定（☞37ページ）で"HDMI"を割り当てる。

2 <SOURCE SELECT> を回すか、[SOURCE SELECT] を押して、操作1で割り当てた入力ソースを選ぶ。
ディスプレイの"HDMI"表示が点灯します。

3 INPUT MODE で"AUTO"を選ぶ（☞39ページ）。
入力モードは、プログラムソースに合わせて選んでください。

4 サラウンドモードを選ぶ（☞40〜42ページ）。
DIRECTモードでの再生をおすすめします。

5 スーパーオーディオCDを再生する。
ディスプレイの"DSD"表示が点灯します。
操作のしかたは、機器の取扱説明書をご覧ください。

- DSD 信号を DIRECT モードや PURE DIRECT モードで再生する場合は、DSD 信号のままアナログ変換されます。それ以外のサラウンドモードで再生する場合は、DSD 信号を一度 PCM 変換してからアナログ変換されます。
- DSD の 2 チャンネル信号を DIRECT モードで再生すると、ディスプレイに"DSD DIRECT"と表示されます。また、DSD マルチチャンネル信号を DIRECT モードで再生すると、ディスプレイに"DSD MULTI DIRECT"が表示されます。

外部機器での録音 / 録画 (REC OUT モード)

再生中の曲を聴きながら、別のプログラムソースを録音 / 録画することができます。

1 <ZONE2/3 / REC SELECT> を押す。
※ ボタンを押すたびに、ゾーン2またはゾーン3の選択モードが切り替わり、ディスプレイに"ZONE2 Source"または"ZONE3 Source"を表示します。

2 "RECOUT Source"が表示されるまで、<SOURCE SELECT> を回す。
"REC"表示が点灯します。

❏ ゾーン2の"Rec Select"時

3 <SOURCE SELECT> を回して、録音/録画したい入力ソースを選ぶ。

4 プログラムソースを再生する。
操作のしかたは、機器の取扱説明書をご覧ください。

5 録音/録画をはじめる。
操作のしかたは、機器の取扱説明書をご覧ください。

- 解除する場合は、**<ZONE2/3 / REC SELECT>** を押してから、ディスプレイに“ZONE2 Source”が表示されるまで、**<SOURCE SELECT>** を回してください。
- 録音 / 録画する前に、あらかじめ「試し録音」や「試し録画」をおこなってください。
- デジタル入力端子（OPTICAL/COAXIAL）から入力されたデジタル信号が PCM（2 チャンネル）の場合のみ、アナログ REC OUT 端子に出力します。
- HDMI 端子から入力されたデジタル音声信号は、REC OUT 端子に出力されないため、OPTICAL 端子や COAXIAL 端子を使用して接続してください。
- REC OUT モードで選ばれた入力ソースは、ゾーン 2 からも出力します。
- REC OUT モード中は、リモコンのゾーン 2 モードのボタンは操作できません。

ご注意

- あなたが録音したものは、個人で楽しむ場合以外は、著作権者に無断で使用することはできません。
- メニューの“Manual Setup”–“Option Setup”–“Source Delete”で“Delete”に設定した入力ソースは選べません（☞34 ページ）。

便利な機能

HDMI コントロール機能

本機を HDMI コントロール機能に対応しているテレビやプレーヤーに接続した場合に、以下の操作ができます。
本機の設定以外に、各機器の設定が必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

- テレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源をオフにできます。
  テレビの音声出力の設定操作にて「アンプから音声を出力する」の設定操作をおこなうと、アンプの電源をオンにすることができます。
- テレビの操作で、音声を出力する機器の切り替えができます。（テレビのスピーカーからの出力と、本機に接続したスピーカーからの出力の切り替え）
- テレビの音量調節操作で、本機の音量の調節ができます。
- テレビの入力の切り替え操作に連動して、本機の入力ソースの切り替えができます。
- プレーヤーを再生すると、本機の入力ソースがそのプレーヤーの入力ソースに切り替わります。

- テレビの音声を本機で聞きたい場合は、光デジタルまたはアナログ接続をしてください（☞16ページ）。
  お使いのテレビに、両方の接続端子が装備されている場合は、光デジタル接続をしてください。
- 本機能をお使いになる場合は、メニューの“Manual Setup”–“HDMI Setup”–“HDMI Control”を“ON”に設定してください（☞29ページ）。

ご注意

HDMIコントロール機能をお使いになる場合、メニューの“Input Setup”–“Assign”–“HDMI In”の設定で、“TV/CBL”を割り当てることはできません。

操作のしかた

1 **本機とHDMIコントロール機器に対応している機器をHDMIケーブルで接続する（☞13ページ）。**

2 **HDMIケーブルで接続しているすべての機器の電源を入れる。**

3 **HDMIケーブルで接続しているすべての機器の設定を確認し、HDMIケーブルでコントロール機能を有効にする。**

※ 接続機器の設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
※ 操作1〜3は、一度操作すれば二回目以降は必要ありません。
※ いずれかの機器の電源コンセントを抜いた場合は、操作2、3をおこなってください。

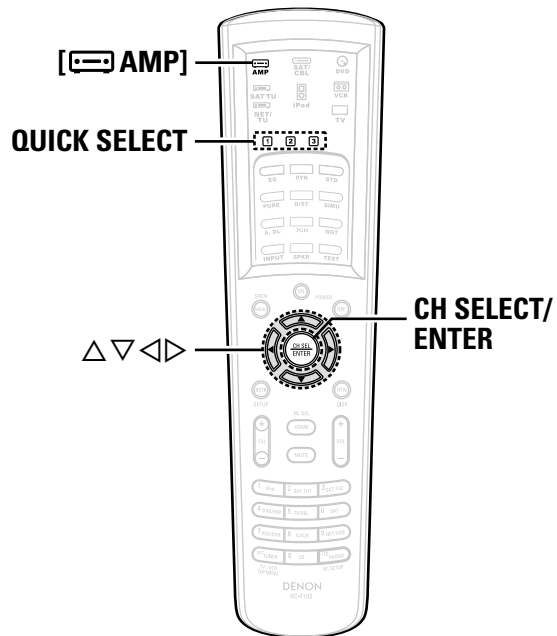
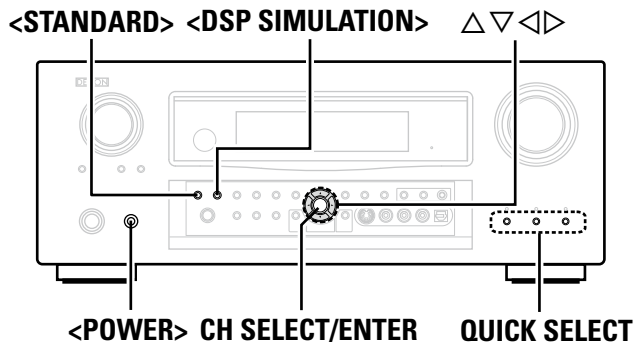
4 **テレビの入力を、本機に接続したHDMI入力に切り替える。**

5 **本機の入力をHDMI入力のソースに切り替えて、プレーヤーの映像が正しく映るかを確認する。**

6 **テレビの電源をスタンバイにし、本機がスタンバイになることを確認する。**

ご注意

本機の電源を切ると、HDMI コントロール機能は働きません。電源を入れるかスタンバイ状態にしてください。

本機が動作しない場合は、以下のことをご確認ください。
- メニューの“Manual Setup”–“HDMI Setup”–“HDMI Control”の設定（☞30 ページ）が“ON”になっているか。
- メニューの“Manual Setup”–“HDMI Setup”–“Power Off Control”の設定（☞30 ページ）が“ON”になっているか。
- テレビの HDMI を使用したコントロール機能の設定が正しく設定されているか。（詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。）
- 以下の操作をおこなうと、連動操作が初期化される場合があります。その場合には、操作 2、3 をおこなってください。
  ・メニューの“Input Setup”–“Assign”–“HDMI In”の設定変更（☞37 ページ）
  ・HDMI で接続している機器の接続変更や機器の増加

チャンネルレベルの調節

再生するプログラムソースまたはお好みに合わせて、各チャンネルレベルの調節をおこなってください。

1 **CH SELECT/ENTER を押す。**

2 **△▽ または CH SELECT/ENTER でスピーカーを選ぶ。**

ボタンを押すたびに、スピーカーが切り替わります。

3 **◁ ▷ で音量を調節する。**

※ サブウーハーの場合“-12dB”のときに音量を下げる操作をおこなうと、“OFF（なし）”の設定になります。

ご注意

入力ソースが“iPod”のときに、チャンネルレベルの設定はできません。

フェーダー機能

フロント側またはリア側のスピーカーの音量をまとめて調節（減衰）します。

1 **CH SELECT/ENTER を押す。**

2 **△▽ または CH SELECT/ENTER で“Fader”を選ぶ。**

ボタンを押すたびに、スピーカーが切り替わります。

3 **◁ ▷ でスピーカーの音量を調節する。**

（◁：フロント側、▷：リア側）

- フェーダー機能は、サブウーハーには働きません。
- 一番小さい値に調節されているスピーカーの音量が、-12dB になるまで調節できます。

クイックセレクト機能

現在再生中の入力ソース、サラウンドモード、MultEQ XT や音量の設定を記憶させせます。

1 **入力ソース、サラウンドモード、MultEQ XT、Dynamic EQ、Dynamic Volume、フロントスピーカーや音量の設定を記憶させたい状態に設定する。**

2 **クイックセレクト表示が点灯するまで、QUICK SELECT を長押しする。**

再生中の設定が記憶されます。

【お買い上げ時の設定】

	入力ソース	音量
クイックセレクト1	DVD	–40dB
クイックセレクト2	TV/CBL	–40dB
クイックセレクト3	VCR	–40dB

- 設定を呼び出すときは、呼び出したい設定が記憶されている **QUICK SELECT** を押してください。
- クイックセレクト名を変更することができます（☞35ページ）。

ご注意

メニューの “Manual Setup” – “Option Setup” – “Source Delete”（☞34 ページ）で、クイックセレクトに記憶させている入力ソースを削除すると、そのクイックセレクトの設定も削除されます。このような場合は、もう一度クイックセレクトを記憶させてください。

パーソナルメモリープラス機能

最後に選ばれた設定（入力モード、サラウンドモード、HDMI 出力モード、MultEQ XT、Dynamic EQ、Dynamic Volume やオーディオディレイなど）を入力ソースごとに設定します。

入力ソースに切り替えると、自動的に前回使用されたときの設定になります。

サラウンドパラメーター、トーンの設定および各スピーカーの音量は、サラウンドモードごとに記憶します。

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。

再び電源を入れると、スタンバイにする直前の設定になります。

バックアップメモリー

電源を切ったり、電源コードを抜いたりした場合でも、各種設定を保存して約 1 週間保持します。

マイコンの初期化

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。

マイコンを初期化すると、各種ボタンの設定内容がすべてお買い上げ時の設定になります。

1 **<POWER> を押して電源を切る。**

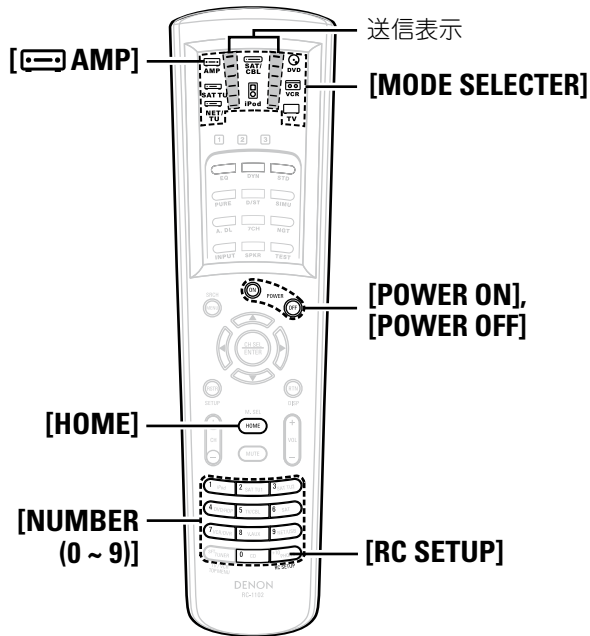
2 **<STANDARD> と <DSP SIMULATION> を同時に押しながら、<POWER> を押す。**

3 **ディスプレイ表示が約1秒間隔で点滅したら、2つのボタンから指を離す。**

操作 3 でディスプレイ表示が約 1 秒間隔で点滅しない場合は、もう一度操作 1 からやり直してください。

リモコン操作

リモコンの操作

- リモコンは、操作する機器やモードに応じて表示が切り替わります。
- iPod 以外のモードは、**[MODE SELECTOR]** を押すたびに、“DEV1” および “DEV2” が切り替わります。
- “AMP” および “iPod” モードに、リモコン ID を設定すると、DENON 製アンプが複数台ある環境でも、本機を単独で使用することができます。

お手持ちの機器の形式や年式によって、操作できないボタンがあります。

ご注意

設定中は、デバイスモード（“DEV1” または “DEV2”）の切り替えはできません。

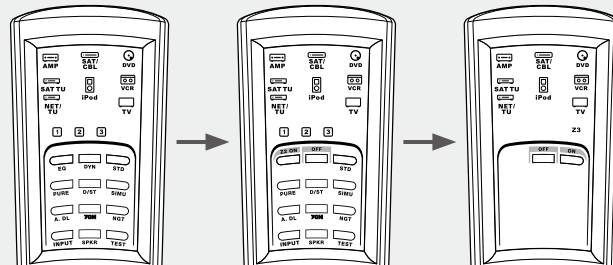
DENON 製オーディオ機器を操作する

1 操作する機器の [MODE SELECTOR] を押す。
操作する機器の表示が点滅します。

- AMP：アンプ / ゾーン 2/ ゾーン 3/ ゾーン 4/ システムコール
- SAT TU：使用しません。
- NET/TU：チューナー（FM/AM）
- SAT/CBL：サテライトレシーバー / ケーブルテレビ
- iPod：iPod
- DVD：ブルーレイディスクプレーヤー / DVD プレーヤー（レコーダー）/ CD プレーヤー（レコーダー）
- VCR：ビデオデッキ / テープデッキ
- TV：モニター

※ SAT/TU（DEV1 および DEV2）、NET/TU（DEV1）、は本機では使用しません。61 ページを参照し、学習させてお使いください。

※ **[AMP]** を押すたびに、次のように切り替わります。

【アンプモード】→【ゾーン 2 モード】→【ゾーン 3 モード】→【ゾーン 4 モード】→【システムコールモード】→【アンプモード】

※ ゾーン 4 モードは本機では操作できません。

2 機器を操作する。

※ 詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

- **[HOME]** を押すと、アンプ以外のモードからアンプモード（“アンプ”、“ゾーン 2”、“ゾーン 3”、“ゾーン 4” または “システムコール”）に戻ります。
- ゾーン 2、ゾーン 3 およびゾーン 4 モードのときに **[POWER ON]** または **[POWER OFF]** を押すと、メインゾーンの電源をオン / オフすることができます。

プリセット登録する

付属のリモコンにプリセット登録すると、各社の機器の操作ができるようになります。

1 プリセット登録する機器の [MODE SELECTOR] を押す。

2 [RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。
送信表示が 2 回点滅します。

3 [NUMBER] でプリセットコード表（☞ 巻末）からプリセット登録する機器のメーカーの番号（5 桁）を入力する。
登録されると、送信表示が 2 回点滅します。
プリセットコード送信時は、そのコードが属する機器のモード表示が点滅します。

※ 10 秒間何も操作しないと、設定モードが解除されます。

メーカーによってはプリセットコードを数種類持っています。動作しない場合は別のコードを入力してください。

プリセット登録した機器を操作する

1 操作する機器の [MODE SELECTOR] を押す。
操作する機器の表示が点滅します。

2 機器を操作する。

※ 詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

機器ボタンごとのボタンのはたらき

EL ディスプレイ

[MODE SELECTOR]

[▶], [I◀◀ ▶▶I], [◀◀ ▶▶], [II], [■], [SOURCE ON], [SOURCE OFF]

ボタン

[MENU/SEARCH]

[ENTER]

[SETUP/RESTORER]

[△▽◁▷]

[RETURN]

[CH +], [CH –]

[TOP MENU]

[NUMBER (0 ~ 9, +10)]

EL ディスプレイ								
MODE SELECTOR	**DVD**					**VCR**		**iPod**
デバイスモード	DEV1			DEV2		DEV1	DEV2	DEV1
操作機器	**DVD** （初期設定）	**DVD Recorder**	**Blu-ray Disk player**	**CD** （初期設定）	**CD Recorder**	**Video deck**	**TAPE**	**iPod**
▶	再生	再生	再生	再生	再生	再生	再生	再生 / 一時停止
I◀◀ ▶▶I	オートサーチ（頭出し）	オートサーチ（頭出し）	オートサーチ（頭出し）	オートサーチ（頭出し）	オートサーチ（頭出し）	オートサーチ（頭出し）	オートサーチ（頭出し）	オートサーチ（頭出し）
◀◀ ▶▶	マニュアルサーチ（早戻し / 早送り）	マニュアルサーチ（早戻し / 早送り）	マニュアルサーチ（早戻し / 早送り）	マニュアルサーチ（早戻し / 早送り）	マニュアルサーチ（早戻し / 早送り）	マニュアルサーチ（早戻し / 早送り）	マニュアルサーチ（早戻し / 早送り）	マニュアルサーチ（早戻し / 早送り）
II	一時停止	一時停止	一時停止	一時停止	一時停止	一時停止	一時停止	–
■	停止	停止	停止	停止	停止	停止	停止	停止
SOURCE ON	電源オン	電源オン	電源オン	–	–	電源オン	–	–
SOURCE OFF	電源オフ	電源オフ	電源オフ	–	–	電源オフ	–	–
ボタン								
MENU / SEARCH	メニュー / ガイド	メニュー / ガイド	ポップアップメニュー	–	–	メニュー / ガイド	–	ページフォワードスクリーン（短押し）/ Browse/ Remote モード切り替え（長押し）
△ ▽ ◁ ▷	カーソル	カーソル	カーソル	–	–	カーソル	–	カーソル
ENTER	確定	確定	確定	–	–	確定	–	確定
SETUP / RESTORER	セットアップ	セットアップ	セットアップ	–	–	セットアップ	–	RESTORER
RETURN	リターン	リターン	リターン	–	–	キャンセル	–	リターン
CH +	ランダム	–	ランダム	ランダム	–	チャンネルの切り替え	–	1 曲 / アルバムシャッフル再生
CH -	リピート	–	リピート	リピート	–	チャンネルの切り替え	–	1 曲 / 全曲リピート再生
0 ~ 9, +10	トラックの選択	トラックの選択	トラックの選択	曲の選択	曲の選択	–	–	–
特記事項	①, ②		③	①		①	①	–

【特記事項】

① それぞれのモードには、一つの機器しかプリセット登録することができません。また、新しいコードをプリセット登録すると、前のコードは自動的に消去されます。
② DVD のリモコンボタンは、メーカーによって機能名が異なる場合がありますので、あらかじめご確認ください。
③ DVD プレーヤーのデフォルトコードにおいて、ブルーレイディスクプレーヤーを操作することができます（TOP MEMU は除く）。
また、ブルーレイディスクプレーヤーのリモート ID を"DENON2"に変更した場合は、"32258"をプリセットしてください。

EL ディスプレイ				
MODE SELECTOR	TV		Satellite Receiver / Cable TV	
デバイスモード	DEV1	DEV2	DEV1	DEV2
操作機器	TV (HITACHI)	TV (SONY)	SAT	SAT
▶	パンチスルー	パンチスルー	パンチスルー	パンチスルー
I◀◀ ▶▶I				
◀◀ ▶▶				
II				
■				
SOURCE ON	電源オン	電源オン	電源オン	電源オン
SOURCE OFF	電源オフ	電源オフ	電源オフ	電源オフ
ボタン				
MENU	メニュー / ガイド	メニュー / ガイド	メニュー / ガイド	メニュー / ガイド
△ ▽ ◁ ▷	カーソル	カーソル	カーソル	カーソル
ENTER	設定の確定	設定の確定	設定の確定	設定の確定
SETUP	セットアップ	セットアップ	セットアップ	セットアップ
DISPLAY	ディスプレイ	ディスプレイ	ディスプレイ	ディスプレイ
CH + / –	チャンネルの切り替え	チャンネルの切り替え	チャンネルの切り替え	チャンネルの切り替え
0 ~ 9, +10	チャンネルの選択	チャンネルの選択	チャンネルの選択	チャンネルの選択
TV/VCR	入力切り替え	入力切り替え	–	–
特記事項	④、⑤	④、⑤	④、⑤	④、⑤

【特記事項】

④ それぞれのモードには、一つの機器しかプリセット登録することができません。また、新しいコードをプリセット登録すると前のコードは自動的に消去されます。

⑤ TV と SAT/CBL モードには、CD、VCR、DVD のいずれかのボタンを割り当てることができます（☞62 ページ「パンチスルー機能」）。

EL ディスプレイ	
MODE SELECTOR	NET/TU
デバイスモード	DEV2
操作機器	Analog Tuner
▼ ▲	選局 + / –
BAND	FM/AM 切り替え
MODE	サーチモードの切り替え
MEMO	プリセットメモリー登録
ボタン	
CH + / –	プリセットチャンネルの選択
1 ~ 8	プリセットチャンネルの選択
SHIFT	メモリーブロックの切り替え

リモコン ID を設定する

同じ部屋で DENON 製 AV レシーバーを複数台ご使用の場合に、操作する機器以外の AV レシーバーが動作しないように設定します。

1 **[AMP] を押して、リモコンをアンプモードにする。**

2 **[RC SETUP]を３秒以上長押しする。**
送信表示が2回点滅します。

3 **右表を参照して、変更するリモコンIDに対応する番号（５桁）を [NUMBER] で入力する。**
送信表示が2回点滅します。

4 **[iPod] を押して、iPodモードにする。**

5 **操作２と３をくり返して、リモコンIDを設定する。**

リモコン ID ＼ モード切り替えボタン	AMP（アンプ）	iPod
1（初期値）	81001	72815
2	82001	72816
3	83001	72817
4	84001	72818

ご注意

- 設定を変更する場合は、必ず本体と同じリモコン ID に設定してください（☞35 ページ「リモコン ID の設定」）。
- AMP モードのリモコン ID を変更する場合は、“iPod”のリモコン ID も変更してください。

学習機能

お手持ちの AV 器機が DENON 以外の製品の場合やプリセットメモリーで操作できない場合は、他機のリモコン信号を本機のリモコンに記憶させてご使用ください。

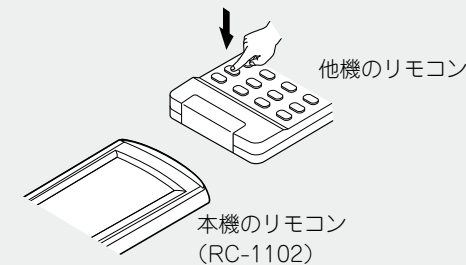
1 **設定する機器の [MODE SELECTOR] を押す。**

2 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

3 **[9]、[7]、[5] の順に押す。**
送信表示が 2 回点滅し、学習機能モードになります。

4 **設定するボタンを押す。**
表示が消え、学習待機モードになります。

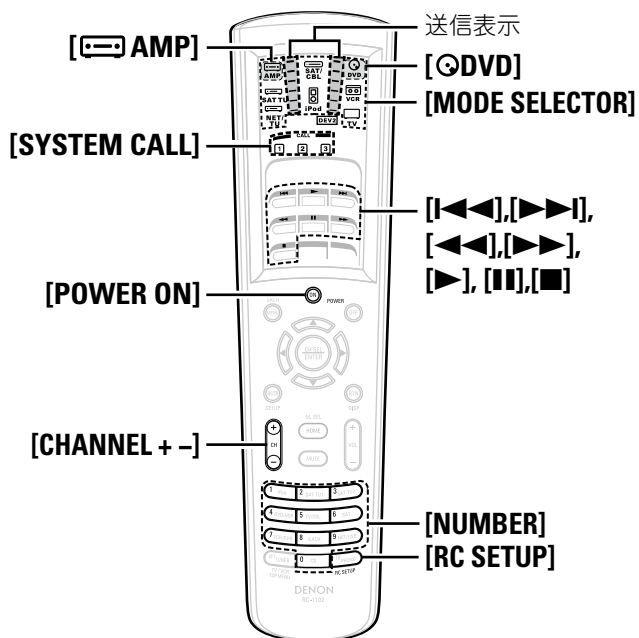
※ 学習できないボタンを押した場合は、送信表示が点灯し設定が解除されます。

5 **リモコンをまっすぐに向かい合わせ、学習させる他機のリモコンボタンを長押しする。**
正常に学習機能が終了すると表示が点灯し、送信表示が 2 回点滅します。

※ 他にも学習させたいボタンがある場合は、操作 4、5 をくり返しおこなってください。
※ **[MODE SELECTOR]** を押すと、モードを切り替えることができます。
※ 学習できなかった場合は、送信表示が 1 回長く点灯します。

6 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅し、設定が終了します。

- リモコンによっては学習できない場合や、学習しても機器が正常に動作しない場合があります。この場合は、機器の専用リモコンをご使用ください。
- 学習したボタンはプリセットメモリーよりも優先されます。不要の場合は学習内容を消去してください（☞63 ページ）。

ご注意

- **[HOME]** ボタンは学習できません。
- **[RC SETUP]** ボタンには学習させないでください。
- アンプ、ゾーン 2、ゾーン 3、ゾーン 4 およびシステムコールモードには学習できません。

システムコール機能

連続した操作を 1 つのボタンに登録させることができます。
この機能により、1 回のボタン操作でアンプの電源オン、入力ソースの選択、モニターの電源オン、ソース機器の電源オン、再生などの一連の操作ができます。
[SYSTEM CALL 1 ~ 3] にそれぞれ 32 個までの信号を登録することができます。

登録する

1. **システムコールに登録する機器の [MODE SELECTOR] を押す。**
2. **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
   送信表示が 2 回点滅します。
3. **[9]、[7]、[8] の順に押す。**
   送信表示が 2 回点滅し、システムコール登録モードになります。
4. **登録したい [SYSTEM CALL]（1、2 または 3）を押す。**
5. **登録させたい操作ボタンを操作順に続けて押す。**
   ボタンを押すと、送信表示が点灯します。

   【例】 **[POWER ON]** を押す。
   ↓
   [MODE SELECTOR] の **[DVD]** を押す。
   ↓
   [▶] を押す。

   ※ **[MODE SELECTOR]** を押すと、モードを切り替えることができます。
   ※ 登録させたいすべてのボタンの登録をおこないます。
6. **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
   送信表示が 2 回点滅し、設定が終了します。

呼び出す

1. **[AMP] で“システムコールモード”を選ぶ。**
2. **登録した [SYSTEM CALL] (1、2 または 3) を押す。**
   登録した信号を連続して送信します。

パンチスルー機能

TV モードおよび SAT/CBL モードの空きボタンに、CD、DVD（ブルーレイディスクや CD も含む）および VCR モードのいずれかのボタンを割り当てることができます。
例えば、TV モードに DVD モードのボタンを割り当てると、TV モードのまま DVD の操作ができます。

1. **パンチスルーしたい機器（DVD または VCR）の [MODE SELECTOR] を押す。**
2. **パンチスルーしたい機器（TV または SAT/CBL）の [MODE SELECTOR] を押す。**
3. **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
   送信表示が 2 回点滅します。
4. **[9]、[8]、[4] の順に押す。**
   送信表示が 2 回点滅し、パンチスルー設定モードになります。
5. **パンチスルーしたい機器（DVD または VCR）の [MODE SELECTOR] を押す。**
6. **パンチスルーさせたいボタン（▶、■、◀◀、▶▶、I◀◀、▶▶I または ❚❚）を押す。**
7. **パンチスルーしたい機器（TV または SAT/CBL）の [MODE SELECTOR] を押す。**
8. **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
   送信表示が 2 回点滅し、設定が終了します。

バックライトの点灯時間を設定する

1 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

2 **[9]、[7]、[3] の順に押す。**
送信表示が 2 回点滅し、バックライト点灯時間の設定モードになります。

3 **点灯時間を設定する。**
送信表示が 2 回点滅します。

【点灯時間】 **[1]**：5 秒
[2]：10 秒（お買い上げ時）
[3]：15 秒
[4]：20 秒
[5]：25 秒

バックライトの明るさを調節する

表示の明るさを 5 段階で調節することができます。
（初期設定：3 段階）

1 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

2 **[CHANNEL +] または [CHANNEL –] を押す。**
[+] を押すと、1 段階明るくなります。
[–] を押すと、1 段階暗くなります。

3 **[RC SETUP] を押して、設定を終了する。**

リモコンを初期化する

学習機能を初期化する

❑ ボタン毎に初期化する

1 **初期化したい機器の [MODE SELECTOR] を押す。**

2 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

3 **[9]、[7]、[6] の順に押す。**
送信表示が 2 回点滅します。

4 **初期化したいボタンを 2 回押す。**
送信表示が 2 回点滅します。

❑ 機器のモード毎に初期化する

1 **初期化したい機器の [MODE SELECTOR] を押す。**

2 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

3 **[9]、[7]、[6] の順に押す。**
送信表示が 2 回点滅します。

4 **初期化したい機器の [MODE SELECTOR] を 2 回押す。**
送信表示が 2 回点滅します。

システムコール機能を初期化する

1 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

2 **[9]、[7]、[8] の順に押す。**
送信表示が 2 回点滅します。

3 **初期化したい [SYSTEM CALL]（1、2 または 3）を押す。**

4 **[RC SETUP] を 3 秒以上押す。**
送信表示が 2 回点滅します。

パンチスルー機能を初期化する

1 **初期化したい機器（TV または SAT/CBL）の [MODE SELECTOR] を押す。**

2 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

3 **[9]、[8]、[4] の順に押す。**
送信表示が 2 回点滅します。

4 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

全設定を初期化する

1 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

2 **[9]、[8]、[1] の順に押す。**
送信表示が 4 回点滅します。
すべての設定が初期値に戻ります。

アンプアサインの設定とマルチゾーンの接続と操作

本機は、次の再生に対応しています。

- **マルチゾーン再生（ゾーン 2/ ゾーン 3）**
- **バイアンプ再生（フロントスピーカー）**

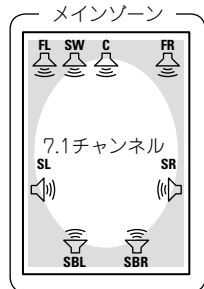
ご注意

- バイアンプ再生には、バイアンプ接続対応の端子を持つスピーカーをお使いください。
- バイアンプ接続のときは、スピーカー端子の短絡板または短絡用ワイヤーを外してください。

アンプアサイン機能によるマルチゾーンの設定

アンプアサイン機能により、本機に内蔵の各チャンネルのアンプを各ゾーンのスピーカー出力に割り当てることができます。
「設定 1」〜「設定 3」の中からお好みの再生環境を選び、メニューの “Manual Setup” – “Option Setup” – “Amp Assign”（☞33 ページ）で該当するアンプアサインモードを設定してください。
また、スピーカーの接続も「アンプアサインモードの設定と各スピーカー端子に接続するスピーカー」の説明の通りにおこなってください。

設定 1:

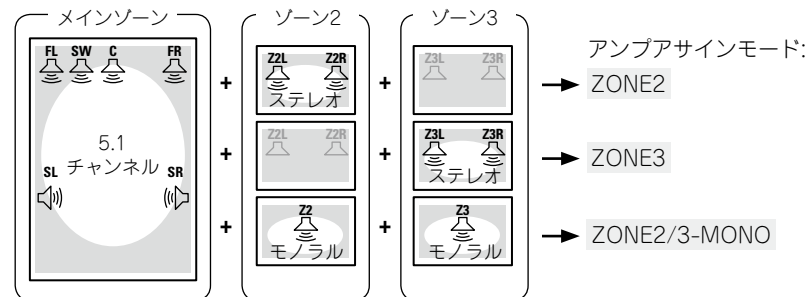
● 7.1 チャンネル再生（お買い上げ時の設定）

❑ アンプアサインモードの設定と各スピーカー端子に接続するスピーカー

スピーカー端子 / アンプアサインモード	FRONT		CENTER	SURR		SURR. BACK/ AMP ASSIGN	
	R	L		R	L	R	L
7.1ch	FR	FL	C	SR	SL	SBR	SBL

- マルチゾーン再生（設定 2）をおこなわずに 5.1 チャンネル再生をおこなう場合は、この設定でおこなってください。
- SURR.BACK/AMP ASSIGN 端子に接続されたスピーカーからは、サラウンドバックチャンネルの音声を出力します。

設定 2:

●マルチゾーン再生

- 5.1 チャンネル再生＋ゾーン 2 または ゾーン 3 のステレオ再生
- 5.1 チャンネル再生＋ゾーン 2 モノラル再生 ＋ ゾーン 3 モノラル再生

“Stereo” または “Mono” は、メニューの “Manual Setup” – “Zone Setup” – “(ゾーンの選択)” – “Channel” の設定に依存します（☞32 ページ）。

❑ アンプアサインモードの設定と各スピーカー端子に接続するスピーカー

スピーカー端子 / アンプアサインモード	FRONT		CENTER	SURR		SURR. BACK / AMP ASSIGN	
	R	L		R	L	R	L
ZONE2	FR	FL	C	SR	SL	Z2R	Z2L
ZONE3						Z3R	Z3L
ZONE2/3-MONO						Z3 (MONO)	Z2 (MONO)

ゾーン 2 またはゾーン 3 の電源が入っているときに、“ZONE2” または “ZONE3” モードを選択すると、SURR.BACK/AMP ASSIGN 端子に接続されたスピーカーから、ゾーン 2 またはゾーン 3 の音声を出力します。
また、“ZONE2/3-MONO” モードを選択すると、SURR.BACK/AMP ASSIGN（L）端子に接続されたスピーカーからゾーン 2 のモノラル音声が、SURR.BACK/AMP ASSIGN（R）端子に接続されたスピーカーからゾーン 3 のモノラル音声を出力します。

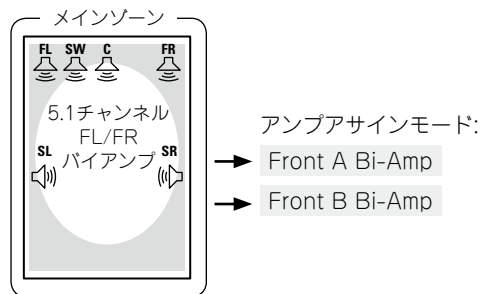
設定 3:

●メインゾーンで FL/FR チャンネルをバイアンプ接続して、5.1 チャンネル再生をする場合

（他のモードとの切り替えはできません）

アンプアサインモード:

→ Front A Bi-Amp

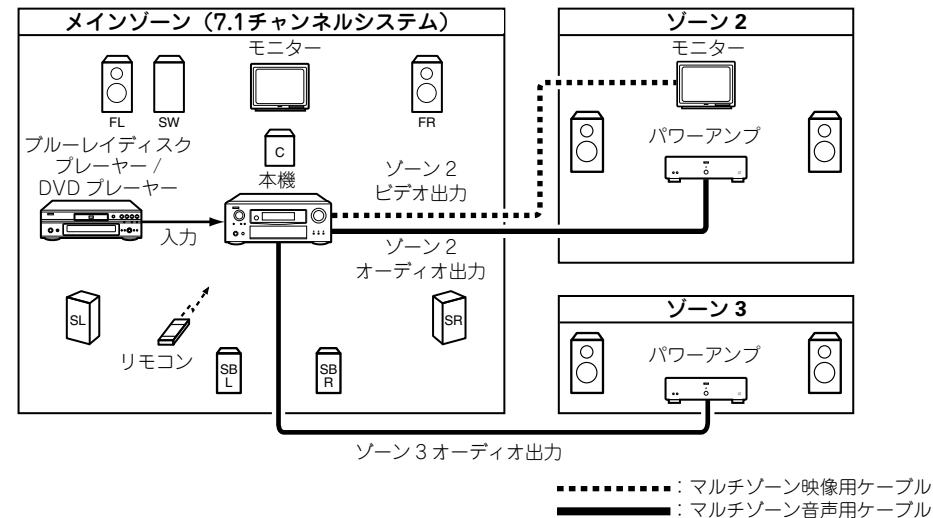
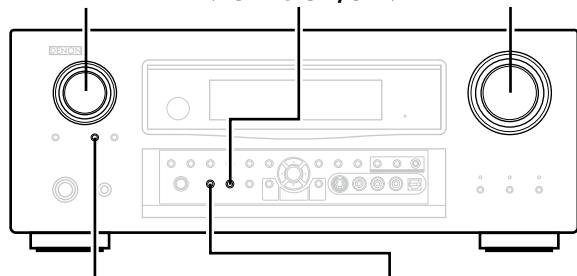
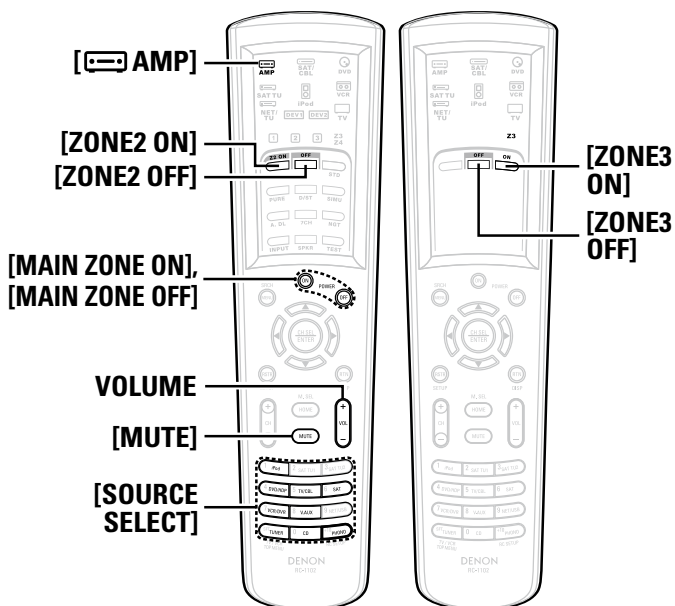
→ Front B Bi-Amp

❏ アンプアサインモードの設定と各スピーカー端子に接続するスピーカー

アンプアサインモード ＼ スピーカー端子	FRONT-A		FRONT-B		CENTER	SURR		SURR. BACK / AMP ASSIGN	
	R	L	R	L		R	L	R	L
Front A Bi-Amp	FR-A	FL-A	FR-B	FL-B	C	SR	SL	FR	FL
								FL-A/FR-A バイアンプ接続	
Front B Bi-Amp	FR-A	FL-A	FR-B	FL-B	C	SR	SL	FR	FL
								FL-B/FR-B バイアンプ接続	

SURR.BACK/AMP ASSIGN 端子に接続されたスピーカーからは、バイアンプ用としてフロント A またはフロント B チャンネルを出力します。

マルチゾーンの設定と操作

ゾーン 2 とゾーン 3 用のプリメインアンプを準備してください。

	オーディオ出力端子	オーディオ信号	ビデオ出力端子
ゾーン2	ZONE2 PRE OUT	Stereo	ZONE2 VIDEO OUT
ゾーン3	ZONE3 PRE OUT	Stereo	–

- ゾーン２またはゾーン３でスピーカーを１台だけお使いになる場合は、“モノラル” に設定してください。この場合、ゾーン２（ゾーン３）のモノラル出力は ZONE 2（ZONE3）PRE OUT の L/R 端子両方から出力されますので、お好みに応じて接続してください。
- ゾーン２およびゾーン３には、それぞれ別のパワーアンプが必要になります。

マルチゾーンの操作

電源の入 / 切

【本体での操作】

操作したいゾーンの **<ZONE2 ON/OFF>** または **<ZONE3 ON/OFF>** を押す。操作したいゾーンの電源が入ると、ディスプレイのマルチゾーン表示（Z2 または Z3）が点灯します。

【リモコンでの操作】

操作したいゾーンのモードで、**[ZONE2 ON]**、**[ZONE3 ON]** または **[ZONE2 OFF]**、**[ZONE3 OFF]** を押す。

- スタンバイモード時に **[SOURCE SELECT]** を押すと、電源が入ります。
- ゾーン2またはゾーン3を使用しているときに **[MAIN ZONE ON]** または **[MAIN ZONE OFF]** を押すと、メインゾーンの電源をオン / オフすることができます。

入力ソースの選択

【本体での操作】

① **<ZONE2/3 / REC SELECT>** で設定するゾーンを選ぶ。
② **<SOURCE SELECT>** を回す。

【リモコンでの操作】

操作したいゾーンのモードで、**[SOURCE SELECT]** を押す。

音量の調節

【本体での操作】

① **<ZONE2/3 / REC SELECT>** で調節したいゾーンを選ぶ。
② **<VOLUME>** を回して調節する。

【リモコンでの操作】

音量を調節したいゾーンのモードで、**[VOLUME]** を押す。

[可変できる範囲] ––– –70dB ~ –40dB ~ 18dB

- 音量調節は、メニューの“Manual Setup”-“Zone Setup”-“(ゾーンの選択)”-“Volume Level”の設定が“VAR”のときに操作できます。また、“Volume Limit”で設定された値まで音量を上げることができます（☞33ページ）。
- リモコンでの音量の調節は、ゾーン2とゾーン3でおこなうことができます。

一時的に音を消す

音量を調節したいゾーンのモードで、**[MUTE]** を押す。
メニューの“Manual Setup”-“Zone Setup”-“(ゾーンの選択)”-“Mute Level”で設定したレベルまで減衰します（☞33ページ）。
キャンセルする場合は、音量を調節するか、もう一度 **[MUTE]** を押してください。
ゾーンの電源がオフのとき、この設定はキャンセルされます。

- ゾーン2で選んだ入力ソースの音声を録音用出力端子からも出力します。
- デジタル入力端子（OPTICAL/COAXIAL）を割り当てた入力ソースをゾーン2またはゾーン3で選択した場合、入力されたデジタル信号がPCM（2チャンネル）のときだけ再生します。

ご注意

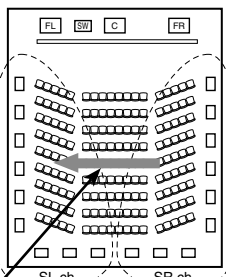
- HDMI端子から入力されたデジタル音声信号は、マルチゾーンでは再生できません。
- デジタル信号が入力されている場合、ゾーン2とゾーン3のオーディオ出力端子から雑音が出力されることがあります。

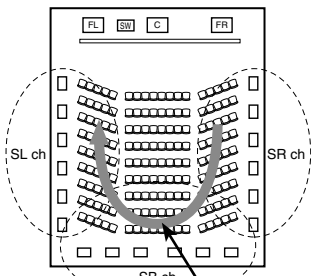
その他の情報

スピーカーの設置について

サラウンドバックスピーカーについて

5.1 チャンネルシステムにサラウンドバックスピーカーを追加することにより、真後ろへの定位を容易に実現できます。同時に側方から後方にかけての音像が絞られ、側方から後方へ回り込む音、正面から真後ろへ移動する音など、サラウンド信号の表現力が大幅に向上しました。

5.1ch システムによる定位・音像の変化

SR → SL と移動する音像の動き

6.1ch システムによる定位・音像の変化

SR → SB → SL と移動する音像の動き

また、6.1 チャンネルで録音されたソースだけでなく、従来の 2 ～ 5.1 チャンネルソースでもよりサラウンド効果を高めることができます。

サラウンドバックスピーカーの本数について

2 本のスピーカーを使用することをおすすめします。
特にダイポール（双方向）特性のスピーカーをお使いになる場合は、必ず 2 本使用してください。

サラウンドバックスピーカーを使用する場合のサラウンド L、R チャンネルの設置について

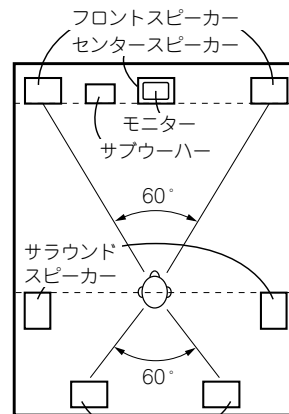
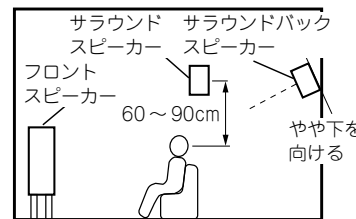
サラウンド L、R チャンネルのスピーカーをやや前寄りに設置することをおすすめします。

スピーカーの設置例

次にスピーカーの設置例をご紹介します。これらを参考に、お手持ちのスピーカーを種類や用途に合わせて設置してください。

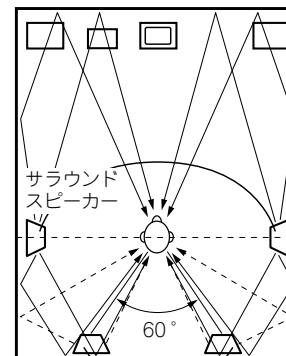
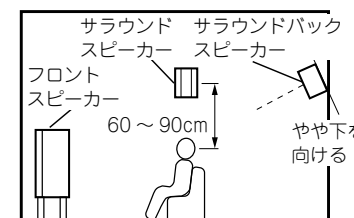
【1】 サラウンドバックスピーカーを使用する場合

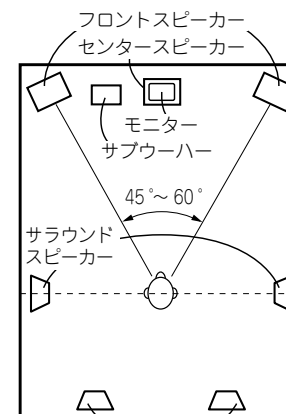
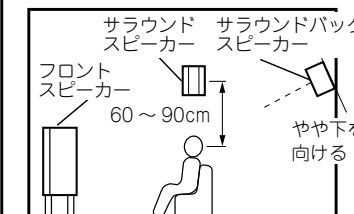
① 主に映画再生をおこなう場合

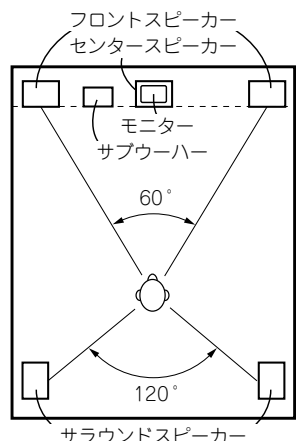
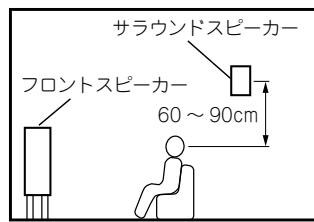
お使いになるサラウンドスピーカーがシングルウェイまたは 2 ウェイスピーカーの場合におすすめします。

【上面から見た図】　**【側面から見た図】**

② 映画再生をメインにおこない、サラウンドスピーカーに拡散型スピーカーを使用する場合

映画再生をより効果的におこなうために、サラウンドスピーカーにダイポール特性やトライポール（三方向）特性などを持つ、拡散音場型のスピーカーを用いる場合は、サラウンドスピーカーの設置場所を①に比べてやや前寄りにします。

サラウンド音の視聴ポイントに到達するイメージ

【上面から見た図】　**【側面から見た図】**

③ 映画再生または音楽再生のサラウンドスピーカーを使用する場合

【上面から見た図】　**【側面から見た図】**

【2】サラウンドバックスピーカーを使用しない場合

【上面から見た図】

【側面から見た図】

サラウンドについて

本機に内蔵のデジタル信号処理回路のはたらきにより、プログラムソースを映画館と同じ臨場感でサラウンド再生をお楽しみいただけます。

ドルビーサラウンド

Dolby Digital（ドルビーデジタル）

Dolby Digital は、ドルビーラボラトリーズにより開発されたマルチチャンネルデジタル信号フォーマットです。
再生チャンネルは、フロント 3 チャンネル（FL、FR、C）とサラウンド 2 チャンネル（SL、SR）、低音域専用の LFE チャンネルの合計 5.1 チャンネルで構成されています。
このため、チャンネル間のクロストークもなく、音の遠近感、移動感、定位感など立体感のある音場をリアルに再現することができます。
AV ルームでの映画ソフト再生においても、リアルで圧倒的な臨場感を生み出します。

Dolby Digital Plus（ドルビーデジタルプラス）

Dolby Digital Plus は、ドルビーデジタルを改良した信号フォーマットで、最大 7.1ch のデジタルディスクリート音声対応とともに、データビットレートに余裕を持たせることにより音質の向上が図られています。従来のドルビーデジタルに対して上位互換であるため、ソース信号や再生機器の状況に応じて、より柔軟性の高い運用が可能となっています。

Dolby TrueHD（ドルビー TrueHD）

Dolby TrueHD は、ドルビーラボラトリーズの高精細音声技術で、ロスレス符号化技術を用いることによりマスター音声の忠実な再現を可能としています。
サンプリング周波数とチャンネルも最大 96kHz/7.1ch に対応し、特に音質を重視したアプリケーションに採用されています。

Dolby Pro Logic II（ドルビープロロジック II）

Dolby Pro Logic II は、ドルビーラボラトリーズにより開発されたマトリクスデコード技術です。
CD のような通常の音楽は 5 チャンネルの信号にエンコードし、優れた立体音域効果を発揮します。
サラウンドチャンネルはステレオ化、フルバンド化（周波数特性 20Hz ～ 20kHz 以上）し、あらゆるステレオ音源を臨場感豊かな立体音像でお楽しみいただけます。

Dolby Pro Logic IIx（ドルビープロロジック IIx）

Dolby Pro Logic IIx は、Dolby Pro Logic II をさらに改良したマトリクスデコード技術です。
2 チャンネルで記録された音声をデコードし、自然な最大 7.1 チャンネルの音声を再生できます。
音楽再生に適した “Music” モードと映画再生に適した “Cinema” モード、ゲームをお楽しみになるときに最適な “Game” モードがあります。

Dolby Digital EX（ドルビーデジタル EX）

ドルビーデジタル EX は、ドルビー研究所とルーカスフィルム社が共同で開発した音響フォーマット “DOLBY DIGITAL SURROUND EX” を、家庭で楽しむためにドルビー研究所が提案した 6.1ch のサラウンドフォーマットです。
サラウンドバックチャンネルを含めた 6.1ch での音場再生により、空間表現力、定位感が向上します。

DTS サラウンド

DTS Digital Surround

DTS™ Digital Surround は、DTS 社の標準デジタルサラウンドフォーマットで、サンプリング周波数が 44.1kHz または 48kHz、再生チャンネル数が最大 5.1ch のデジタルディスクリートサラウンド音声フォーマットです。

DTS-HD High Resolution Audio

DTS-HD High Resolution Audio は、従来の DTS、DTS-ES、DTS96/24 フォーマットを改良した信号フォーマットで、サンプリング周波数の 96kHz/48kHz 対応に加えて最大 7.1ch のデジタルディスクリート音声に対応しています。余裕あるデータビットレートによって高音質化を図るとともに、従来の DTS デジタルサラウンド 5.1ch のデータも含むため従来製品との完全な互換性を有しています。

DTS-HD Master Audio

DTS-HD Master Audio は、DTS 社のロスレス音声フォーマットで、最大 96kHz/7.1ch に対応し、さらにロスレス音声符号化技術によってマスター音声の忠実な再現を可能としています。また、従来の DTS デジタルサラウンド 5.1ch のデータも含むため従来製品との完全な互換性を有しています。

DTS-ES™ Discrete 6.1

DTS-ES™ Discrete 6.1 は、DTS デジタルサラウンド音声に加えて SB チャンネルを追加した 6.1ch のデジタルディスクリート音声フォーマットです。デコーダーに応じて従来の 5.1ch 音声としてデコードすることも可能です。

DTS-ES™ Matrix 6.1

DTS-ES™ Matrix 6.1 は、DTS デジタルサラウンド音声に SB チャンネルをマトリクスエンコードにて挿入した 6.1ch 音声フォーマットです。デコーダーに応じて従来の 5.1ch 音声としてデコードすることも可能です。

DTS NEO:6™ サラウンド

DTS NEO:6™ は、2 チャンネルソースを 6.1 チャンネルのサラウンド再生するマトリクスデコード技術です。映画再生に適した「DTS NEO:6 Cinema」と、音楽再生に適した「DTS NEO:6 Music」があります。

DTS 96/24

DTS 96/24 は、DVD-Video 上でサンプリング周波数 96kHz/量子化ビット数 24bit の高音質再生を可能としたデジタル音声フォーマットです。チャンネル数は 5.1ch となります。

Audyssey

Audyssey MultEQ® XT

Audyssey MultEQ XT は、広いリスニングエリア内のどのリスナーにも最適なリスニング環境を提供する補正技術です。MultEQ XT は、複数位置での測定に基づいて、時間特性と周波数特性の双方を補正すると共に、全自動でサラウンドシステムセットアップを実行します。

Audyssey Dynamic EQ™

Audyssey Dynamic EQ は、人間の聴覚や部屋の音響特性を考慮し、ボリュームレベルを下げた際に発生する音質の低下を防ぐ技術です。
Dynamic EQ は、Audyssey MultEQ XT 技術と連動することによりすべてのボリュームレベルに対して最適なバランスの音質をすべてのリスナーに提供します。

Audyssey Dynamic Volume™

Audyssey Dynamic Volume は、テレビや映画など再生されるコンテンツ内におけるボリュームレベルの変化（静かな音のシーンと大きな音のシーンの間など）をユーザーの好みのボリューム設定値に自動的に調整する技術です。
また、Dynamic Volume は Audyssey Dynamic EQ の技術をアルゴリズムの中に取り込むことによりボリュームレベルの調整時やテレビチャンネルの切り替え時、ステレオコンテンツからサラウンドコンテンツなどの切り替え時でも低域特性や音質バランス、サラウンド効果、ダイアログの明瞭さを保っています。

AUDYSSEY MULTEQ　AUDYSSEY DYNAMIC VOLUME

AL24 Processing Plus

AL24 Processing Plus は、DVD 規格の最高スペックであるサンプリング周波数 192kHz にも対応するアナログ波形再現技術で、その音が自然界に存在したはずのアナログ波形に近付け、ホールに吸込まれるような残響音などの小音量時の音楽再生能力を高めます。
本機では、全チャンネルに採用しています。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）

HDMI とは、DVI（Digital Visual Interface）をベースに、民生機器用に機能を最適化した次世代テレビ向けのデジタルインターフェース規格です。
非圧縮のデジタル映像と、マルチチャンネルオーディオの転送が 1 つの接続でおこなえます。
また、DVI と同様にデジタル画像信号の暗号化方式である著作権保護技術の HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）にも対応しています。

Deep Color

微小な映像データを増やすことで、色の変化をより滑らかにして、異なる色彩間の微妙なグラデーションを表現することが可能になります。また、黒と白の間に従来よりもより多くのグレーを表現することが可能になります。

xvYCC

次世代の色空間 “xvYCC” は現行のハイビジョンテレビの 1.8 倍の色情報を再現することができます。
色の表現がより正確になり、自然で生き生きとした映像を表現することが可能になります。

Lip Sync

HDMI 1.3 対応機器には、自動的に映像と音声の同期をおこなう機能を内蔵しており、正確な同期処理をおこなうことができます。

MPEG-2 AAC について

MPEG-2　AAC（Advanced Audio Coding）は、MPEG（Moving Picture Experts Group）により開発されたマルチチャンネル音声フォーマットです。
高音質・高圧縮率を確保できることが特長です。
MPEG-2　AAC により地上デジタル放送や BS デジタル放送などで配信される高音質音楽番組やマルチチャンネル音声の映像など、臨場感あふれるサラウンド再生が楽しめます。

❑ MPEG-2　AAC のスペック（概要）

- アルゴリズム：MAINプロファイル
  LC（Low Complexity）プロファイル
  SSR（Scalable Sampling Rate）プロファイル
- サンプリング周波数：
  8kHzから96kHzまで対応
- チャンネル数：最大48チャンネルのマルチチャンネル伝送に対応
- その他の機能：LFE（Low Frequency Effect）サポート
  マルチリンガル（複数言語）サポート

❑ 米国におけるパテントナンバー

08/937,950	5 297 236	5,481,614	5,490,170
5848391	4,914,701	5,592,584	5,264,846
5,291,557	5,235,671	5,781,888	5,268,685
5,451,954	07/640,550	08/039,478	5,375,189
5 400 433	5,579,430	08/211,547	5,581,654
5,222,189	08/678,666	5,703,999	05-183,988
5,357,594	98/03037	08/557,046	5,548,574
5 752 225	97/02875	08/894,844	08/506,729
5,394,473	97/02874	5,299,238	08/576,495
5,583,962	98/03036	5,299,239	5,717,821
5,274,740	5,227,788	5,299,240	08/392,756
5,633,981	5,285,498	5,197,087	

ご使用になる前に
接続
セットアップ
再生
リモコン操作
アンプアサイン
その他の情報
故障かな?と思ったら
保証と修理
主な仕様

サラウンドパラメーター 一覧表

サラウンドモード	信号と調節可能なモード															
	チャンネル出力					パラメーター ※( )内は初期値										
	フロント 左 / 右	センター	サラウンド 左 / 右	サラウンドバック 左 / 右	サブウーハー	D. Comp ＊1	LFE ＊2	AFDM ＊1	SB CH Out	Cinema EQ.	Mode	Room Size	Effect	Delay time	Subwoofer	DRC ＊3
PURE DIRECT, DIRECT	○	×	×	×	◎	○ (OFF)	○ (0dB)	×	×	×	×	×	×	×	○	○ (Auto)
DSD DIRECT	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
DSD MULTI DIRECT	○	×	×	×	×	×	○ (0dB)	×	○	×	×	×	×	×	×	×
MULTI CH DIRECT	○	◎	◎	◎	◎	×	○ (0dB)	○ (ON)	○	×	×	×	×	×	×	×
STEREO	○	×	×	×	◎	○ (OFF)	○ (0dB)	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (Auto)
EXT. IN	○	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
MULTI CH IN	○	◎	◎	◎	◎	×	○ (0dB)	○ (ON)	○	×	×	×	×	×	×	×
DOLBY PRO LOGIC IIx	○	◎	◎	◎	◎	○ (OFF)	×	×	○	○ (注1)	○ (Cinema)	×	×	×	×	○ (Auto)
DOLBY PRO LOGIC II	○	◎	◎	×	◎	○ (OFF)	×	×	○	○ (注2)	○ (Cinema)	×	×	×	×	○ (Auto)
DTS NEO:6	○	◎	◎	◎	◎	○ (OFF)	×	×	○	○ (注1)	○ (Cinema)	×	×	×	×	×
DOLBY DIGITAL	○	◎	◎	◎	◎	○ (OFF)	○ (0dB)	○ (ON)	○	○ (OFF)	×	×	×	×	×	×
DOLBY DIGITAL Plus	○	◎	◎	◎	◎	○ (OFF)	○ (0dB)	○ (ON)	○	○ (OFF)	×	×	×	×	×	×
DOLBY TrueHD	○	◎	◎	◎	◎	○ (OFF)	○ (0dB)	○ (ON)	○	○ (OFF)	×	×	×	×	×	○ (Auto)
DTS SURROUND	○	◎	◎	◎	◎	○ (OFF)	○ (0dB)	○ (ON)	○	○ (OFF)	×	×	×	×	×	×
DTS 96/24	○	◎	◎	◎	◎	○ (OFF)	○ (0dB)	○ (ON)	○	○ (OFF)	×	×	×	×	×	×
DTS-HD	○	◎	◎	◎	◎	○ (OFF)	○ (0dB)	○ (ON)	○	○ (OFF)	×	×	×	×	×	×
MPEG2 AAC	○	◎	◎	◎	◎	×	○ (0dB)	○ (ON)	○	○ (OFF)	×	×	×	×	×	×
5CH/7CH STEREO	○	◎	◎	◎	◎	○ (OFF)	○ (0dB)	×	○	×	×	×	×	×	×	○ (Auto)
WIDE SCREEN	○	◎	◎	◎	◎	○ (OFF)	○ (0dB)	×	○	○ (OFF)	×	×	○ (ON, 10)	×	×	○ (Auto)
SUPER STADIUM	○	◎	◎	◎	◎	○ (OFF)	○ (0dB)	×	○	×	×	○ (Medium)	○ (10)	×	×	○ (Auto)
ROCK ARENA	○	◎	◎	◎	◎	○ (OFF)	○ (0dB)	×	○	×	×	○ (Medium)	○ (10)	×	×	○ (Auto)
JAZZ CLUB	○	◎	◎	◎	◎	○ (OFF)	○ (0dB)	×	○	×	×	○ (Medium)	○ (10)	×	×	○ (Auto)
CLASSIC CONCERT	○	◎	◎	◎	◎	○ (OFF)	○ (0dB)	×	○		×	○ (Medium)	○ (10)	×	×	○ (Auto)
MONO MOVIE	○	◎	◎	◎	◎	○ (OFF)	○ (0dB)	×	○	×	×	○ (Medium)	○ (10)	×	×	○ (Auto)
VIDEO GAME	○	◎	◎	◎	◎	○ (OFF)	○ (0dB)	×	○	×	×	○ (Medium)	○ (10)	×	×	○ (Auto)
MATRIX	○	◎	◎	◎	◎	○ (OFF)	○ (0dB)	×	○	×	×	×	×	○ (30 ms)	×	○ (Auto)
VIRTUAL	○	×	×	×	◎	○ (OFF)	○ (0dB)	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (Auto)

○：信号あり / 制御可能
×：信号なし / 制御不可能
◎：スピーカー有り無しの設定により、オン / オフ可能

○： 信号あり / 制御可能
×： 信号なし / 制御不可能
注 1：メニューの“Parameter”–“Surround Parameter”–“Mode”の設定が“Cinema”のときに選べます（☞44 ページ）。
注 2：メニューの“Parameter”–“Surround Parameter”–“Mode”の設定が“Cinema”または“PL”のときに選べます（☞44 ページ）。

ご注意

＊1：Dolby Digital および DTS 信号再生時
＊2：Dolby Digital、DTS およびリニア PCM（マルチチャンネル）
＊3：Dolby TrueHD 信号再生時

サラウンドモード	信号と調節可能なモード										
	パラメーター　※（　）内は初期値										
	PRO LOGIC II/IIx MUSICモードのみ			NEO:6 MUSIC モードのみ	EXT. IN モードのみ	Tone (注6)	Night Mode (注6)	MultEQ XT	Dynamic EQ (注7)	Dynamic Volume (注8)	RESTORER
	Panorama	Dimension	C. Width	Center Image	SW ATT						
PURE DIRECT, DIRECT	×	×	×	×	×	×	○ (OFF)	○ (注5)	○ (注5)	○ (注5)	○
DSD DIRECT	×	×	×	×	×	×	×	○ (注5)	○ (注5)	○ (注5)	×
DSD MULTI DIRECT	×	×	×	×	×	×	×	○ (注5)	○ (注5)	○ (注5)	×
MULTI CH DIRECT	×	×	×	×	×	×	○ (OFF)	○ (注5)	○ (注5)	○ (注5)	×
STEREO	×	×	×	×	×	○ (0dB)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○
EXT. IN	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
MULTI CH IN	×	×	×	×	×	○ (0dB)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	×
DOLBY PRO LOGIC IIx	○ (OFF)	○ (3)	○ (3)	×	×	○ (0dB)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○
DOLBY PRO LOGIC II	○ (OFF)	○ (3)	○ (3)	×	×	○ (0dB)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○
DTS NEO:6	×	×	×	○ (0.3)	×	○ (0dB)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○
DOLBY DIGITAL	×	×	×	×	×	○ (0dB)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	×
DOLBY DIGITAL Plus	×	×	×	×	×	○ (0dB)	×	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	×
DOLBY TrueHD	×	×	×	×	×	○ (0dB)	×	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	×
DTS SURROUND	×	×	×	×	×	○ (0dB)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	×
DTS-96/24	×	×	×	×	×	○ (0dB)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	×
DTS-HD	×	×	×	×	×	○ (0dB)	×	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	×
MPEG2 AAC	×	×	×	×	×	○ (0dB)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○
5CH/7CH STEREO	×	×	×	×	×	○ (0dB)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○
WIDE SCREEN	×	×	×	×	×	○ (0dB)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○
SUPER STADIUM	×	×	×	×	×	○ (注3)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○
ROCK ARENA	×	×	×	×	×	○ (注4)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○
JAZZ CLUB	×	×	×	×	×	○ (0dB)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○
CLASSIC CONCERT	×	×	×	×	×	○ (0dB)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○
MONO MOVIE	×	×	×	×	×	○ (0dB)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○
VIDEO GAME	×	×	×	×	×	○ (0dB)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○
MATRIX	×	×	×	×	×	○ (0dB)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○
VIRTUAL	×	×	×	×	×	○ (0dB)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○ (OFF)	○

○：　制御可能
×：　制御不可能
注 3：BASS +6dB, TREBLE +4dB
注 4：BASS +6dB, TREBLE +0dB
注 5：“Audio Setup” – “EQ Preset” – “Direct Mode” の設定により使用できます（☞31 ページ）。
注 6：“Dynamic EQ” の設定が “ON” の場合は、設定できません（☞46 ページ）。
注 7：“MultEQ XT” の設定が “OFF” の場合は、設定できません（☞46 ページ）。
注 8：“Dynamic EQ” の設定が “OFF” の場合は、設定できません（☞46 ページ）。

入力信号に対するサラウンドモード表示

ボタン	注	入力信号																				
			PCM		DTS-HD		DTS				DOLBY		DOLBY DIGITAL					MPEG-2 AAC			スーパーオーディオ CD	
サラウンドモード		アナログ	リニアPCM (multi ch)	リニアPCM (2ch)	DTS-HD Master Audio	DTS-HD High Resolution Audio	DTS ES DSCRT (フラグ有り)	DTS ES MTRX (フラグ有り)	DTS (5.1ch)	DTS 96/24	DOLBY TrueHD	DOLBY DIGITAL Plus	DOLBY DIGITAL EX (フラグ有り)	DOLBY DIGITAL EX (フラグ無し)	DOLBY DIGITAL (5.1/5/4ch)	DOLBY DIGITAL (4/3ch)	DOLBY DIGITAL (2ch)	AAC (5.1ch)	AAC (2ch)	AAC (1+1ch)	DSD (multi ch)	DSD (2ch)
STANDARD																						
DTS SURROUND																						
DTS-HD MSTR		×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS-HD HI RES		×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS ES DSCRT6.1	*1*3	×	×	×	×	×	● ◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS ES MTRX6.1	*1*3	×	×	×	×	×	×	● ◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS SURROUND		×	×	×	×	×	○	○	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS 96/24		×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS (–HD) + PLIIx CINEMA	*2*3	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS (–HD) + PLIIx MUSIC	*1*3	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS (–HD) + NEO:6	*1*3	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS NEO:6 CINEMA		○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○
DTS NEO:6 MUSIC		○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○
DOLBY SURROUND																						
DOLBY TrueHD		×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DOLBY DIGITAL+		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DOLBY DIGITAL EX	*1*3	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
DOLBY (D+) (HD) +EX	*1*3	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DOLBY DIGITAL		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	●	●	●	×	×	×	×	×	×
DOLBY (D) (D+) (HD) +PLIIx CINEMA	*2*3	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	● ◎	○	○	○	×	×	×	×	×	×
DOLBY (D) (D+) (HD) +PLIIx MUSIC	*1*3	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
DOLBY PRO LOGIC IIx CINEMA	*3	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○
DOLBY PRO LOGIC IIx MUSIC	*3	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○
DOLBY PRO LOGIC IIx GAME	*3	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○
DOLBY PRO LOGIC II CINEMA		○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○
DOLBY PRO LOGIC II MUSIC		○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○
DOLBY PRO LOGIC II GAME		○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○
DOLBY PRO LOGIC		○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○
AAC																						
AAC + DOLBY EX		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
AAC + PL IIx CINEMA		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
AAC + PL IIx MUSIC		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
MPEG2 AAC		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	●	×	×

注

*1： サラウンドバックスピーカーを "None" に設定している場合は、選べません。

*2： サラウンドバックスピーカーを "1spkr" または "None" に設定している場合は、選べません。

*3： "Amp Assign" の設定が "7.1ch" 以外の場合は、選べません。

●： 初期状態で選ばれるモード

◎： "AFDM" が "ON" に設定されているときに固定されるモード

○： 選択可能なモード

×： 選択不可能なモード

ボタン / サラウンドモード	注	入力信号																				
		アナログ	PCM		DTS-HD		DTS				DOLBY		DOLBY DIGITAL					MPEG-2 AAC			スーパーオーディオ CD	
サラウンドモード	注	アナログ	リニアPCM (multi ch)	リニアPCM (2ch)	DTS-HD Master Audio	DTS-HD High Resolution Audio	DTS ES DSCRT (フラグ有り)	DTS ES MTRX (フラグ有り)	DTS (5.1ch)	DTS 96/24	DOLBY TrueHD	DOLBY DIGITAL Plus	DOLBY DIGITAL EX (フラグ有り)	DOLBY DIGITAL EX (フラグ無し)	DOLBY DIGITAL (5.1/5/4ch)	DOLBY DIGITAL (4/3ch)	DOLBY DIGITAL (2ch)	AAC (5.1ch)	AAC (2ch)	AAC (1+1ch)	DSD (multi ch)	DSD (2ch)
STANDARD																						
MULTI CH IN																						
MULTI CH IN		×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×
MULTI IN + PLIIx CINEMA	*2*3	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
MULTI IN + PLIIx MUSIC	*1*3	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
MULTI IN + Dolby EX	*1*3	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
MULTI CH IN 7.1	*3	×	● ◎ (7.1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DIRECT																						
DIRECT		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
DSD DIRECT		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
DSD MULTI DIRECT		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
MULTI CH DIRECT		×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
M DIRECT + PLIIx CINEMA	*2*3	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
M DIRECT + PLIIx MUSIC	*1*3	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
M DIRECT + Dolby EX	*1*3	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
M DIRECT 7.1	*3	×	○ (7.1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
PURE DIRECT																						
PURE DIRECT		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
DSD PURE DIRECT		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
DSD MULTI PURE		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
MULTI CH PURE DIRECT		×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
M PURE D + PLIIx CINEMA	*2*3	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
M PURE D + PLIIx MUSIC	*1*3	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
M PURE D + Dolby EX	*1*3	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
M CH PURE DIRECT 7.1	*3	×	○ (7.1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DSP SIMULATION																						
5CH/7CH STEREO	*3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
WIDE SCREEN		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SUPER STADIUM		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ROCK ARENA		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
JAZZ CLUB		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
CLASSIC CONCERT		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MONO MOVIE		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
VIDEO GAME		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MATRIX		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
VIRTUAL		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
STEREO																						
STEREO		●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

注

*1：サラウンドバックスピーカーを“None”に設定している場合は、選べません。
*2：サラウンドバックスピーカーを“1spkr”または“None”に設定している場合は、選べません。
*3：“Amp Assign”の設定が“7.1ch”以外の場合は、選べません。
*4：サラウンドバックスピーカーを“None”に設定している場合は、“5CH STEREO”を表示します。

●：初期状態で選ばれるモード
◎：“AFDM”が“ON”に設定されているときに固定されるモード
○：選択可能なモード
×：選択不可能なモード

映像信号とモニター出力の関係

ビデオコンバート	入力信号				モニター出力			
	HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO	HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO
ON	×	×	×	×	×	×	×	×
	×	×	×	○	VIDEO	VIDEO	VIDEO	VIDEO
	×	×	○	×	S-VIDEO	S-VIDEO	S-VIDEO	S-VIDEO
	×	×	○	○	S-VIDEO	S-VIDEO	S-VIDEO	S-VIDEO
	×	○ (1080p)	×	×	×	COMPONENT	×	×
	×	○ (480p ~ 720p)	×	×	COMPONENT	COMPONENT	×	×
	×	○ (480i / 576i)	×	×	COMPONENT	COMPONENT	COMPONENT	COMPONENT
	×	○ (1080p)	×	○	VIDEO	COMPONENT*1	VIDEO	VIDEO
	×	○ (480p ~ 720p)	×	○	COMPONENT*1	COMPONENT*1	×	VIDEO
	×	○ (480i / 576i)	×	○	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT	VIDEO
	×	○ (1080p)	○	×	S-VIDEO	COMPONENT*2	S-VIDEO	S-VIDEO
	×	○ (480p ~ 720p)	○	×	COMPONENT*2	COMPONENT*2	S-VIDEO	S-VIDEO
	×	○ (480i / 576i)	○	×	COMPONENT*2	COMPONENT*2	S-VIDEO	S-VIDEO
	×	○ (1080p)	○	○	S-VIDEO	COMPONENT*2	S-VIDEO	S-VIDEO
	×	○ (480p ~ 720p)	○	○	COMPONENT*2	COMPONENT*2	S-VIDEO	S-VIDEO
	×	○ (480i / 576i)	○	○	COMPONENT*2	COMPONENT*2	S-VIDEO	S-VIDEO
	○	×	×	×	HDMI	×	×	×
	○	×	×	○	HDMI*1	VIDEO	VIDEO	VIDEO
	○	×	○	×	HDMI*2	S-VIDEO	S-VIDEO	S-VIDEO
	○	×	○	○	HDMI*2	S-VIDEO	S-VIDEO	S-VIDEO
	○	○ (480i / 576i以外)	×	×	HDMI	COMPONENT	×	×
	○	○ (480i / 576i)	×	×	HDMI	COMPONENT	COMPONENT	COMPONENT
	○	○ (1080p)	×	○	HDMI*1	COMPONENT*1	VIDEO	VIDEO
	○	○ (480p ~ 720p)	×	○	HDMI*1	COMPONENT*1	×	VIDEO
	○	○ (480i / 576i)	×	○	HDMI*1	COMPONENT*1	COMPONENT	VIDEO
	○	○ (480i / 576i以外)	○	×	HDMI*2	COMPONENT*2	S-VIDEO	S-VIDEO
	○	○ (480i / 576i)	○	×	HDMI*2	COMPONENT*2	S-VIDEO	S-VIDEO
	○	○ (480i / 576i以外)	○	○	HDMI*2	COMPONENT*2	S-VIDEO	S-VIDEO
	○	○ (480i / 576i)	○	○	HDMI*2	COMPONENT*2	S-VIDEO	S-VIDEO

○ : 信号あり
× : 信号なし
480p ～ 720p : 480p/576p/1080i/720p

× : 出力無し
*1 : メニュー表示はビデオ信号にスーパーインポーズして出力
*2 : メニュー表示は S ビデオ信号にスーパーインポーズして出力

COMPONENT または HDMI :
MENU ボタン操作時のみオンスクリーンディスプレイ表示

(網掛け) : アナログから HDMI へのアップコンバート機能が“OFF”の場合、映像信号は出力されません。

ビデオコンバート	S-VIDEO MONITOR OUT	入力信号				モニター出力			
		HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO	HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO
OFF	—	×	×	×	×	×	×	×	×
	—	×	×	×	○	×	×	×	VIDEO
	—	×	×	○	×	×	×	S-VIDEO	×
	使用	×	×	○	○	×	×	S-VIDEO	VIDEO*2
	未使用	×	×	○	○	×	×	—	VIDEO
	—	×	○	×	×	×	COMPONENT	×	×
	—	×	○	×	○	×	COMPONENT*1	×	VIDEO
	—	×	○	○	×	×	COMPONENT*2	S-VIDEO	×
	使用	×	○	○	○	×	COMPONENT*2	S-VIDEO	VIDEO*2
	未使用	×	○	○	○	×	COMPONENT*1	—	VIDEO
	—	○	×	×	×	HDMI	×	×	×
	—	○	×	×	○	HDMI	×	×	VIDEO
	—	○	×	○	×	HDMI	×	S-VIDEO	×
	使用	○	×	○	○	HDMI	×	S-VIDEO	VIDEO*2
	未使用	○	×	○	○	HDMI	×	—	VIDEO
	—	○	○	×	×	HDMI	COMPONENT	×	×
	—	○	○	×	○	HDMI	COMPONENT*1	×	VIDEO
	—	○	○	○	×	HDMI	COMPONENT*2	S-VIDEO	×
	使用	○	○	○	○	HDMI	COMPONENT*2	S-VIDEO	VIDEO*2
	未使用	○	○	○	○	HDMI	COMPONENT*1	—	VIDEO

○ : 信号あり
× : 信号なし

× : 出力無し
*1 : メニュー表示はビデオ信号にスーパーインポーズして出力
*2 : メニュー表示は S ビデオ信号にスーパーインポーズして出力

COMPONENT または HDMI :
MENU ボタン操作時のみオンスクリーンディスプレイ表示

- メインゾーンのビデオコンバージョン機能は、NTSC、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-N、PAL-MおよびPAL-60のフォーマットに準拠しています。
- 入力信号がコンポーネントビデオの1080iまたは720pのとき、HDMIへのアップコンバートはそのままの解像度または1080pにアップコンバートして出力します。
- 入力信号がビデオ、Sビデオおよびコンポーネントビデオの480i、480p、576iまたは576pのとき、HDMIへのアップコンバートはメニューの“Input Setup” – “Video” – “Resolution”（☞38ページ）。
- 割り当てられた入力ソース“iPod”のときに、“Video Select”で映像を出力すると、以下の設定によって上表の映像出力が異なります。
  ①“iPod Information”の設定が“OFF”以外のとき：スーパーインポーズされたSビデオまたはビデオ信号を出力します。
  ②“iPod Information”の設定が“OFF”のとき：信号出力は、上表の通りになります。
  （“iPod Information”の設定に関しては、34ページをご覧ください。）

故障かな？と思ったら

❏ 各接続は正しいですか
❏ 取扱説明書に従って正しく操作していますか
❏ スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【共通】

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
本機が正常に動作しない。	●マイコンを初期化してください。	57
電源が入らない。 または、入れてもすぐに切れる。	●本機のリアパネルおよび電源コンセントへの電源プラグの差し込みを確認してください。	20
スピーカーから音が出ない。	●入力機器との接続またはスピーカーケーブルの接続を確認してください。 ●再生機器との接続を確認し、適切な入力ソースを選んでください。 ●主音量を適切な大きさに調節してください。 ●消音（ミューティング）モードを解除してください。 ●ヘッドホンを外してください。ヘッドホンを接続していると、スピーカーやプリアウト端子から音が出なくなります。 ●接続を確認し、デジタル入力を設定した入力ソースを選んでください。 ●デジタル入力端子が割り当てられている端子と入力モードを合わせてください。	12 51 51 51 52 39 37
ディスプレイの表示が消える。	●ディマー機能を"OFF"以外の設定にしてください。 ●PURE DIRECT モードを解除してください。PURE DIRECT モード中、ディスプレイは消灯します。	35 42
ディスプレイが"DOLBY DIGITAL"の表示にならない。	●ブルーレイディスクプレーヤー /DVD プレーヤーの音声出力の設定を確認してください。詳しくは、ブルーレイディスクプレーヤー /DVD プレーヤーの取扱説明書をお読みください。	—
本機をご使用中に突然電源が切れ、電源表示が約 2 秒間隔で、赤色に点滅している。	●機器内部の温度上昇により、保護回路が働いています。一度電源を切って、本体の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。 ●本機を風通しの良い場所に設置し直してください。	— —
本機をご使用中に突然電源が切れ、電源表示が約 0.5 秒間隔で、赤色に点滅している。	●指定されたインピーダンスのスピーカーを使用してください。 ●スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、芯線が端子から外れたりして、芯線が本機のリアパネルに接触したため、保護回路が働いています。電源コードを抜き、芯線をしっかりとよじり直すか、端末処理をするなどとした後で、もう一度接続し直してください。	12 12
電源を入れても、電源表示が約 0.5 秒間隔で、赤色に点滅している。	●本機のアンプ回路が故障しています。電源を切り、当社の修理相談窓口までご連絡ください。	—

【リモコン】

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
リモコンを操作しても、正常に動作しない。	●乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。 ●リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。 ●本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。 ●乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。 ●本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバーター式蛍光灯の光など）が当たっています。受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。 ●本体とリモコンのリモコン ID を合わせてください。 ●リモコンの **MODE SELECTOR** ボタンを正しく設定してください。	6 6 6 6 6 35 58

【オーディオ】

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
センタースピーカーから音が出ない。	●モノラル音源を再生する場合は、“STANDARD”（Dolby/DTS Surround）以外のサラウンドモードを選んでください。	41
サラウンドスピーカーから音が出ない。	●サラウンドモードをサラウンド再生用のモードにしてください。	40 ～ 42
サラウンドバックスピーカーから音が出ない。	●サラウンドバックスピーカーのパワーアンプの割り当てが“7.1ch”になっているか確認してください。 ●サラウンドバックスピーカーを“None”以外に設定してください。 ●“Parameter”-“Surround Parameter”-“SB CH Out”を“OFF”以外に設定してください。 ●サラウンドモードをサラウンド再生用のモードにしてください。	33 27 45 40 ～ 42
サブウーハーから音が出ない。	●サブウーハーの電源を入れてください。 ●サブウーハーを“Yes”に設定してください。 ●サブウーハーの接続を確認してください。 ●サブウーハーのチャンネルレベルを上げてください。	— 27 12 56
リモコンの **TEST** ボタンを押しても、テストトーンが出力されない。	●サラウンドモードを“STANDARD”（Dolby/DTS Surround）モードにしてください。	41
DTS 音声が出力されない。	●ブルーレイディスクプレーヤー /DVD プレーヤーの音声出力の設定を、“ビットストリーム”に設定してください。詳しくは、ブルーレイディスクプレーヤー /DVD プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。 ●DTS 対応のブルーレイディスクプレーヤー /DVD プレーヤーをお使いください。 ●デコードモードを“Auto”または“DTS”にしてください。	— — 39
HDMI の音声信号がスピーカーに出力されない。	●“Manual Setup” - “HDMI Setup” - “HDMI Audio Out”の設定を“AMP”にしてください。	29
HDMI 接続しているテレビから音声が出力されない。	●“Manual Setup” - “HDMI Setup” - “HDMI Audio Out”の設定を“TV”にしてください。	29
Dolby TrueHD、DTS-HD、Dolby Digital Plus の音声が出力されない。	●HDMI 接続をしてください。 ●ブルーレイディスクプレーヤーの音声出力の設定を、“ビットストリーム”に設定してください。詳しくは、ブルーレイディスクプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。 ●DTS 対応のブルーレイディスクプレーヤーをお使いください。	13、14 — —

【ビデオ】

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
映像が映らない。	●本機の映像出力端子とモニターの入力端子の接続を確認してください。 ●本機に接続したモニターの入力端子と入力設定を合わせてください。 ●PURE DIRECT モードを解除してください。 ●ハイビジョン（1080i/720p）やプログレッシブ映像信号（480p/576p）は、ダウンコンバートされません。プレーヤーをインターレース（480i/576i）の設定にしてください。	13 ～ 18 — 42 —
録画ができない。	●RECOUT のビデオ端子にはビデオコンバート機能がありませんので、入力がビデオの場合はビデオケーブルで、S ビデオの場合は S ビデオケーブルで接続してください。	17
DVD から VCR にダビングできない。	●故障ではありません。ほとんどの映画ソフトには、コピー防止信号が入っているので、ダビングすることはできません。	—
オンスクリーンディスプレイが表示されない。	●本機を通して HDMI またはコンポーネントビデオ信号をご覧の場合は、**MENU** ボタンを操作したときに、オンスクリーンディスプレイを表示します。 ●本機に HDMI またはコンポーネントビデオ信号のみが入力されている場合は、オンスクリーンディスプレイの文字を映像信号に重ねて表示しません。 •“Manual Setup” - “Option Setup” - “On-Screen Display” - “Text”を“ON”に設定してください。 •“Manual Setup” - “Option Setup” - “On-Screen Display” - “Master Volume”を“ON”に設定してください。 •“Manual Setup” - “On-Screen Display” - “iPod Information”を“OFF”以外に設定してください。	11 11 34 34 34

【HDMI】

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
HDMI オーディオ信号がスピーカーに出力されない。	●HDMI オーディオ信号をスピーカーから出力するときは、“Manual Setup” – “HDMI Setup” – “HDMI Audio Out” の設定を “AMP” にしてください。	29
HDMI 接続で映像が映らない。	●HDMI 端子の接続を確認してください。 ●“Input Setup” – “Assign” – “HDMI In” で HDMI 端子を割り当てた入力ソースを選んでください。 ●著作権保護 (HDCP) に対応したモニターを接続してください。 ●接続されたプレーヤーなどの出力フォーマット（HDMI FORMAT）とモニターの入力対応フォーマットが合っているかを確認してください。	13 37 13 13
HDMI 接続しているテレビから音声が出力されない。	●HDMI オーディオ信号をテレビから出力するときは、“Manual Setup” – “HDMI Setup” – “HDMI Audio Out” の設定を “TV” にしてください。	29
接続機器に以下の操作をすると、本機も同じ動作をする。 ●電源の入/切 ●音声を出力する機器の切り替え ●音量の調節 ●入力ソースの切り替え	● “Manual Setup” – “HDMI Setup” – “HDMI Control” を “OFF” に設定してください。各機器の電源の入/切のみ操作したい場合は、“Power Off Control” を “OFF” に設定してください。	30

【iPod】

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
iPod が再生できない。	●“iPod Dock” を割り当てた端子に接続し、入力ソースを切り替えてください。 ●iPod の接続を確認してください。 ●iPod 用コントロールドックの AC アダプターがコンセントに挿入してください。AC アダプターを挿入していない場合は、本機と通信することができません。	37 15 —

保証と修理について

保証書

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から１年間です。

❑ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

❑ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
有料修理の料金については『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

修理を依頼されるとき

❑ 修理を依頼される前に

●取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
●正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

❑ 修理を依頼されるとき

●添付の『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
●修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

依頼の際に連絡していただきたい内容

●お名前、ご住所、お電話番号
●製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
●製造番号…保証書または製品背面（または底面や側面）に表示しています。
●できるだけ詳しい故障または異常の内容

補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後８年です。

お客様の個人情報の保護について

●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
●この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

❑オーディオ部

●パワーアンプ部

定格出力：	フロント（A、B）：	115W+115W（負荷 8 Ω、20 Hz ～ 20 kHz T.H.D 0.08 %）
	センター：	115W（負荷 8 Ω、20 Hz ～ 20 kHz T.H.D 0.08 %）
	サラウンド：	115W+115W（負荷 8 Ω、20 Hz ～ 20 kHz T.H.D 0.08 %）
	サラウンドバック：	115W+115W（負荷 8 Ω、20 Hz ～ 20 kHz T.H.D 0.08 %）
実用最大出力：	160W+160W（負荷 6 Ω、1kHz、T.H.D 10%、JEITA）	
ダイナミックパワー：	130W × 2 チャンネル（負荷 8 Ω） 180W × 2 チャンネル（負荷 4 Ω）	
スピーカー出力端子：	フロント： A または B	6 ～ 16 Ω
	A + B	8 ～ 16 Ω
	センター / サラウンド / サラウンドバック：	6 ～ 16 Ω

●アナログ部

入力感度 / 入力インピーダンス：	200mV/47k Ω
周波数特性：	10Hz ～ 100kHz：+1、–3dB（DIRECT モード時）
S/N 比：	102dB（JIS-A）（DIRECT モード時）
ひずみ率：	0.005%（20Hz ～ 20kHz）（DIRECT モード時）
出力電圧：	1.2V

●デジタル部（D/A 出力）

出力電圧：	2V（0dB 再生時）
全高調波ひずみ率：	0.008%
S/N 比：	102dB
ダイナミックレンジ：	96dB
デジタル入力	フォーマット：デジタルオーディオインターフェース

●フォノ・イコライザー部（PHONO 入力　REC OUT）

入力感度：	2.5mV
RIAA 偏差：	20Hz ～ 20kHz：± 1dB
S/N 比：	74dB（JIS-A、5mV 入力時）
ひずみ率：	0.03%（1kHz、3V 出力時）
出力電圧：	150mV

❑ビデオ部

●標準映像端子

入出力レベル / インピーダンス：	1Vp-p/75 Ω	
周波数特性：	5 Hz ～ 10MHz：	+0、–3dB（“Video Convert” が “OFF” のとき）

●S 映像端子

入出力レベル / インピーダンス：	Y（輝度）信号：	1Vp-p/75 Ω
	C（色）信号：	0.286Vp-p/75 Ω
周波数特性：	5Hz ～ 10MHz：	+0、–3dB（“Video Convert” が “OFF” のとき）

●色差（D）映像端子

入出力レベル / インピーダンス：	Y（輝度）信号：	1Vp-p/75 Ω
	PB/CB（青色）信号：	0.7Vp-p/75 Ω
	PR/CR（赤色）信号：	0.7Vp-p/75 Ω
周波数特性：	5 Hz ～ 100 MHz：	+0、–3 dB（“Video Convert” が “OFF” のとき）

❑総合

電源：	AC100V　50/60Hz
消費電力：	275W（電気用品安全法による） 0.1W（スタンバイ時）
最大外形寸法：	434（幅）× 171（高さ）× 414（奥行き）mm
質量：	12.8kg

❑リモコン（RC-1102）

乾電池：	単 3 形アルカリ乾電池 2 本使用
最大外形寸法：	63（幅）× 238（高さ）× 31（奥行き）mm
質量：	190 g（乾電池を含む）

※ JEITA：（社）電子情報技術産業協会（略称：JEITA）が制定した規格です。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

プリセットコード一覧表

Denon Amp

	メーカー名	プリセットコード
D	Denon	81001 (ID1), 82001 (ID2), 83001 (ID3), 84001 (ID4)

Denon iPod

D	Denon	72815 (ID1), 72816 (ID2), 72817 (ID3), 72818 (ID4)

CD Player ※3

A	Acoustic Research	40420
	Advantage	40032
	Aiwa	40157
	Arcam	40157
	Audio Research	40157
	Audiolab	40157
	Audiomeca	40157
	Audioton	40157
	AVI	40157
B	Balanced Audio Technology	40157
	Burmester	40420
	Bush	40388
C	Cairn	40157
	California Audio Labs	40029, 40303
	Cambridge	40157
	Cambridge Audio	40157
	Cambridge Soundworks	40157
	Carver	40157, 40179
	CDC	40420
	CEC	40420
	Copland	40393
	Curtis Mathes	40032
	Cyrus	40157
D	Denon	40003, 40766, 40873, **[42867]** *, 42868
	DKK	40000
	DMX Electronics	40157
	Dual	40003
	Dynaco	40157
	Dynamic Bass	40179
F	Fisher	40000, 40179
G	Garrard	40393, 40420
	Genexxa	40000, 40032, 40037, 40179
	Goldmund	40157
	Grundig	40157
H	Hafler	40173
	Harman/Kardon	40100, 40157, 40173
	Hitachi	40032
I	Inkel	40157
	Integra	40101
J	Jerrold	40003
	JVC	40032, 40072
K	Kenwood	40000, 40028, 40029, 40036, 40037, 40157, 40190, 40681
	KLH	41318
	Krell	40157
L	Linn	40157
	Loewe	40157
	Luxman	40393
	LXI	40179
M	Magnavox	40157
	Marantz	40029, 40157
	Matsui	40157
	MCS	40029
	Memorex	40000, 40032, 40179, 40420, 40468
	Meridian	40157
	Micromega	40157
	Miro	40000
	Mission	40157
	Modulaire	40000, 40032, 40087, 40179, 40420, 40468
	MTC	40420
	Musical Fidelity	40393
	Myryad	40157
N	NAD	40000, 40721
	Naim	40157
	NSM	40157
O	Onkyo	40101, 40868
	Optimus	40000, 40032, 40037, 40087, 40179, 40393, 40420, 40468
	Orion	40393
P	Panasonic	40029, 40303, 40388, 40752
	Parasound	40420
	Penney	40029
	Philips	40157
	Pioneer	40032, 40101, 40468
	Polk Audio	40157
	Proceed	40420
	Proton	40157
Q	QED	40157
	Quad	40157
	Quasar	40029
R	Radiola	40157
	RadioShack	40000, 40032, 40179, 40420, 40468
	RCA	40032, 40053, 40179, 40420, 40468
	Realistic	40000, 40032, 40087, 40179, 40420, 40468
	Restek	40157
	Revox	40157
	Roksan	40420
	Rotel	40157, 40420
	Royal	40420
S	SAE	40157
	Saisho	40000
	Sansui	40000, 40157
	Sanyo	40000, 40087, 40179
	SAST	40157
	Sears	40179
	Sharp	40037
	Siemens	40157
	Silsonic	40036
	Simaudio	40157
	Sonic Frontiers	40157
	Sony	40000, 40100, 40185, 40490, 41364
	Sugden	40157
	Sylvania	40157
T	TAG McLaren	40157
	Tandy	40032
	Tascam	40393, 40420
	Teac	40390, 40420, 40490
	Technics	40029, 40303
	Techwood	40303
	Thomson	40053
	Thorens	40157
	Thule Audio	40157
	Tokai	40420
U	Universum	40053, 40157
V	Victor	40072
W	Wadia	40393
	Wards	40000, 40032, 40053, 40087, 40157, 40179
Y	Yamaha	40032, 40036, 40490, 40868
	Yorx	40000

CD Recorder ※3

D	Denon	40766, 42868
R	RCA	40053, 40420
S	Sony	40000, 40100, 41364
T	Teac	40420
	Thomson	40053

Tape Deck ※2

A	Aiwa	20029, 20197, 20200, 21315
	Akai	20283, 20439
	Arcam	20076
	Audiolab	20029
C	Carver	20029
D	Denon	20076, 20371, 21311, **[22471]** *
F	Fisher	20074
G	Garrard	20308, 20309, 20375, 20439
	Genexxa	20439
	GoldStar	20375
	Grundig	20029, 20375
H	Harman/Kardon	20029, 20182, 21314
I	Inkel	20070, 20071, 20337
J	JVC	20244, 20273, 20274, 20303, 20304, 20310, 21309
K	Kenwood	20070, 20071, 20092, 20233, 20234, 21364
L	LG	20375
	Luxman	20308, 20309
M	Magnavox	20029
	Marantz	20009, 20029
	Memorex	20099
	Mitsubishi	20283, 20439
	Myryad	20029
O	Onkyo	20135, 20136, 20282
	Optimus	20027, 20220, 20337, 20439
	Orion	20308, 20309
P	Palladium	20375
	Panasonic	20229
	Philips	20029, 20229
	Phonotrend	20337
	Pioneer	20027, 20099, 20109, 20220, 21312
	Polk Audio	20029
R	Radiola	20029
	RCA	20027, 20220
	Revox	20029
S	Sansui	20029, 20009
	Sanyo	20074
	Sharp	20231, 20371
	Sherwood	20337
	Sonic	20375
	Sony	20170, 20234, 20243, 20291, 21313
T	TaeKwang	20439
	Tandberg	20109
	Teac	20280, 20283, 20308, 20309
	Technics	20229
	Technovox	20229
	Thorens	20029
U	Universum	20375, 20439
V	Victor	20244, 20273, 20274
W	Wards	20027, 20029
	Wharfedale	20439
Y	Yamaha	20094, 20097

SAT/PVR Combination ※2

D	DirecTV	20739
H	Hughes Network Systems	20739
P	Philips	20739
S	Samsung	20739
T	Tivo	20739

Television ※1

1	888	10264
A	A-Mark	10009, 10047, 10054
	A.R. Systems	10037, 10352, 10374, 10455, 10556
	Accent	10009, 10037
	Accuscan	10047
	Accuscreen	10001
	Acoustic Research	11269
	Acoustic Solutions	11523
	Action	10030, 10650
	Acura	10009
	Addison	10092, 10108, 10653
	ADL	11217
	Admiral	10017, 10047, 10051, 10054, 10093, 10163, 10180, 10264, 10418, 10463
	Advent	10761, 10783, 10815, 10817, 10842, 10876, 11933
	Adventuri	10000
	Adyson	10217
	AEG	11163, 11556
	Agashi	10217, 10264
	Agna	10150
	Aiko	10009, 10035, 10037, 10092, 10217, 10264, 10361, 10371, 10433
	Aim	10037, 10455, 10706, 10805
	Aiwa	10264, 10701, 11904, 11911
	Akai	10000, 10009, 10030, 10035, 10037, 10060, 10145, 10163, 10178, 10208, 10217, 10218, 10264, 10361, 10371, 10433, 10480, 10548, 10556, 10602, 10606, 10631, 10648, 10672, 10702, 10714, 10715, 10812, 11207, 11537, 11675, 11676, 11903
	Akashi	10009, 10860
	Akiba	10037, 10218, 10455
	Akira	10418
	Akito	10037
	Akura	10009, 10037, 10163, 10171, 10218, 10264, 10668, 10714, 11037, 11498, 11556, 11982

Brand	Code
Alaron	10170
Alba	10009, 10036, 10037, 10073, 10163, 10218, 10352, 10370, 10371, 10418, 10443, 10487, 10668, 10714, 11037
Albatron	10700, 10843
Alfide	10672
All-Tel	10865, 11269
Alleron	10030, 10170
Allorgan	10217
Allstar	10037
Ambassador	10150
America Action	10180
American High	10000, 10060
Amplivision	10217, 10370
Amstrad	10000, 10009, 10011, 10037, 10163, 10171, 10218, 10264, 10362, 10371, 10433, 10648, 11037, 11982
Amtron	10000, 10180
Anam	10009, 10037, 10180, 10250, 10700, 10861
Anam National	10037, 10250, 10650
Andersson	11149, 11163
Anglo	10009, 10264
Anhua	10051
Anitech	10009, 10037, 10264
Ansonic	10009, 10037, 10163, 10370, 10374, 10668
AOC	10009, 10030, 10060, 10092, 10093, 10108, 10178, 10180, 10451
Aolinpike	10264
Apex Digital	10156, 10748, 10765, 10767, 10879, 11217, 11943
AR	10352, 10556
Arc En Ciel	10109
Arcam	10217
Ardem	10037, 10714
Aristocrat	10163
Aristona	10037, 10556
ART	11037
Arthur Martin	10163
ASA	10070, 10346
Asberg	10037
Asora	10009
Astra	10037
Asuka	10217, 10218, 10264
ATD	10698
Atlantic	10001, 10037
Atori	10009
Auchan	10163
Audinac	10180
Audiosonic	10009, 10037, 10109, 10217, 10218, 10264, 10370, 10374, 10486, 10714, 10715, 10820, 10865
Audioton	10217, 10264, 10370, 10486
Audiovox	10092, 10180, 10451, 10623, 10802, 10875, 11937, 11951, 11952
Audioworld	10698
Aumark	10060
Autovox	10217
Aventura	10171
AVP	10000
Awa	10009, 10011, 10036, 10108, 10217, 10264, 10374, 10451, 10606
Axion	11937, 11958
Axxent	10009

B

Brand	Code
Baier	10876
Baihe	10009, 10264
Baile	10001, 10009, 10374, 10661
Baird	10037, 10073, 10109, 10208, 10217, 10343, 11196
Bang & Olufsen	10565
Baohuashi	10264
Baosheng	10009, 10817
Barco	10163, 10556
Basic Line	10009, 10037, 10163, 10217, 10218, 10374, 10455, 10556, 10668, 11037, 11163
Bastide	10217
Bauer	10805
Baumann Meyer	11267
Baur	10037, 10195, 10361, 10455, 10512
Baysonic	10180
Bazin	10217
Beaumark	10017, 10030, 10178
Beijing	10001, 10009, 10208, 10226, 10264, 10374, 10661, 10812, 10817, 10821
Beko	10037, 10195, 10370, 10418, 10486, 10606, 10714, 10715, 10808, 11037
Belcor	10030
Bell & Howell	10017, 10057, 10093, 10154
Belson	10698
Belstar	11037
BenQ	11032, 11756
Beon	10037, 10163, 10218, 10418
Berthen	10668
Best	10370
Bestar	10037, 10370, 10374
Bestar-Daewoo	10374
Binatone	10217
Black Diamond	10614, 10820, 10821, 11037, 11163, 11909
Blackway	10218
Blaupunkt	10036, 10170, 10195, 10200, 10327, 10455
Blue Sky	10037, 10218, 10455, 10487, 10499, 10556, 10668, 10714, 10715, 11037, 11363
Boots	10009, 10217
BPL	10037, 10208
Bradford	10180
Brandt	10109, 10287, 10335, 10560, 10625, 10714
Brinkmann	10037, 10418, 10486, 10668
Brionvega	10037, 10362
Britannia	10217
Brockwood	10030, 10178
Broksonic	10180, 10236, 10463, 11911, 11938
Brother	10264
BSR	10163
BTC	10218
Bush	10009, 10036, 10037, 10163, 10208, 10217, 10218, 10264, 10335, 10361, 10371, 10374, 10487, 10556, 10614, 10661, 10668, 10698, 10714, 10778, 11037, 11556, 11900, 11982

C

Brand	Code
Caihong	10009, 10817
Cailing	10748
Candle	10030
Canton	10218
Capehart	10017, 10030, 10036, 10092, 10178
Capetronic	10030
Capsonic	10264
Carad	10610, 10668, 11037
Carena	10037, 10455
Carnivale	10030
Carrefour	10036, 10037, 10070
Carver	10054, 10170
Cascade	10009, 10037
Casio	10037
Cathay	10037, 10218
CCE	10037, 10217
Celebrity	10000
Celera	10765
Celestial	10767, 10819, 10820, 10821
Centrex	10780
Centrum	11037
Centurion	10037
CGE	10074, 10163, 10370, 10418
Changcheng	10001, 10009, 10051, 10264, 10374, 10661, 10817
Changfei	10009, 10374, 10817
Changfeng	10264, 10817
Changhai	10009, 10817
Changhong	10009, 10156, 10264, 10508, 10765, 10767, 10783, 10817, 10819, 10820, 10821, 11008, 11156
Chengdu	10009, 10817
Ching Tai	10009, 10092
Chun Yun	10000, 10009, 10092, 10180, 10700, 10843
Chunfeng	10009, 10264
Chung Hsin	10036, 10053, 10108, 10180
Chunsun	10009, 10817
Cimline	10009, 10218
Cinema	10672
Cineral	10092, 10451
Cinex	10648, 11556
Citek	10047
Citizen	10000, 10001, 10030, 10035, 10054, 10060, 10092, 10171, 10180, 10451, 10463
City	10009
Clarion	10180
Clarivox	10037, 10070, 10418
Classic	10030, 10092, 10499
Clatronic	10009, 10037, 10217, 10218, 10264, 10370, 10371, 10714
Clayton	11037
CMS Hightec	10217
Colortyme	10017, 10030, 10047, 10054, 10060, 10178
Commercial Solutions	10047, 11447
Concorde	10009
Condor	10009, 10037, 10264, 10370, 10418
Conia	10820, 10821, 11498
Conic	10178
Conrac	10808
Conrowa	10009, 10145, 10156, 10264, 10698, 11156
Contec	10009, 10036, 10037, 10180
Continental Edison	10109, 10287, 10487
Cosmel	10009, 10037
Craig	10171, 10180
Crosley	10000, 10030, 10054, 10074, 10163, 10171, 10180, 10370
Crown	10009, 10037, 10053, 10093, 10180, 10208, 10370, 10418, 10486, 10487, 10606, 10672, 10712, 10714, 10715, 11037
Crown Mustang	10672
CS Electronics	10218
CTX	11756
Curtis Mathes	10000, 10030, 10035, 10037, 10047, 10051, 10054, 10060, 10093, 10145, 10154, 10166, 10178, 10180, 10451, 10702, 11147, 11347
CXC	10180
Cybertron	10218
Cytronix	11298

D

Brand	Code
D-Vision	10037, 10556, 11982
Daewoo	10009, 10030, 10036, 10037, 10092, 10108, 10109, 10154, 10170, 10178, 10180, 10217, 10218, 10264, 10374, 10451, 10499, 10556, 10623, 10634, 10661, 10672, 10700, 10778, 10860, 10865, 10876, 10880, 11661, 11755, 11756, 11909
Dainichi	10218
Daitsu	11267
Dansai	10009, 10035, 10036, 10037, 10208, 10217
Dantax	10370, 10486, 10714, 10715
Datsura	10208
Dawa	10009, 10037
Daytek	10672, 11207
Dayton	10009, 10092, 11207
Daytron	10009, 10030, 10036, 10037, 10092, 10178, 10180, 10374
Dayu	10374, 10661
De Graaf	10163, 10208, 10548
Decca	10037, 10217
Degraff	10163, 10208
Deitron	10374
Dell	11080
Denko	10264
Denon	10145, 10511
Denver	10037, 10587
Desmet	10009, 10037
Diamant	10037
Diamond	10009, 10371, 10672, 10698, 10706, 10820, 10860
Digatron	10037
Digihome	11149
Digiline	10037, 10668
Digital Life	10872
Digitex	10820
Digitor	10037
Digix Media	10880
Dixi	10009, 10037, 10217
DL	10587, 10780, 10872, 11363
Domeos	10668
Domland	10394
Dongda	10009
Donghai	10009
Dream Vision	11164
DSE	10698, 10820, 11556
DTS	10009
Dual	10037, 10217, 10343, 10352, 10394, 10778, 11037, 11137, 11149
Dual Tec	10217
Dumont	10017, 10070, 10178, 10180, 10217
Durabrand	10171, 10178, 10180, 10463, 11034, 11463
Dux	10037
Dwin	10093
Dynatech	10217
Dynatron	10037
Dynex	11463

E

Brand	Code
Easy Living	11248
Eaton	10060

Brand	Code
Ecco	10773
ECE	10037
Edison-Minerva	10487
Elbe	10037, 10217, 10218, 10362, 10610
Elcit	10163
Electroband	10000
Electrograph	11755
Electrohome	10000, 10030, 10073, 10150, 10154, 10178, 10463
Elekta	10009, 10264
Elfunk	11037, 11208
ELG	10037
Elin	10009, 10037, 10361, 10548
Elite	10037, 10218
Elta	10009, 10264
Emerald	10178
Emerson	10017, 10036, 10037, 10047, 10070, 10073, 10150, 10154, 10170, 10171, 10178, 10180, 10195, 10236, 10361, 10370, 10371, 10451, 10463, 10486, 10623, 10668, 10714, 11909, 11911, 11944
Envision	10030, 10813
Enzer	10860
Erae	11371
Erres	10037
ESA	10171, 10812, 11944
ESC	10037, 10217
Ether	10009, 10030
Etron	10001, 10009, 10163, 10820
Eurofeel	10217, 10264
Euroman	10037, 10217, 10264, 10370
Europa	10037
Europhon	10037, 10109, 10217
Evesham	11248
Evolution	11756
Expert	10163
Exquisit	10037

F

Brand	Code
Feilang	10009
Feilu	10009, 10817
Feiyan	10264
Feiyue	10009, 10817
Fenner	10009, 10374
Fer0	10335
Ferguson	10037, 10053, 10073, 10109, 10195, 10287, 10335, 10343, 10443, 10548, 10560, 10625, 11037
Fidelity	10037, 10163, 10171, 10217, 10264, 10361, 10371, 10512
Filsai	10217
Finlandia	10163, 10208, 10346, 10361, 10548
Finlux	10037, 10070, 10163, 10217, 10346, 10480, 10556, 10631, 10714, 10715, 10808, 11556
Firstar	10009, 10236
Firstline	10009, 10037, 10208, 10217, 10361, 10374, 10556, 10668, 10714, 10808, 11037, 11363, 11371
Fisher	10000, 10036, 10047, 10054, 10154, 10208, 10217, 10361, 10370
Flint	10037, 10218, 10264, 10455, 10610
Force	11149
Formenti	10037, 10163
Fortress	10093
Fraba	10037, 10370
Friac	10009, 10037, 10370, 10499, 10610
Frontech	10009, 10163, 10217, 10264
Fujimaro	10865, 11498
Fujitsu	10009, 10217, 10352, 10683, 10809, 10853
Fujitsu General	10009, 10217, 10683
Fujitsu Siemens	10808, 10809, 11163, 11298
Funai	10000, 10171, 10180, 10264, 10668, 11271, 11904
Furi	10145, 10264, 10817
Furichi	10860
Futronic	10264, 10860
Futuretech	10180

G

Brand	Code
Galaxi	10037
Galaxis	10037, 10370
Ganxin	10817
Gateway	11755, 11756
GBC	10009, 10163, 10218, 10374
GE	10000, 10030, 10035, 10047, 10051, 10060, 10092, 10093, 10178, 10180, 10335, 10451, 10560, 10625, 11147, 11347, 11447, 11454, 11917, 11922
GEC	10037, 10163, 10217, 10361
Geloso	10009, 10163, 10374
Gemini	10047
General	10109, 10287
General Technic	10009
Genesis	10009, 10037
Genexxa	10009, 10037, 10163, 10218
Gericom	10808, 10865, 10880, 11217, 11298
Gevalt	11371
Giant	10009, 10217
Gibralter	10000, 10017, 10030
Go Video	10060, 10886
Go Vision	11937
Goldfunk	10668
GoldStar	10001, 10009, 10030, 10036, 10037, 10047, 10054, 10073, 10109, 10154, 10163, 10178, 10217, 10361, 10455, 10606, 10714, 10715
Gooding	10487
Goodmans	10000, 10009, 10011, 10035, 10036, 10037, 10217, 10218, 10264, 10335, 10343, 10371, 10374, 10480, 10487, 10499, 10556, 10560, 10587, 10625, 10634, 10661, 10668, 10714, 10808, 10880, 11037, 11163, 11900, 11909
Gorenje	10370
GPM	10218
Gradiente	10037, 10053, 10170
Graetz	10163, 10361, 10371, 10487, 10714, 11163
Gran Prix	10648
Granada	10036, 10037, 10108, 10163, 10208, 10217, 10226, 10343, 10548, 10560
Grandin	10009, 10037, 10163, 10218, 10374, 10455, 10610, 10668, 10714, 10715, 10865, 10880, 11037, 11298
Gronic	10217
Grundig	10009, 10036, 10037, 10070, 10163, 10195, 10443, 10487, 10556, 10587, 10672, 10683, 10706, 11371
Grundy	10180, 10195
Grunkel	11163
Grunpy	10180
GVA	11363

H

Brand	Code
H & B	10808
Haaz	10706
Haier	10037, 10508, 10587, 10698, 11017, 11034
Haihong	10009
Haiyan	10264, 10817
Halifax	10217, 10264
Hallmark	10178, 10180, 10236
Hampton	10217
Hanimex	10218
Hankook	10030, 10178, 10180
Hanseatic	10009, 10037, 10217, 10361, 10370, 10394, 10499, 10556, 10634, 10661, 10714, 10808
Hantarex	10009, 10037, 10865
Hantor	10037
Harley Davidson	10000, 10030, 10060, 10178, 10180, 11904
Harman/Kardon	10054
Harsper	10865
Harvard	10180
Harwa	10773, 11196, 11269
Harwood	10009, 10037, 10487
Hauppauge	10037
Havermy	10093
HCM	10009, 10037, 10217, 10218, 10264, 10418
Heathkit	10017
Helios	10865
Hello Kitty	10451
Hema	10009, 10217
Hewlett Packard	11494, 11502
Hifivox	10109
Highline	10037, 10264
Hikona	10218
Hikone	10218
Hinari	10009, 10036, 10037, 10163, 10208, 10218, 10264, 10352, 10443
Hisawa	10218, 10455, 10610, 10714
Hisense	10009, 10145, 10156, 10208, 10508, 10556, 10748, 10780, 10821, 10860, 11022, 11156, 11208, 11363
Hitachi	10000, 10009, 10017, 10030, 10035, 10036, 10037, 10047, 10051, 10054, 10092, 10108, 10109, 10145, 10150, 10156, 10163, 10178, 10217, 10343, 10480, 10481, 10499, 10508, 10548, 10578, 10634, 10744, 10877, 11037, 11137, 11145, 11149, 1156, 11225, 11256, 11576, 11904, 11960
Hitachi Fujian	10150, 10108, 10860
Hitec	10698
Hitsu	10009, 10218, 10455, 10610
Hoeher	10714, 10865, 11163, 11556
Home Electronics	10606
Hongmei	10009, 10093, 10264, 10817
Hongyan	10264, 10817
Hornyphon	10037
Hoshai	10218, 10455
HP	11494, 11502
Hua Tun	10009
Huafa	10009, 10145
Huanghaimei	10009
Huanghe	10009, 10817
Huanglong	10009
Huangshan	10009, 10264, 10817
Huanyu	10217, 10264, 10374, 10817
Huaqiang	10264
Huari	10145, 10264
Hugoson	11217
Huodateji	10051
Hygashi	10217
Hyper	10009, 10217
Hypersonic	10361
Hypson	10037, 10217, 10264, 10455, 10486, 10556, 10668, 10714, 10715, 11037
Hyundai	10778, 10849, 10860, 10865, 10876, 11556

I

Brand	Code
Iberia	10037
ICE	10037, 10217, 10218, 10264, 10371
ICeS	10218
Iiyama	10877, 11217
Ima	10178, 10180, 10236
Imperial	10037, 10074, 10370, 10418
Imperial Crown	10001, 10009, 10264, 10374, 10661
Indiana	10037
Infinity	10054
InFocus	11164
Ingelen	10163, 10487, 10610, 10714
Ingersol	10009
Inno Hit	10009, 10217, 10218, 11163
Innova	10037
Innowert	10865, 11298
Inotech	10773, 10820
Insignia	10171, 11517
Inteq	10017, 10145
Interbuy	10009, 10037, 10264
Interfunk	10037, 10109, 10163, 10200, 10327, 10361, 10512
Internal	10037, 11909
Intervision	10009, 10037, 10217, 10218, 10264, 10394, 10455, 10486, 10487
Irradio	10009, 10037, 10218, 10371
Isukai	10037, 10218, 10455
ITC	10217
ITS	10037, 10218, 10264, 10371
ITT	10163, 10208, 10346, 10361, 10480, 10548, 10610
ITT Nokia	10070, 10163, 10195, 10208, 10346, 10361, 10480, 10548, 10606, 10610
ITV	10037, 10264, 10374
IX	10877

J

Brand	Code
JBL	10054
JCB	10000
JDV	11982
Jean	10009, 10036, 10051, 10092, 10156, 10236
JEC	10035
Jensen	10761, 10815, 10817, 11933
Jiahua	10051
JiaLiCai	10009, 10264
JIL	10030
Jinfeng	10051, 10208, 10226, 10817
Jinque	10009, 10264, 10817
Jinta	10009, 10264
Jinxing	10009, 10037, 10054, 10145, 10156, 10264, 10556, 10698, 10817, 10821, 11011
JMB	10443, 10499, 10556, 10634
JNC	10876
Jocel	10712
Johnson	10455
Jubilee	10556
Juhua	10264, 10817
Jutan	10030

Brand	Codes
JVC	10030, 10036, 10053, 10054, 10070, 10093, 10218, 10371, 10418, 10463. 10508, 10606, 10650, 10653, 10683, 10731, 11253, 11923

K

Brand	Codes
Kaige	10009, 10264, 10817
Kaisui	10009, 10037, 10217, 10218, 10455
Kambrook	10217
Kamp	10017, 10180, 10217
Kangli	10001, 10009, 10264, 10374, 10661, 10817
Kangyi	10009, 10264
Kapsch	10163, 10361
Karcher	10264, 10370, 10606, 10610, 10714, 10778, 11556
Kathrein	10556
Kawa	10371
Kawasho	10030
KB Aristocrat	10163
KDS	11498
KEC	10060, 10180
Kendo	10037, 10362, 10370, 10610, 10648, 11037
Kennedy	10163
Kennex	10668, 11037
Kenwood	10030, 10180
Khind	10706
KIC	10217
Kiota	10001, 10371, 10455
Kioto	10556, 10706
Kiton	10037, 10668
KLH	10156, 10180, 10765, 10767, 11962
KLL	10037
Kloss	10030
Kneissel	10037, 10362, 10370, 10374, 10499, 10556, 10610
Kolin	10036, 10053, 10108, 10150, 10180, 11240, 11331, 11610
Kolster	10037, 10218
Kongque	10009, 10264, 10817
Konichi	10009
Konig	10037
Konka	10037, 10180, 10218, 10371, 10418, 10587, 10641, 10714, 10817, 11084
Kontakt	10487
Korpel	10037
Korting	10370
Kosmos	10037
Kotron	11900
Koyoda	10009
Kreisen	10876
KTV	10030, 10180, 10217, 10463
Kuaile	10009, 10264
Kulun	10009
Kunlun	10051, 10208, 10226, 10264, 10374, 10661, 10817
Kyoshu	10418
Kyoto	10163, 10217

L

Brand	Codes
L&S Electronic	10714, 10808, 10865
Lark	10154
LaSAT	10486
Lavis	11037
Leader	10009
Lecson	10037
Legend	10009
Lenco	10037, 10374, 10587
Lenoir	10009
Lexsor	11196
Leyco	10037, 10264
LG	10001, 10009, 10030, 10037, 10054, 10060, 10108, 10109, 10163, 10178, 10217, 10361, 10370, 10556, 10698, 10700, 10714, 10715, 10856, 11265, 11637
Liesenk & Tter	10037
Liesenkotter	10037, 10327
Lifetec	10009, 10037, 10218, 10374, 10668, 10683, 10714, 11037, 11137
Lihua	10817
Lloyd's	10001, 10009, 10030, 10180, 10236, 11904
Local India TV	10009, 10208, 10602
Local Malaysia TV	10698
Lodos	11037, 11149
Loewe	10037, 10370, 10512, 10633, 10790
Logik	10001, 10009, 10011, 10060, 10180, 10236, 10371, 10698, 10773, 10880, 11037, 11217
Logix	10668
Longjiang	10264, 10817
Luker	11982
Luma	10009, 10163, 10362, 10374, 11037
Lumatron	10037, 10073, 10163, 10217, 10264, 10361, 10556
Lux May	10009, 10037
Luxor	10163, 10208, 10217, 10346, 10361, 10480, 10548, 10631, 11037, 11163
LXI	10000, 10001, 10017, 10030, 10035, 10036, 10037, 10047, 10051, 10053, 10054, 10060, 10093, 10154, 10156, 10166, 10171, 10178, 10208

M

Brand	Codes
M Electronic	10009, 10037, 10109, 10163, 10195, 10217, 10287, 10343, 10346, 10361, 10374, 10480, 10512, 10634, 10661, 10714
Madison	10037
MAG	11498
Magnadyne	10054, 10163
Magnafon	10073
Magnasonic	10000, 10030, 10054, 10092, 10093, 10109, 10156
Magnavox	10000, 10011, 10030, 10035, 10036, 10037, 10047, 10051, 10054, 10060, 10092, 10154, 10171, 10180, 10250, 10706, 10780, 10802, 11254, 11454, 11755, 11904, 11944
Magnum	10037, 10648, 10714, 10715
Majestic	10017
Mandor	10264
Manesth	10035, 10037, 10217, 10264
Manhattan	10037, 10668, 10778, 10876, 11037, 11267
Marantz	10030, 10037, 10054, 10556, 10704, 10855, 11454
Mark	10009, 10037, 10217, 10374, 10714, 10715
Master's	10499
Mastro	10053, 10698, 10706, 10780, 11556
Masuda	10009, 10037, 10217, 10218, 10264, 10371
Matsui	10009, 10011, 10035, 10036, 10037, 10163, 10195, 10208, 10217, 10335, 10352, 10371, 10433, 10443, 10455, 10487, 10556, 10714, 10744, 11037
Matsushita	10051, 10250, 10650
Maxdorf	10773
Maxent	11755, 11756
Maxim	11556, 11982
MCE	10009
Meck	10698
Mediator	10037, 10556
Medion	10037, 10512, 10556, 10668, 10698, 10714, 10808, 10880, 11037, 11137, 11248, 11900
Megapower	10700
Megas	10610
Megatron	10009, 10047, 10145, 10178
MEI	11037
Meile	10264, 10817
Memorex	10009, 10030, 10035, 10037, 10060, 10150, 10154, 10178, 10180, 10195, 10250, 10463, 10877, 11037, 11911
Memphis	10009
Mercury	10001, 10009, 10037, 10060
Mermaid	10037
Metronic	10625
Metz	10037, 10195, 10367, 10388, 10447, 10587, 10668, 10746, 11163
MGA	10030, 10150, 10178, 10218, 10374
MGN Technology	10178
Micro Genius	10150
Micromaxx	10037, 10668, 10714, 10808, 11037
Microstar	10808
Microtek	10820, 10860
Midland	10017, 10047, 10051
Mikomi	11037, 11149
Minato	10037, 10556
Minerva	10070, 10108, 10195, 10487
Minoka	10037
Mirror	11900
Mitsubishi	10011, 10030, 10036, 10037, 10093, 10108, 10150, 10154, 10178, 10180, 10195, 10236, 10250, 10512, 10556, 10817, 10836, 11037, 11250, 11917
Mivar	10217
Monaco	10009
Monivision	10700, 10843
Morgan's	10037
Motorola	10051, 10054, 10093, 10150
MTC	10011, 10030, 10060, 10092, 10180, 10370, 10512
MTlogic	10714
Mudan	10009, 10051, 10208, 10226, 10264, 10817
Multitec	10037, 10486, 10668, 11037, 11556
Multitech	10009, 10037, 10180, 10217, 10264, 10370, 10486
Murphy	10163
Musikland	10218
Mx Onda	11498
Myryad	10556

N

Brand	Codes
NAD	10037, 10156, 10166, 10178, 10361, 10866, 11156
Naiko	10037, 10606, 11982
Nakimura	10037, 10374
Nanbao	10009, 10264
Nansheng	10264, 10817
Narita	11982
NAT	10226
National	10051, 10208, 10226, 10508
NEC	10009, 10011, 10030, 10036, 10047, 10051, 10053, 10154, 10156, 10170, 10178, 10217, 10264, 10374, 10455, 10499, 10508, 10653, 10661, 10704, 10817, 11270
Neckermann	10037, 10200, 10327, 10370, 10418, 10556
NEI	10037, 10163, 10371
Neon	11267
Neovia	10865, 10876, 11371
Netsat	10037
NetTV	11755
Neufunk	10009, 10037, 10218, 10556, 10610, 10714
New Tech	10009, 10037, 10217, 10343, 10556
New World	10218
Newave	10009, 10092, 10093, 10178
Nikkai	10009, 10035, 10036, 10037, 10163, 10217, 10218, 10264
Nikkei	10714
Nikko	10030, 10092, 10178
Nikkodo	10030, 10092, 10178
Nishi	10030
Nobliko	10070
Nogamatic	10109
Nokia	10163, 10208, 10346, 10361, 10374, 10480, 10548, 10606, 10610, 10631
Norcent	10748, 10824
Nordic	10217
Nordmende	10037, 10109, 10195, 10287, 10343, 10560, 10714
Normerel	10037
Novatronic	10037, 10374
NTC	10092
Nu-Tec	10455, 10698, 10820, 10821
Nyon	10000

O

Brand	Codes
Oceanic	10163, 10208, 10361, 10548
Odeon	10264
Okano	10009, 10037, 10264, 10370
Olevia	11144, 11240, 11331, 11610
Omega	10264
Omni	10698, 10748, 10780, 10872
Onida	10053, 11253
Onimax	10714
Onwa	10180, 10218, 10371, 10433, 10602
Opera	10037
Optimus	10030, 10093, 10150, 10154, 10166, 10178, 10180, 10250, 10650
Optoma	10887
Optonica	10093
Orbit	10037
Orcom	11504
Orion	10011, 10017, 10037, 10178, 10180, 10236, 10264, 10433, 10463, 10556, 10714, 10880, 11196, 11463, 11911
Orline	10037, 10218
Ormond	10668, 11037
Osaki	10037, 10217, 10218, 10264, 10374, 10556
Osio	10037
Oso	10218
Osume	10036, 10037, 10218
Otic	11498
Otto Versand	10036, 10037, 10093, 10109, 10195, 10217, 10226, 10343, 10361, 10152, 10556

P

Brand	Codes
Pace	10092
Pacific	10037, 10443, 10556, 10714, 11037, 11137
Palladium	10037, 10163, 10200, 10217, 10327, 10370, 10418, 10556, 10714, 11137

	Brand	Codes
	Palsonic	10001, 10037, 10217, 10218, 10264, 10418, 10698, 10773, 10778, 11196, 11269, 11904
	Panama	10009, 10037, 10217, 10264
	Panashiba	10001
	Panasonic	10000, 10030, 10035, 10037, 10051, 10054, 10108, 10156, 10163, 10208, 10236, 10250, 10361, 10367, 10508, 10548, 10650, 10853, 11271, 11291, 11310, 11480, 11941, 11946, 11947
	Panavision	10037
	Panda	10009, 10051, 10208, 10226, 10264, 10508, 10698, 10706, 10780, 10817, 10821
	Pathe Cinema	10163
	Pathe Marconi	10109
	Pausa	10009
	Paxonic	10030, 10060
	PCE	10060, 10156
	Penney	10000, 10030, 10035, 10036, 10037, 10047, 10051, 10060, 10070, 10108, 10156, 10178, 10250, 11347
	Perdio	10037, 10163
	Perfekt	10037
	Petters	11523
	Philco	10030, 10037, 10054, 10074, 10145, 10163, 10178, 10180, 10370, 10418, 10451, 10463, 11661
	Philharmonic	10217
	Philips	10000, 10009, 10017, 10030, 10037, 10051, 10054, 10092, 10108, 10171, 10178, 10200, 10343, 10361, 10374, 10512, 10556, 10690, 11254, 11454, 11756, 11961
	Phocus	10714
	Phoenix	10037, 10163, 10370, 10486
	Phonola	10037, 10556
	Pilot	10011, 10030, 10051, 10060, 10178, 10706
	Pioneer	10011, 10037, 10109, 10163, 10166, 10170, 10287, 10361, 10370, 10486, 10512, 10679, 10760, 10866, 11260
	Pionier	10370, 10486, 11556
	Plantron	10009, 10037, 10264
	Playsonic	10037, 10217, 10714, 10715
	Polaroid	10765, 10865, 11276, 11316, 11341, 11498, 11523, 11962
	Poppy	10009
	Portland	10092, 10374, 10451
	Powerpoint	10037, 10487, 10698
	Prandoni-Prince	10361
	Precision	10180, 10217, 10236
	Premier	10009, 10264
	President	10860
	Prima	10009, 10264, 10761, 10783, 10815, 10817, 11269, 11933
	Princeton	10700
	Prinston	11037
	Prinz	10361
	Prism	10051, 10250
	Profex	10009, 10163, 10361
	Profi	10009
	Profilo	11556
	Profitronic	10037
	Proline	10037, 10073, 10625, 10634, 11037
	Proscan	10047, 11347, 11447, 11922
	Prosco	10156
	Prosonic	10037, 10217, 10370, 10371, 10374, 10668, 10714
	Protec	10009, 10037, 10217, 10264
	Protech	10009, 10037, 10217, 10264, 10418, 10486, 10668, 11037
	Proton	10001, 10009, 10030, 10178
	Proview	11498
	ProVision	10037, 10556, 10714, 11037
	Pulsar	10017, 10092
	Pulser	10092, 10178
	Pvision	10876
	Pye	10037, 10374, 10556
	Pymi	10009
Q	Qingdao	10051, 10208, 10226, 10264, 10817
	Quadral	10051, 10218
	Quartz	10150, 10178
	Quasar	10009, 10035, 10051, 10250, 10650, 10865
	Quelle	10011, 10037, 10070, 10074, 10109, 10195, 10200, 10327, 10361, 10512, 10668, 11037
	Questa	10036
	Questar	10036
R	R-Line	10037
	Rabbit	10047
	Radialva	10163, 10218
	Radiola	10037, 10217, 10556
	Radiomarelli	10037
	RadioShack	10030, 10037, 10047, 10150, 10154, 10178, 10180, 11904
	Radiotone	10009, 10037, 10264, 10370, 10418, 10648, 10668, 11037
	Rank	10070
	Rank Arena	10036, 10602
	RBM	10070
	RCA	10000, 10030, 10047, 10051, 10054, 10090, 10092, 10093, 10178, 10560, 10625, 10679, 11047, 11147, 11247, 11347, 11447, 11454, 11547, 11917, 11922, 11948, 11953, 11958
	Realistic	10030, 10047, 10150, 10154, 10178, 10180
	RealiTV	11267
	Reality	11267
	Recor	10037, 10418
	Rectiligne	10037
	Rediffusion	10036, 10163, 10346, 10361, 10548
	Redstar	10037
	Reflex	10037, 10668, 11037
	Relisys	10865, 10876, 10877, 11207
	Remotec	10037, 10093, 10145, 10171, 10250
	Reoc	10714
	Revox	10037
	Rex	10163, 10264
	RFT	10037, 10264
	Rinex	10773
	Roadstar	10009, 10037, 10218, 10264, 10418, 10668, 10714, 11037, 11900
	Rolson	11371
	Rover	10036, 10877
	Rowa	10009, 10037, 10264, 10587, 10698, 10712, 10748, 10817
	Royal Lux	10335, 10370
	Runco	10017, 10030, 10060
	Ruyi	10817
S	S-Media	11217
	Saba	10109, 10163, 10250, 10287, 10335, 10343, 10361, 10498, 10548, 10560, 10625, 10714
	Sagem	10455, 10610, 10618
	Saige	10009, 10817
	Saisho	10009, 10011, 10163, 10217, 10264
	Saivod	10037, 10668, 10712, 11037, 11163, 11556, 11982
	Sakai	10163
	Sakyno	10455
	Salora	10163, 10208, 10361, 10480, 10548, 10631
	Salsa	10335
	Sampo	10009, 10030, 10036, 10047, 10092, 10093, 10154, 10171, 10178, 10650, 10700, 11755, 11756
	Samsung	10009, 10017, 10030, 10035, 10036, 10037, 10047, 10054, 10060, 10090, 10092, 10093, 10154, 10156, 10163, 10178, 10208, 10217, 10226, 10264, 10362, 10370, 10371, 10556, 10587, 10618, 10702, 10718, 10766, 10812, 10814, 10817, 10821, 11060, 11249, 11312, 11903, 11959
	Sandra	10217
	Sanjian	10264
	Sanky	10030, 10060
	Sansui	10030, 10037, 10060, 10371, 10455, 10463, 10602, 10706, 10714, 10861, 11371, 11537, 11904, 11911
	Santon	10009
	Sanyo	10000, 10009, 10011, 10036, 10037, 10047, 10054, 10088, 10108, 10145, 10154, 10156, 10163, 10170, 10171, 10180, 10208, 10217, 10264, 10370, 10463, 10508, 10704, 11037, 11208, 11755
	Sanyong	10037
	Sanyuan	10009, 10093, 10817
	Saville	10060
	SBR	10037, 10556
	Sceptre	11217
	Schaub Lorenz	10361, 10374, 10486, 10548, 10606, 10714, 11267
	Schneider	10037, 10070, 10163, 10217, 10218, 10343, 10352, 10361, 10371, 10394, 10556, 10648, 10668, 10714, 11037, 11137, 11904, 11982
	Scotch	10178
	Scotland	10163
	Scott	10030, 10178, 10180, 10236
	Sears	10000, 10001, 10017, 10030, 10035, 10036, 10037, 10047, 10051, 10053, 10054, 10060, 10093, 10154, 10156, 10166, 10171, 10178, 10208, 11904
	Seaway	10634
	Seelver	11037
	SEG	10009, 10036, 10037, 10217, 10218, 10264, 10362, 10487, 10668, 11037, 11163
	SEI	10037, 10163
	Sei-Sinudyne	10037
	Seleco	10163, 10346, 10362, 10371
	Semivox	10180
	Semp	10156
	Sencora	10009
	Sentra	10035
	Serino	10093, 10455, 10610
	Shancha	10264, 10817
	Shanghai	10009, 10208, 10226, 10264, 10817
	Shaofeng	10145, 10817
	Sharp	10009, 10030, 10036, 10053, 10054, 10093, 10180, 10200, 10650, 10653, 10668, 11193, 11393, 11917
	Shen Ying	10009, 10092
	Shencai	10009, 10145, 10264
	Sheng Chia	10009, 10093, 10236
	Shenyang	10009, 10264, 10817
	Sherwood	10009
	Shintoshi	10037
	Shivaki	10037, 10178, 10374, 10443, 10556
	Show	10009, 10418
	Siarem	10163
	Siemens	10037, 10145, 10195, 10200, 10327
	Siera	10037, 10556
	Siesta	10370
	Signature	10030, 10047, 10093
	Silva	10037, 10361, 10648
	Silva Schneider	10037, 11556
	Silvano	10587
	Silver	10036, 10361, 10455, 10715
	SilverCrest	11037
	Simpson	10011, 10030, 10178
	Singer	10009, 10037, 10060, 10092, 10335, 10371, 10433, 11537
	Sinotec	10773
	Sinudyne	10037, 10163, 10361
	Skantic	10163
	SKY	10037, 10880, 11504
	Sky Brazil	10880
	Sky-North	10037
	Skygiant	10180
	Skyworth	10009, 10037, 10264, 10698, 10748, 10805, 10817, 11115
	Sliding	10865, 10880
	SLX	10668
	Smaragd	10487
	Soemtron	10865, 11298
	Solar Drape	10000
	Solavox	10037, 10163, 10361, 10548
	Sole	10813
	Sonawa	10218
	Songba	10009
	Soniko	10037
	Sonitron	10208, 10217, 10370
	Sonneclair	10037
	Sonoko	10009, 10037, 10217, 10264
	Sonolor	10163, 10208, 10361, 10548
	Sontec	10009, 10037, 10370
	Sony	10000, 10011, 10017, 10036, 10037, 10053, 10074, 10150, 10154, 10353, 10650, 11100, 11505, 11651, 11751, 11904
	Sound & Vision	10218, 10374
	Soundesign	10178, 10180
	Soundwave	10037, 10418, 10715
	Sova	11952
	Sowa	10036, 10051, 10060, 10092, 10156, 10178, 10226
	Soyea	10773
	Spectra	10009
	Spectravision	10156, 10178
	Spectroniq	11498
	Squareview	10171
	SR2000	10154, 10171
	Ssangyong	10009
	SSS	10180
	Staksonic	10009

Brand	Code
Standard	10009, 10037, 10217, 10218, 10374, 11037
Standard Components	10009, 10218
Starlite	10009, 10037, 10163, 10180, 10236, 10264
Stenway	10218
Stern	10163, 10264
Stevison	11982
Strato	10009, 10037, 10264
Strong	11149, 11163
Studio Experience	10843
Stylandia	10217
Sunkai	10218, 10455, 10487, 10610, 10865
Sunstar	10009, 10037, 10264, 10371
Sunwatt	10455
Sunwood	10037
Superla	10217
Superscan	10093, 10864, 11944
Supersonic	10009, 10208, 10455, 10805
SuperTech	10009, 10037, 10218, 10556
Supra	10009, 10178, 10374
Supreme	10000
Susumu	10218, 10287, 10335
Sutron	10009
SV2000	10054
SVA	10587, 10748, 10865, 10871, 10872
Svasa	10208, 10455
Swisstec	10880, 11504
Sydney	10217
Sylvania	10000, 10030, 10036, 10037, 10047, 10051, 10054, 10092, 10154, 10171, 10178, 10876, 11271, 11864, 11904, 11944
Symphonic	10000, 10171, 10178, 10180, 11904, 11944
Synco	10000, 10036, 10060, 10092, 10093, 10178, 10451
Syntax	11144, 11240, 11331, 11610
Sysline	10037

T

Brand	Code
T+A	10447
Tacico	10009, 10092, 10178
Tai Yi	10009
Taishan	10009, 10374, 10817
Tandberg	10109, 10361, 10367
Tandy	10093, 10163, 10217, 10218
Targa	11267, 11371
Tashiko	10036, 10092, 10163, 10170, 10217, 10650,
Tatung	10000, 10009, 10011, 10036, 10037, 10051, 10054, 10060, 10154, 10156, 10217, 11156, 11248, 11254, 11371, 11556, 11756
TCL	10698, 10706, 11027, 11537
TCM	10714, 10808
Teac	10009, 10037, 10154, 10170, 10171, 10178, 10217, 10264, 10418, 10455, 10512, 10668, 10698, 10706, 10712, 10714, 11037, 11149, 11755
Tec	10009, 10037, 10163, 10217, 10335
Tech Line	10037, 10668, 11163
Techica	10218
Technica	11982
Technics	10051, 10054, 10226, 10250, 10556, 10650
TechniSat	10556, 11267
Technisson	10714
Technosonic	10499, 10556, 10880
Technovox	10030, 10217
Techview	10847
Techwood	10051, 10060, 10250, 11163
Tecnimagen	10556
Teco	10009, 10036, 10051, 10092, 10093, 10178, 10218, 10264, 10653, 11040
Tedelex	10009, 10208, 10217, 10418, 10606, 10698, 11537
Teiron	10009
Tek	10820
Teknika	10054, 10060, 10092, 10150, 10178, 10180, 10463
TELE System	10876
Teleavia	10287, 10343
Telecolor	10017
Telecor	10037, 10163, 10217, 10218, 10394
Telefunken	10037, 10073, 10074, 10109, 10287, 10335, 10343, 10346, 10486, 10498, 10560, 10587, 10625, 10698, 10702, 10712, 10714, 10819, 10820, 10821, 11504
Telefusion	10037
Telegazi	10037, 10163, 10218, 10264
Telemeister	10037
Telesonic	10037
Telestar	10009, 10037, 10556
Teletech	10009, 10037, 10668, 11037
Teleton	10036, 10217
Televideon	10163
Teleview	10037
Tempest	10009, 10264, 10455
Tennessee	10037
Tensai	10009, 10037, 10217, 10218, 10371, 10374, 10715, 11037
Tenson	10009
Tera	10030, 10092
Tevion	10037, 10556, 10648, 10668, 10714, 10808, 11037, 11137, 11248, 11298, 11498, 11556
Texet	10009, 10217, 10218, 10374
Texla	10780
ThemeScene	10887
Thomas	10001, 10047, 10178, 11904
Thomson	10037, 10047, 10109, 10287, 10335, 10343, 10560, 10625, 11447
Thorn	10035, 10036, 10037, 10073, 10074, 10109, 10163, 10264, 10335, 10343, 10361, 10499, 10512
Thorn-Ferguson	10073, 10335, 10343, 10499
Tiane	10093, 10817
Tiny	11269
TMK	10178, 10180, 10236
TML	11756
TNCi	10017
Tobishi	10218
Tobo	10009, 10264, 10748
Tocom	10156
Tokai	10009, 10037, 10163, 10217, 10374, 10668, 11037
Tokaido	11037
Tokyo	10035
Tomashi	10218
Tongguang	10264
Tongtel	10587, 10780
Topline	10668, 11037
Toshiba	10009, 10011, 10035, 10036, 10060, 10070, 10109, 10145, 10150, 10154, 10156, 10166, 10195, 10217, 10264, 10508, 10618, 10650, 10718, 10821, 10845, 11037, 11145, 11156, 11163, 11164, 11256, 11265, 11356, 11508, 11556, 11656, 11945, 11971
Totevision	10051
Towada	10217
Toyoda	10009, 10264, 10371
Toyomenka	10178
Trakton	10217, 10264
TRANS-continents	10037, 10217, 10556, 10668, 10865, 11037
Transonic	10009, 10037, 10264, 10418, 10455, 10512, 10587, 10698, 10712, 10780
Triad	10218, 10556
Trident	10217
Trio	11498
Tristar	10218, 10264
Triumph	10037, 10346, 10556
Truetone	10051, 10250
Tuntex	10009, 10030, 10092
TVS	10463
TVTEXT 95	10556

U

Brand	Code
Uher	10037, 10370, 10374, 10418, 10480, 10486
Ultra	10092
Ultravox	10037, 10163, 10374
Unic Line	10037, 10455
United	10037, 10587, 10714, 10715, 11037, 11982
Universal	10037, 10047
Universum	10009, 10011, 10036, 10037, 10070, 10074, 10109, 10170, 10195, 10200, 10217, 10264, 10327, 10346, 10361, 10362, 10370, 10418, 10480, 10512, 10618, 10631, 10668, 11037, 11163
Univox	10037, 10163

V

Brand	Code
V	10864, 10885, 11755, 11756
V2max	10865
V7 Videoseven	10880, 11217, 11755
Vector Research	10030
Vestel	10037, 10217, 10668, 11037, 11163
Vexa	10009, 10037
Victor	10036, 10053, 10250, 10650, 10653
Videocon	10508
Videologic	10218
Videologique	10217, 10218
Videomac	10009
VideoSystem	10037
Videotechnic	10217, 10374
Videoton	10163
Vidikron	10054
Vidtech	10036, 10178
Viewpia	10876
Viewsonic	10857, 10864, 10885, 11330, 11578, 11627, 11755
Viking	10060
Viore	11207
Vision	10037, 10217, 10264
Vizio	10864, 10885, 11755, 11756, 11758
Vortec	10037
Voxson	10037, 10163, 10178, 10418

W

Brand	Code
Waltham	10037, 10109, 10217, 10418, 10443, 10668, 11037
Wards	10000, 10001, 10017, 10030, 10035, 10037, 10047, 10051, 10054, 10060, 10093, 10154, 10156, 10166, 10178, 10180, 10195, 10236, 10866, 11147, 11156, 11347
Warumaia	10374, 10661
Watson	10009, 10037, 10163, 10218, 10394, 10668, 10714, 11037
Watt Radio	10163
Waycon	10156
Wega	10036, 10037
Wegavox	10009
Weipai	10009
Welltech	10714
Weltblick	10217
Welton	10178
Weltstar	11037
Westinghouse	10000, 10451, 10885, 10889, 11282, 11577
Wharfedale	10037, 10556, 10860, 10861, 11556
White Westinghouse	10037, 10236, 10451, 10463, 10623, 10889, 11909
Windsor	10668, 11037
Windy Sam	10556
Wintel	10714
World	10180, 10236, 10451, 10463
World-of-Vision	10865, 10877, 10880, 11217, 11298
Worldview	10455

X

Brand	Code
Xenius	10634, 10661
Xiahua	10009, 10264, 10698, 10773, 10817
Xianghai	10009
Xiangyang	10264
Xiangyu	10009
Xihu	10264, 10817
Xingfu	10009
Xinghai	10264
XLogic	10698, 10860
Xoceco	11064
Xoro	11196, 11217
XR-1000	10154, 10171, 10180
Xrypton	10037

Y

Brand	Code
Yamaha	10030, 10650, 11576
Yamishi	10037, 10217, 10218, 10455
Yapshe	10250
Yingge	10009
Yokan	10037
Yoko	10009, 10037, 10217, 10218, 10264, 10370
Yonggu	10009
Yorx	10030, 10218
Youlanasi	10817
Yousida	10009
Yuhang	10009

Z

Brand	Code
Zanussi	10163, 10217
Zenith	10000, 10017, 10030, 10037, 10047, 10092, 10093, 10145, 10171, 10178, 10463, 10812, 11145, 11265, 11904, 11909, 11911
ZhuHai	10009, 10374

TV/DVD Combination ※1

A

Brand	Code
Advent	11933
Akai	11675
Akura	11982
Alba	11037
Amstrad	11982
Apex Digital	11943
Audiovox	11937, 11951, 11952

	Brand	Code
	Axion	11937, 11958
B	Black Diamond	11037
	Blue Sky	11037
	Bush	10698, 11037, 11556, 11900, 11982
C	Centrum	11037
	Crown	11037
D	D-Vision	11982
	Denver	10587
E	Elfunk	11037
F	Ferguson	11037
	Finlux	11556
G	Goodmans	10587, 11037, 11900
H	Hitachi	11037, 11960
J	JDV	11982
	Jensen	11933
K	KLH	11962
	Kotron	11900
L	Lenco	10587
	Logik	11037
	Luker	11982
	Luxor	11037
M	Matsui	11037
	Maxim	11982
	Medion	11900
	Mirror	11900
N	Naiko	11982
	Narita	11982
P	Panasonic	11941
	Philips	10556, 11454, 11961
	Polaroid	11523, 11962
	Powerpoint	10698
	Prima	11933
R	RCA	11948, 11958
	Roadstar	11900
S	Saivod	11982
	Samsung	11903
	Schneider	11982
	SEG	11037
	Sova	11952
	Stevison	11982
	Sylvania	10171, 11864
T	Teac	10698
	Technica	11982
	Telefunken	10698
	Thomson	10625
	Transonic	10587
U	United	10587, 11037, 11982
V	Vestel	11037

TV/DVD Combination ※3

	Brand	Code
A	Akai	30695
	Akura	31367
	Alba	30695, 30884
	Amstrad	31367
	Apex Digital	30830
B	Black Diamond	30713, 30884
	Blue Sky	30713, 30884
	Broksonic	30695
	Bush	30713, 30884, 31367
C	Centrum	30713
	Citizen	30695
	Crown	30713
D	D-Vision	31367
	DMTech	31271
E	Elfunk	30713, 30884
	Emerson	30675, 31268
	ESA	31268
F	Ferguson	30695, 30713, 30884
	Funai	31268
G	Goodmans	30713
	Grandin	30713
	Grundig	30539
H	Hitachi	30713, 30884, 31247
I	Insignia	31268
J	JDV	31367
	JNC	31271
K	Konka	31192
L	Logik	30713, 30884
	Luker	31367
	Luxor	30713
M	Magnavox	31268
	Matsui	30713, 30884
	Maxim	31367
N	Naiko	31367
	Narita	31367
	Neovia	31271
O	Orion	30695
P	Pacific	30695
	Panasonic	31490
	Philips	30539, 30854, 31260
R	RCA	31022
S	Saivod	31367
	Samsung	30899
	Sansui	30695
	Schneider	31367
	SEG	30713, 30884
	Sliding	31115
	Stevison	31367
	Sylvania	30630, 30675, 31268, 32194
T	Technica	31367
	Thomson	30551
	Toshiba	30695
U	United	30713, 30884, 31367
	Universum	30713
V	Vestel	30884

TV/VCR Combination ※1

	Brand	Code
A	Aiwa	11904, 11911
	America Action	10180
	Amstrad	10171
	Audiovox	10180
B	Beko	10486
	Black Diamond	11909
	Broksonic	10463, 11911
C	Curtis Mathes	10051
D	Daewoo	11909
E	Emerson	10236, 10463, 11909, 11911
F	Ferguson	10073, 10625
	Fidelity	10171
	Funai	11904
G	GE	10047, 10051, 10093, 11917, 11922
	GoldStar	10037
	Goodmans	10374, 11909
	Grundig	10037, 10195, 10556
H	Harley Davidson	11904
	Hinari	10036
	Hitachi	11904
I	Internal	11909
J	JVC	11923
L	LG	10178
	Lloyd's	11904
M	Magnavox	10054, 11904
	Memorex	10250
	Mitsubishi	10093, 10556, 11917
O	Orion	10463, 11911
P	Palsonic	11904
	Panasonic	10051, 10250
	Penney	10051
	Philips	10037, 10556
Q	Quasar	10051 10250
R	Radiola	10556
	RadioShack	11904
	RCA	10047, 10051, 10093, 11917, 11922
S	Saba	10625
	Samsung	11959
	Sansui	10463, 11904, 11911
	Schneider	10037, 10556, 11904
	Sears	11904
	Sharp	10093, 11917
	Siemens	10037
	Sony	10000, 11505, 11904
	Sylvania	10054
	Symphonic	11904
T	Teac	10171, 10178
	Technics	10556
	Telefunken	10074
	Thomas	11904
	Thomson	10625
	Toshiba	11971
W	White Westinghouse	11909
Z	Zenith	11904, 11909, 11911

TV/VCR Combination ※2

	Brand	Code
A	Aiwa	20000, 20352, 20479, 20742, 21137
	Akai	20352
	Alba	20352
	America Action	20278
	Amstrad	20000
	Audiovox	20278
B	Beko	20104
	Bestar	20278
	Blue Sky	20278, 20352, 20742
	BPL	20046
	Broksonic	20002, 20479, 21479
	Bush	20352, 20742
C	Citizen	20278, 21278
	Curtis Mathes	20035, 21035
D	Daewoo	20278, 20637, 21278
	Dantax	20352
E	Emerson	20002, 20278, 20479, 20637, 21278, 21479
F	Ferguson	20000, 20278
	Fidelity	20000
	Firstline	20278
	Funai	20000
G	GE	20035, 20048, 20060, 20240, 20807, 21035, 21060
	GoldStar	20037, 20480, 21237
	Goodmans	20278, 20352, 20637
	Grandin	20278, 20742
	Grundig	20081, 20352, 20742
H	Hanimex	20352
	Harley Davidson	20000
	Hinari	20352
	Hitachi	20000
	Hypson	20037
I	Internal	20278, 20637
J	JBL	20278
	JMB	20352
K	Kambrook	20037
	Kneissel	20278, 20352
L	LG	20037, 20480, 21237
	Lloyd's	20000
	Loewe	20037
M	Magnasonic	20278, 21278
	Magnavox	20000, 20081, 21781
	Magnin	20240
	Matsui	20352, 20742
	Medion	20352
	Memorex	20037, 20162, 21162, 21237, 21262
	MGA	20240
	Mitsubishi	20043, 20048, 20081, 20807
O	Optimus	20162, 21162, 21262
	Orion	20002, 20352, 20479, 20742, 21479
P	Pace	20352
	Pacific	20742
	Palsonic	20000
	Panasonic	20035, 20162, 21035, 21162, 21262
	Penney	20035, 20037, 20240, 21035, 21237
	Philips	20081
	Portland	20637
Q	Quasar	20035, 20162, 21035, 21162
R	Radiola	20081
	RadioShack	20000
	RCA	20035, 20048, 20060, 20240, 20807, 21035, 21060
S	Saba	20320
	Samsung	20240, 20432, 21014
	Sansui	20000, 20479, 21479
	Sanyo	20240
	Saville	20352
	Schneider	20000, 20081
	Sears	20000, 20037, 21237
	SEG	20637
	Sharp	20037, 20048, 20807
	Shivaki	20037
	Siemens	20081
	Sinudyne	20352
	Sony	20000, 20032, 21232
	Supra	20348
	Sylvania	20081, 21781
	Symphonic	20000
T	Tatung	20352
	Teac	20000, 20037, 20637, 20642
	Technics	20081
	Technosonic	20352
	Telefunken	20278
	Thomas	20000
	Thomson	20278

	Brand	Code
	Toshiba	20352, 20432, 20845, 21145
U	United	20742
W	White Westinghouse	20278, 20637
Z	Zenith	20000, 20479, 20637, 21479

TV/VCR/DVD Combination ※1

	Brand	Code
A	Akai	11903
B	Broksonic	11938
E	Emerson	11944
	ESA	11944
M	Magnavox	11944
P	Panasonic	11946, 11947
R	RCA	11953
S	Sharp	11917
	Sylvania	11944
	Symphonic	11944
T	Toshiba	11945

TV/VCR/DVD Combination ※2

	Brand	Code
S	Sharp	20807

TV/VCR/DVD Combination ※3

	Brand	Code
A	Akai	30899
E	Emerson	30821
	ESA	30821
M	Magnavox	30821
P	Panasonic	31362, 31462
R	RCA	31132
S	Sharp	30630
	Superscan	30821
	Sylvania	30821
	Symphonic	30821
T	Toshiba	31045

VCR ※2

	Brand	Code
A	A-Mark	20000, 20037, 20046, 20240, 20278
	ABS	21972
	Accurian	20000
	Admiral	20039, 20047, 20048, 20060, 20104, 20121, 20209, 20479
	Adventura	20000, 20037, 20240
	Aiko	20278
	Aim	20278, 20348, 20642
	Aiwa	20000, 20032, 20037, 20041, 20209, 20348, 20352, 20479, 20742, 21137
	Akai	20037, 20041, 20106, 20240, 20315, 20348, 20352, 20642
	Akura	20041
	Alba	20000, 20081, 20209, 20278, 20315, 20348, 20352
	Alienware	21972
	Allegro	20039, 21137
	Allorgan	20240
	Allstar	20081
	America Action	20278
	American High	20035, 20081
	Amoisonic	20479
	Amstrad	20000, 20278
	Anam	20037, 20162, 20226, 20240, 20278, 20480
	Anam National	20162, 20226, 21162, 21562
	Ansonic	20000
	Aristona	20081
	ASA	20037, 20081
	Asha	20240
	Astra	20035, 20240
	Asuka	20000, 20037, 20081
	Audiolab	20081
	Audiosonic	20278
	Audiovox	20037, 20278
	Avis	20000
	AVP	20000, 20352
	Awa	20037, 20043, 20278, 20642
B	Baird	20000, 20041, 20046, 20104, 20106, 20278
	Basic Line	20046, 20104, 20278
	Beaumark	20240
	Beko	20104
	Bell & Howell	20000, 20035, 20039, 20046, 20048, 20104, 20479,
	Bestar	20278
	Black Diamond	20642
	Black Panther	20278
	Blaupunkt	20081, 20162, 20226
	Blue Sky	20037, 20209, 20278, 20348, 20352, 20480, 20642, 20742, 21137
	BPL	20046
	Brandt	20041, 20320
	Brandt Electronique	20041
	Brinkmann	20209, 20348
	Broksonic	20002, 20121, 20184, 20209, 20348, 20479, 21479
	Bush	20000, 20081, 20209, 20278, 20315, 20348, 20352, 20642, 20742
C	Calix	20037
	Candle	20037
	Canon	20035
	Capehart	20002
	Carena	20081, 20209
	Carrefour	20045
	Carrera	20240
	Carver	20035, 20081
	Casio	20000
	Cathay	20278
	CCE	20278
	CGE	20000, 20041
	Changhong	20048, 20081
	Cimline	20209
	Cineral	20278
	CineVision	21137
	Citizen	20000, 20035, 20037, 20209, 20240, 20278, 20479, 21278
	Classic	20037
	Clatronic	20000, 21593
	Colortyme	20035, 20045, 20060, 20278
	Colt	20000
	Combitech	20352
	Condor	20278
	Craig	20037, 20047, 20240
	Criterion	20000
	Crosley	20000, 20035, 20081
	Crown	20037, 20278, 20480
	Curtis Mathes	20000, 20035, 20041, 20060, 20162, 20240, 20278, 20432, 21035
	Cybernex	20240
	CyberPower	21972
	Cyrus	20081
D	Daewoo	20037, 20045, 20046, 20104, 20209, 20278, 20352, 20637, 20642, 21137, 21278
	Dansai	20278
	Dantax	20352
	Daytron	20037, 20278
	De Graaf	20042, 20046, 20048, 20081, 20104
	Decca	20000, 20041, 20067, 20081, 20209, 20352
	Degraff	20042, 20048, 20081, 20104
	Deitron	20278
	Dell	21972
	Denon	200842, 20081
	Derwent	20041
	Diamant	20037
	Diamond	20348
	Digitor	20642
	DirecTV	20739
	Domland	20209
	DSE	20642
	Dual	20000, 20041, 20081, 20278, 20348
	Dumont	20000, 20081, 20104
	Durabrand	20039, 20642, 21593
	Dynatech	20000, 20240
E	Elbe	20278
	Electrohome	20000, 20037, 20043, 20060, 20209, 20240
	Electrophonic	20037
	Elin	20240
	Elta	20278
	Emerald	20121, 20184
	Emerex	20032
	Emerson	20000, 20002, 20035, 20037, 20039, 20043, 20045, 20121, 20184, 20209, 20240, 20278, 20348, 20479, 20637, 21278, 21479, 21593
	ESA	21137
	ESC	20240, 20278
	EuroLine	21593
F	Ferguson	20000, 20041, 20278, 20320, 20348
	Fidelity	20000, 20240, 20352, 20432
	Finlandia	20000, 20037, 20042, 20043, 20046, 20048, 20081, 20104, 20106, 20226
	Finlux	20000, 20042, 20081, 20104
	Firstline	20037, 20042, 20043, 20045, 20209, 20278, 20348, 20480, 21137
	Fisher	20000, 20039, 20046, 20047, 20104
	Flint	20209, 20348
	Fuji	20033, 20035
	Fujitsu	20000, 20037, 20045
	Fujitsu General	20037
	Funai	20000, 20037, 20278, 21593
G	Galaxi	20000
	Galaxis	20278
	Garrard	20000
	Gateway	21972
	GE	20000, 20035, 20048, 20060, 20226, 20240, 20320, 20807, 21035, 21060
	GEC	20081
	Gemini	20060
	General	20045
	General Technic	20348
	Genexxa	20000, 20037, 20104, 20278
	Go Video	20240, 20432, 20614, 21137
	GoldStar	20000, 20035, 20037, 20039, 20209, 20225, 20226, 20278, 20480, 21137, 21237
	Goodmans	20000, 20037, 20081, 20209, 20240, 20278, 20348, 20352, 20637, 20642, 20742
	GPX	20037
	Gradiente	20000
	Graetz	20041, 20104, 20240
	Granada	20000, 20035, 20037, 20042, 20046, 20048, 20081, 20104, 20226, 20240
	Grandin	20000, 20037, 20209, 20278, 20742
	Grundig	20081, 20226, 20320, 20348, 20352, 20742
H	Haaz	20348
	Hanimex	20352
	Hanseatic	20037, 20081, 20209
	Haojie	20240
	Harley Davidson	20000
	Harman/Kardon	20081
	Headquarter	20046
	Hewlett Packard	21972
	HI-Q	20000, 20035, 20047
	Hinari	20041, 20209, 20240, 20278, 20352
	Hisawa	20209, 20352
	Hischito	20045
	Hitachi	20000, 20035, 20037, 20041, 20042, 20045, 20046, 20081, 20089, 20240
	Hoeher	20278, 20642
	Hornyphon	20081
	Howard Computers	21972
	HP	21972
	Hughes Network Systems	20042, 20739
	Humax	20739
	Hush	21972
	Hypson	20000, 20037, 20209, 20278, 20352, 20480
	Hytek	20000, 20047
I	iBUYPOWER	21972
	Imperial	20000
	Ingersol	20209, 20240
	Instant Replay	20035, 20226
	Interbuy	20037
	Interfunk	20081, 20104
	Internal	20278, 20637
	International	20037, 20278, 20642
	Intervision	20000, 20037, 20209, 20278, 20348
	Irradio	20037, 20081, 21137
	ITT	20041, 20046, 20104, 20106, 20240
	ITT Nokia	20041, 20104, 20106, 20240
	ITV	20037, 20278
J	Janeil	20240
	JBL	20278
	Jensen	20041, 20067
	JMB	20209, 20348, 20352, 20742
	Joyce	20000
	JVC	20041, 20045, 20067, 20081, 20184, 21162
K	Kambrook	20037
	Karcher	20081, 20278, 20642
	KEC	20037, 20278
	Kendo	20037, 20106, 20209, 20278, 20315, 20348, 20642
	Kenwood	20041, 20046, 20067
	KIC	20000
	Kimari	20047
	Kneissel	20037, 20209, 20278, 20348, 20352

	Brand	Code
	Kodak	20035, 20037
	Kolin	20041, 20043
	Kolster	20209
	KTV	20000
	Kuba	20047
	Kuba Electronic	20047
L	Lenco	20278
	LG	20000, 20037, 20042, 20045, 20209, 20225, 20240, 20278, 20480, 21137, 21237
	Lifetec	20209, 20348
	Linksys	21972
	Lloyd's	20000, 20240
	Loewe	20037, 20081, 20162, 21062, 21262, 21562
	Logik	20000, 20106, 20209, 20240
	Lumatron	20278, 21137
	Lunatron	21137
	Luxor	20043, 20046, 20047, 20048, 20104, 20106, 20315
	LXI	20000, 20037, 20042, 20067
M	M Electronic	20000, 20037, 20240
	Magnadyne	20081
	Magnasonic	20000, 20037, 20240, 20278, 21278
	Magnavox	20000, 20035, 20037, 20039, 20048, 20081, 10226, 20240, 20618, 20642, 24593, 21781
	Magnin	20240
	Magnum	20642
	Manesth	20045, 20081, 20209
	Marantz	20035, 20081, 20209
	Mark	20000, 20278
	Marta	20037
	Mastec	20642
	Master's	20278
	Matsui	20037, 20209, 20240, 20278, 20348, 20352, 20742
	Matsushita	20035, 20081, 20162, 20226, 21162
	Media Center PC	21972
	Mediator	20081
	Medion	20209, 20348, 20352, 20642
	MEI	20035
	Memorex	20000, 20035, 20037, 20039, 20046, 20047, 20048, 20104, 20162, 20209, 20240, 20278, 20348, 20479, 21162, 21237, 21262
	Metronic	20081
	Metz	20037, 20081, 20162, 20226, 20836, 21062, 21162, 21262, 21562
	MGA	20043, 20060, 20240
	MGN Technology	20240
	Micormay	20348
	Micromaxx	20209
	Microsoft	21972
	Midland	20240
	Migros	20000
	Mind	21972
	Minolta	20042
	Mitsubishi	20000, 20041, 20042, 20043, 20047, 20048, 20060, 20067, 20081, 20480, 20642, 20807
	Motorola	20035, 20048
	MTC	20000, 20240
	MTX	20000
	Multitec	20037
	Multitech	20000, 20039
	Murphy	20000
	Myryad	20081
N	NAD	20104, 20240
	Naiko	20348, 20642
	NAP	20039
	National	20226
	Nebula Electronics	20033
	NEC	20035, 20037, 20041, 20048, 20067, 20104, 20278, 21137,
	Neckermann	20041, 20081
	Nesco	20000
	Neufunk	20209
	Newave	20037
	Nikkai	20278
	Nikko	20037, 20278
	Nikkodo	20037, 20278
	Nishi	20240
	Niveus Media	21972
	Noblex	20240
	Nokia	20041, 20042, 20046, 20048, 20081, 20104, 20106, 20240, 20278, 20315
	Nordmende	20041, 20067, 20320
	Northgate	21972
	Nu-Tec	20209
O	Oceanic	20000, 20041, 20046, 20048, 20081, 20104, 20106,
	Okano	20209, 20278, 20315, 20348
	Olympus	20035, 20104, 20162, 20226
	Onimax	20642
	Onkyo	20222
	Optimus	20000, 20035, 20037, 20047, 20048, 20104, 20162, 20240, 20432, 21062, 21162, 21262
	Orion	20000, 20002, 20104, 20121, 20184, 20209, 20240, 20278, 20348, 20352, 20479, 20742, 21479
	Orson	20000
	Osaki	20000, 20037
	Otake	20209
	Otto Versand	20081
P	Pace	20352
	Pacific	20000, 20348, 20642, 20742
	Packard Bell	21972
	Palladium	20037, 20041, 20209, 20348
	Palsonic	20000, 20642
	Panama	20035
	Panasonic	20000, 20035, 20162, 20225, 20226, 20614, 20616, 20836, 21035, 21062, 21162, 21262, 21562
	Pathe Cinema	20043
	Pathe Marconi	20041
	Penney	20000, 20035, 20037, 20042, 20047, 20067, 20081, 20162, 20240, 21035, 21237
	Pentax	20042
	Perdio	20000, 20209
	Philco	20000, 20035, 20081, 20209, 20226, 20479
	Philips	20000, 20035, 20045, 20048, 20081, 20162, 20209, 20226, 20616, 20618, 20739, 21081, 21181
	Phoenix	20278
	Phonola	20081
	Pilot	20037
	Pioneer	20042, 20067, 20081, 20162
	Polk Audio	20081
	Portland	20278, 20637
	Presidian	21593
	Prinz	20000
	Profitronic	20081, 20240
	Proline	20000, 20278, 20320, 20642
	Proscan	20060, 21060
	Prosco	20278
	Prosonic	20209, 20278
	Protec	20000
	Protech	20081
	ProVision	20278
	Pulsar	20039, 20240, 20278
	Pulser	20240
	Pye	20000, 20081
Q	Qisheng	20060
	Quarter	20046
	Quartz	20035, 20046, 20047
	Quasar	20002, 20035, 20162, 20226, 20278, 21035, 21162
	Quelle	20081
R	Radialva	20037, 20048, 20081
	Radiola	20081
	Radionette	20037, 21137
	RadioShack	20000, 20035, 20037, 20046, 20047, 20048, 20104, 20162, 20240, 21162
	Radix	20037
	Randex	20037
	Rank	20041
	Rank Arena	20041
	RCA	20000, 20035, 20042, 20045, 20048, 20060, 20106, 20226, 20240, 20320, 20807, 20880, 21035, 21060
	Realistic	20000, 20035, 20037, 20046, 20047, 20048, 20104, 20121, 20162, 20240, 20278, 21162
	Reoc	20348
	ReplayTV	20614, 20616
	Rex	20041
	Ricavision	21972
	Rio	21137
	Roadstar	20037, 20081, 20240, 20278, 20742
	Runco	20039
S	Saba	20041, 20278, 20320
	Saisho	20209, 20348
	Salora	20043, 20046, 20104, 20106
	Sampo	20037, 20048
	Samsung	20000, 20045, 20060, 20240, 20432, 20739, 21014
	Samtron	20240
	Sanky	20039, 20048
	Sansei	20048
	Sansui	20000, 20002, 20041, 20067, 20106, 20209, 20240, 20348, 20479, 21479
	Sanyo	20000, 20046, 20047, 20048, 20067, 20104, 20240, 20348, 20479, 21137
	Saville	20240, 20278, 20352
	SBR	20081
	ScanSonic	20240
	Schaub Lorenz	20000, 20041, 20104, 20106, 20315, 20348
	Schneider	20000, 20037, 20042, 20081, 20240, 20278, 20348, 20352, 20642, 21137
	Scott	20043, 20045, 20121, 20184
	Sears	20000, 20033, 20035, 20037, 20039, 20041, 20042, 20043, 20045, 20046, 20047, 20048, 20060, 20067, 20104, 20162, 20209, 21237
	Seaway	20278
	SEG	20081, 20240, 20278, 20637, 20642
	SEI	20081
	Sei-Sinudyne	20081
	Seleco	20037, 20041
	Semp	20045
	Sentra	20278
	Sharp	20000, 20032, 20037, 20047, 20048, 20209, 20807
	Shinco	20000
	Shintom	20000, 20039, 20104, 20240
	Shivaki	20037
	Shogun	20240
	Siemens	20037, 20046, 20081, 20104, 20320
	Siera	20081
	Signature	20000, 20035, 20037, 20046, 20048, 20060, 20479
	Silva	20037
	Silver	20278
	SilverCrest	20642
	Singer	20037, 20045, 20240, 20348
	Sinudyne	20081, 20209, 20352
	Smaragd	20348
	Sonic Blue	20614, 20616, 21137
	Sonographe	20046
	Sonolor	20046, 20048
	Sontec	20037, 20278
	Sonwa	20642
	Sony	20000, 20032, 20033, 20035, 20046, 20047, 20048, 20067, 20106, 20226, 20636, 21232, 21972
	Soundmaster	20000
	Soundwave	20037, 20209, 20348
	Stack 9	21972
	Standard	20278
	Stern	20278
	STS	20042
	Sunkai	20209, 20278, 20348
	Sunstar	20000
	Suntronic	20000
	Supra	20037, 20278, 20348
	Susumu	20037
	SV2000	20000
	SVA	20000
	Sylvania	20000, 20035, 20043, 20081, 21593, 21781
	Symphonic	20000, 20002, 20240, 21593
	Systemax	21972
T	T+A	20162
	Tagar Systems	21972
	Taisho	20209
	Tandberg	20278
	Tandy	20000, 20104
	Tashiko	20000, 20037, 20048, 20081, 20240
	Tatung	20000, 20041, 20043, 20045, 20048, 20067, 20081, 20209, 20348, 20352
	Tchibo	20348
	TCM	20348
	Teac	20000, 20037, 20041, 20067, 20278, 20637, 20642, 21593
	Technics	20000, 20035, 20037, 20081, 20162, 20226, 21162
	TechniSat	20348
	Technosonic	20352
	Teco	20035, 20037, 20041, 20048
	Tedelex	20037, 20209, 20348, 20642
	Teknika	20000, 20035, 20037
	Teleavia	20041

	Brand	Code
	Telecorder	20240
	Telefunken	20041, 20209, 20278, 20320, 20642
	Telerent	20226
	Telestar	20037
	Teletech	20000, 20278
	Tensai	20000, 20037, 20278
	Tevion	20209, 20348, 20479, 20642
	Texet	20278
	Thomas	20000, 20002
	Thomson	20041, 20060, 20067, 20278, 20320,
	Thorn	20037, 20041, 20104, 20320
	Tisonic	20278
	Tivo	20618, 20636, 20739, 21996
	TMK	20000, 20240
	TNIX	20037
	Tocom	20240
	Tokai	20037, 20041, 20104
	Topline	20348
	Toshiba	20000, 20041, 20042, 20043, 20045, 20067, 20081, 20209, 20240, 20352, 20432, 20742, 20845, 21008, 21145, 21972, 21996
	Tosonic	20278
	Totevision	20037, 20240
	Touch	21972
	Toyoda	20278
	Tradex	20081
	Triad	20278
	Trix	20037
U	Uher	20240
	Ultra	20045, 20278
	Ultravox	20278
	Unitech	20240
	United	20348, 20742, 21593
	Universum	20000, 20037, 20081, 20104, 20106, 20209, 20240, 20348, 21137
V	Vector	20045
	Vector Research	20184
	Victor	20041, 20067
	Video Concepts	20045
	Video Technic	20000
	Videomagic	20037
	Videosonic	20000, 20240
	Viewsonic	21972
	Villain	20000
	Voodoo	21972
W	Wards	20000, 20033, 20035, 20037, 20039, 20041, 20042, 20043, 20045, 20046, 20047, 20048, 20060, 20081, 20240, 20479
	Watson	20081, 20352, 20642
	Weltblick	20037
	Wharfedale	20642
	White Westinghouse	20000, 20209, 20278, 20479, 20637
	World	20002, 20209, 20348, 20479
X	XR-1000	20000, 20035, 20240
Y	Yamaha	20041
	Yamishi	20278
	Yoko	20037, 20240
Z	Zenith	20000, 20033, 20037, 20039, 20041, 20209, 20278, 20479, 20637, 21137, 21479
	ZT Group	21972
	ZX	20209, 20348, 20352

PVR ※2

	Brand	Code
A	ABS	21972
	Alienware	21972
C	CyberPower	21972
D	Dell	21972
	DirecTV	20739
G	Gateway	21972
	Go Video	20614
H	Hewlett Packard	21972
	Howard Computers	21972
	HP	21972
	Hughes Network Systems	20739
	Humax	20739
	Hush	21972
I	iBUYPOWER	21972
L	Linksys	21972
M	Media Center PC	21972
	Microsoft	21972
	Mind	21972
N	Niveus Media	21972
	Northgate	21972
P	Panasonic	20614, 20616
	Philips	20618, 20739
R	RCA	20880
	ReplayTV	20614, 20616
S	Samsung	20739
	Sonic Blue	20614, 20616
	Sony	20636, 21972
	Stack 9	21972
	Systemax	21972
T	Tagar Systems	21972
	Tivo	20618, 20636, 20739
	Toshiba	21008, 21972, 21996
	Touch	21972
V	Viewsonic	21972
	Voodoo	21972
Z	ZT Group	21972

DVD ※3

	Brand	Code
1	3D LAB	30503, 30539
	4Kus	31158
A	A-Trend	30714
	Accurian	30675
	Acoustic Solutions	30713, 30730, 31228
	AEG	30770, 30788, 30790, 31233, 31923
	AFK	31051, 31152, 31923
	Aim	30672, 30699, 30833
	Airis	30672, 31005, 31224, 31250, 31321, 31345
	Aiwa	30533, 30641
	Akai	30690, 30695, 30705, 30770, 30788, 30790, 30839, 30884, 30898, 30899, 31115, 31205, 31233, 31695
	Akashi	30838
	AKI	31005
	Akira	30699, 31321
	Akura	30898, 31051, 31140, 31233, 31367
	Alba	30539, 30672, 30695, 30699, 30713, 30717, 30730, 30783, 30884, 31140, 31530, 31695
	Alco	30790
	Alize	31151
	All-Tel	31451
	Allegro	30869
	Altacom	31224
	Amitech	30770, 30850
	Amoi	30852
	Amphion Media Works	30872
	Amstrad	30713, 30770, 31151, 31367
	AMW	30872
	Anam	31913
	Ansonic	30759, 30774, 30831
	Apex Digital	30533, 30672, 30717, 30755, 30794, 30796, 30797, 30830, 31004, 31020, 31056, 31061
	Arena	31115
	Aristona	30539, 30646
	Arrgo	31023
	ASCOMTEC	31923
	Asono	31224
	Aspire Digital	31168
	Atacom	31224
	Audiosonic	30690, 31923
	Audiovox	30717, 30790
	Audioworld	30790
	Autovox	30713
	Auvio	30843
	Awa	30730, 30872
	Axion	30730
B	Base	31451
	Basic Line	30713
	Baze	30898
	BBK	30862, 31224
	Beep	31163
	Bellagio	31004
	Belson	31086, 31923
	Binatone	31923
	Black Diamond	30713, 30833, 30884
	Blaupunkt	30717
	Blu:sens	31233, 31321
	Blue Nova International	31321
	Blue Parade	30571
	Blue Sky	30651, 60672, 30695, 30699, 30713, 30790, 30843, 30884, 31423
	Boghe	31004
	Boman	30783, 30898, 31005
	Brainwave	30770, 31115
	Brandt	30503, 30551, 30651
	Broksonic	30695
	Bush	30672, 30690, 30699, 30713, 30717, 30723, 30730, 30831, 30833, 30884, 31051, 31140, 31367, 31483, 31695, 31832
	Byd:sign	30872
C	C-Tech	30798, 31152
	California Audio Labs	30490
	Cambridge Audio	30751, 31109
	Cambridge Soundworks	30690
	Campomatic Digital	31051
	Cat	30699, 30789, 31421, 31923
	CCE	30730
	Celestial	31020
	cello	31730
	Centrex	30672, 31004
	Centrum	30713, 30789, 31005, 31227, 31923
	CGV	30751, 31115
	Changhong	30627, 31061
	Cinea	30831, 30841
	Cinetec	30713, 30872
	cineULTRA	30699
	CineVision	30833, 30869, 31483
	Citizen	30695
	Clairtone	30571
	Classic	30730, 31730
	Clatronic	30672, 30675, 30788, 31233
	Clayton	30713
	Coby	30730, 30852, 31086, 31321, 31923
	Codex	31233
	Commax	31321
	Conia	30672, 30852, 31321
	Contel	30788
	Continental Edison	30831, 30872
	Craig	30831
	Creative	30503, 30539
	Crown	30690, 30713, 30770, 31115
	Crypto	31228
	Curtis Mathes	31087
	Cybercom	30831
	CyberHome	30714, 30816, 30874, 31023, 31024, 31117, 31129, 31502
	Cytron	30651, 30705, 30774, 31347
D	D-Vision	31115, 31367
	Daenyx	30872
	Daewoo	30490, 30705, 30714, 30770, 30833, 30869, 30872, 31172, 31483, 31906
	Dalton	31036
	Dansai	30770, 30783, 31115, 31695
	Dantax	30539, 30713, 30723, 30790
	Daytek	30872, 31005
	Dayton	30872
	DCE	30831
	Decca	30770, 31115
	Denon	30490, 30634, 31634, **[32134]***
	Denver	30672, 30699, 30788, 30898, 31056, 31104, 31321, 31923
	Desay	30843, 31212
	Dgtec	30672
	Diamond	30651, 30751, 30768, 30790
	Digihome	30713
	DigiLogic	30713
	digiRED	30717
	Digitech	31832
	Digitor	30651, 30690, 30833, 31005, 31423
	Digitrex	30672, 31004, 31056
	DiK	30831
	Dinamic	30788
	Disney	30675, 30831, 31270
	DiViDo	30705
	DK Digital	30831
	DMTech	30783, 31271
	Dragon	30831
	DreamX	31151
	DSE	30833, 31152, 31730
	Dual	30651, 30675, 30713, 30730, 30783, 30790, 30831, 31023, 31530
	Durabrand	30675, 30713, 30831, 31023, 31502
	DVD2000	30521
	DVX	30768
E	E:max	31233, 31321
	EagleTec	30714
	eBench	31152
	ECC	30730

	Brand	Code
	Eclipse	30723, 30751
	Elfunk	30713, 30850, 30884
	Elin	30770
	Elite	31152
	Ellion	30850, 31421
	Elta	30672, 30690, 30770, 30788, 30850, 31051, 31115, 31151, 31233
	Eltax	31233, 31321
	Emerson	30591, 30675, 30705, 30821, 31268
	Enterprise	30591
	Entivo	30503, 30539
	Enzer	30770, 31228
	ESA	30821, 31268
	EuroLine	30675, 30788, 31115, 31233
F	Fenner	30651
	Ferguson	30651, 30695, 30713, 30884, 30898, 31695, 31730
	Finlux	30591, 30672, 30741, 30751, 30770, 30783
	Fintec	31530
	Firstline	30651, 30713, 30843, 30869, 31530
	Fisher	30670
	Funai	30675, 30695, 31268
	Fusion	30862
G	Gateway	31158
	GE	30522, 30717, 30815
	General Electric	30717
	Germatic	31051
	Global Link	31224
	Global Solutions	30768
	Global Sphere	31152
	Go Video	30573, 30715, 30717, 30741, 30744, 30783, 30833, 30869, 31044, 31075, 31099, 31158, 31483, 31730
	GoldStar	30591, 30741, 30869
	Goodmans	30651, 30690, 30713, 30723, 30730, 30783, 30790, 30833, 31004, 31140, 31423, 31530, 31730, 31923
	GP Audio	31140
	GPX	30699, 30741
	Gradiente	30490, 30651
	Graetz	30665
	Gran Prix	30831, 30898
	Grandin	30713, 31233
	Greenhill	30717
	Grundig	30539, 30551, 30651, 30670, 30686, 30695, 30705, 30713, 30775, 30790, 31004, 31036, 31695, 31730, 31832, 31920
	Grunkel	30770, 30790, 30831
H	H & B	30713, 30841, 30850, 31233, 31421
	Haaz	30751, 31152
	Haier	30843
	Hanseatic	30741, 30783, 30790
	Harman/Kardon	30582, 30702
	HCM	30788
	HDT	30705
	HE	30730, 31163, 31923
	Helios	32192
	Hello Kitty	30831
	Henss	30713
	HiMAX	30843
	Hitachi	30573, 30664, 30713, 30884, 31247, 31920
	Hiteker	30672, 31923
	Hoeher	30651, 30713, 30831, 31004, 31224
	Home Electronics	30730, 30770
	Home Tech Industries	31224
	HotMedia	31152
	Humax	30646
	Hyundai	30783, 30850, 31061, 31228
I	iLo	31348
	Ingelen	30788
	Ingersol	31023
	Initial	30717, 30839
	Inno Hit	30713
	Insignia	31268
	Integra	30571, 30627, 31634, 31769
	Irradio	30869, 31115, 31224, 31233
	IRT	30783
	ISP	30695
J	Jamo	31036
	JBL	30702
	JDB	30730
	JDV	31367
	Jeken	30699
	Jepssen	31250
	JMB	30695
	JNC	30672, 31271
	JSI	31423
	JVC	30503, 30539, 30558, 30623, 30867, 31597, 31860
	jWin	31051
K	Kansas Technologies	31233, 31530
	Karcher	30783
	Kawasaki	30790
	Kendo	30672, 30699, 30713, 30831
	Kennex	30713, 30770, 30898
	Kenwood	30490, 30534
	Kiiro	30770
	Kiss	30841, 31523
	KLH	30717, 30790, 30815, 31020
	Kloss	30533
	Koda	31230
	Konka	31192
	Koss	30651, 31061, 31423
	Kreisen	31421
	KXD	31321, 31923
L	Lasonic	30627, 30789, 30798
	Lawson	30768
	Lecson	31533
	Leiker	30872
	Lenco	30651, 30699, 30713, 30770, 30774
	Lenoir	31228
	Lenoxx	30690, 30838
	Lexia	30699, 30768
	LG	30591, 30741, 30790, 30869, 31906
	Lifetec	30651, 30831, 31347
	Limit	30768, 31104
	LiteOn	31058, 31158
	Lodos	30713
	Loewe	30511, 30539, 30741, 30885
	Logik	30713, 30884
	Logix	30705, 30783
	Luker	31367
	Lumatron	30695, 30705, 30713, 30741, 30833, 31115, 31321, 31832
	Lunatron	30741
	Luxman	30573
	Luxor	30713, 30717, 31004, 31695, 31730
M	Magnasonic	30651, 30675
	Magnat	31923
	Magnavox	30503, 30539, 30646, 30675, 30713, 30821, 30885, 31140, 31268
	Magnex	30723
	Majestic	31345
	Manhattan	30705, 30713
	Marantz	30503, 30539, 30675
	Mark	30713
	Marquant	30770
	Matsui	30651, 30672, 30695, 30713, 30884, 31004, 31695, 31730
	Maxdorf	30788
	Maxent	31347
	Maxim	30713, 30872, 31367
	Maya	31345
	MBO	30690, 30730, 31730
	McIntosh	31533
	MDS	30713
	Mecotek	30770
	Medion	30630, 30651, 30774, 30783, 30831, 31006, 31270, 31345, 31347, 31423
	MEI	30790
	Memorex	30695, 30831, 31270
	Metronic	30690
	Metz	30525, 30571, 30713
	MiCO	30723, 30751, 31223
	Micromaxx	30695, 31695
	Micromedia	30503, 30539
	Micromega	30539, 31005
	Microsoft	30522, 32083
	Microstar	30831
	Minato	30752
	Minax	30713
	Minerva	30705
	Minoka	30770, 31115
	Mintek	30717, 30839
	Mirror	30752
	Mitsubishi	30521, 30713, 31403, 31521
	Mizuda	30770, 31451
	MPX	30843
	Mustek	30730, 31730
	Mx Onda	30651, 30751, 31223
	Mystral	30831
N	NAD	30741
	Naiko	30770, 31004, 31367
	Narita	31367
	NEC	30741, 30869
	Neovia	31271
	Nesa	30717
	Nevir	30770, 30831, 31197
	NexxTech	31402
	Nikkai	31923
	Nintaus	31051, 31202
	Niro	32024
	Norcent	30872, 31923
	Nordmende	30774, 30831
	Noriko	30752
	Nova	31923
	Nowa	30843
	Nu-Tec	31228
O	Okano	30752
	Olidata	30672
	Omni	30690, 30833, 30838, 30862, 31104, 31832
	Onix	30838
	Onkyo	30503, 30627, 31769
	Oopla	31158
	Oppo	31224
	Optim	30843
	Optimus	30525, 30571
	Orbit	30872
	Orion	30695, 31233, 31695
	Oritron	30651
	Ormond	30713
P	P&B	31451
	Pacific	30695, 30713, 30759, 30768, 30790, 30831
	Packard Bell	30831, 31321
	Palladium	30695, 30713, 31906, 31920
	Palsonic	30672, 30852, 31056, 31321
	Panasonic	30490, 30503, 30571, 30703, 31362, 31462, 31490, 31579, 31641, 31762, 31834, 31905, 31908
	Panda	30717, 30789, 31203
	peeKTon	30898, 31224
	Philco	30675, 30690, 30862
	Philips	30503, 30539, 30646, 30675, 30854, 30885, 31158, 31260, 31267, 31340, 31354, 32084
	Philo	31345
	Phonotrend	30699
	PianoDisc	31024
	Pioneer	30142, 30490, 30525, 30571, 30631, 31965
	Plu2	30850
	Polaroid	31020, 31061, 31086
	Polk Audio	30539
	Portland	30770
	Powerpoint	30872, 31005
	Presidian	30675
	Prima	31228
	Prinz	30831
	Prism	30705, 30831
	Pro2	31345
	ProCaster	31004
	Proceed	30672
	Proline	30651, 30672, 30686, 30833, 31004, 31483
	Proscan	30522
	Proson	30713
	Prosonic	30699, 30752
	ProVision	30699, 30730, 31163, 31321, 31923
	Pye	30539, 30646
Q	QONIX	31051
	Qwestar	30651
R	Radionette	30741, 30869, 31906, 32024
	RadioShack	30571
	RCA	30522, 30571, 30717, 30790, 30822, 31022, 31132, 31769, 31913, 31965
	Realistic	30571
	REC	30490
	Redstar	30759, 30763, 30770, 30788, 30898, 31345, 31923
	Relisys	31347
	Reoc	30752, 30768
	Revoy	30699, 30841
	Rex	30838
	Richmond	31233
	Rio	30869

	Brand	Code
	Roadstar	30672, 30690, 30699, 30713, 30730, 30833, 30898, 31051, 31227
	Rocksonic	30789
	Ronin	30872
	Rotel	30558, 30623
	Rowa	30717, 30759, 30872, 31004
	Rownsonic	30789
S	Saba	30551, 30651
	Sabaki	30798
	Saivod	30759, 30831, 31367
	Salora	30741
	Sampo	30752, 31321, 31347
	Samsung	30199, 30490, 30573, 30744, 30820, 30899, 31044, 31075, 31635, 31932
	Sansui	30695, 30751, 30763, 30768, 31051, 31228, 31230, 31695, 31832
	Sanyo	30670, 30675, 30695, 30713, 30873, 31228
	Scan	30705, 30850
	ScanMagic	30730, 31730
	ScanSonic	31695
	Schaub Lorenz	30770, 30788, 31115, 31151
	Schneider	30539, 30646, 30651, 30705, 30713, 30774, 30783, 30788, 30790, 30831, 30869, 31367
	Schoentech	30713
	Schwaiger	30752
	Scientific Labs	30768
	Scott	30651, 30672, 31005, 31036, 31233, 31423, 31923
	Seeltech	31224, 31451
	SEG	30713, 30763, 30798, 30872, 30884, 31483, 31530
	Sensory Science	31158
	Shanghai	30672
	Sharp	30630, 30675, 30713, 30752, 31256, 32015, 32024, 32250
	Sharper Image	31117
	Sherwood	30717, 30741, 30770
	Shinco	30717
	Shinsonic	30533, 30839
	Siemssen	31382
	Sigmatek	31005, 31224
	Siltex	31224
	Silva	30788, 30898
	Silva Schneider	30831, 30898
	SilverCrest	31152
	Simaudio	30885
	Singer	30690, 30751, 30768
	Sistemas	30672
	Skantic	30539, 30713
	Skymaster	30730, 30768
	Skyworth	30898
	Sliding	31115
	SM Electronic	30690, 30730, 30768, 31152
	Smart	30705, 30713
	Sonai	30755
	Sonashi	30831
	Sonic Blue	30573, 30715, 30783, 30869, 31099
	Sony	30533, 30573, 30630, 30772, 30864, 31033, 31070, 31431, 31433, 31516, 31533, 31536, 31633, 31981, 32043
	Sound Color	31233
	Soundmaster	30768
	Soundmax	30768
	Soundwave	30783
	Spectra	30872
	Standard	30651, 30768, 30788, 30831, 30898
	Star Clusters	31152, 31227
	Starlogic	31005
	Starmedia	31005, 31224
	Stevison	31367
	Strato	31382
	Strong	30713
	Sunkai	30770, 30850
	Sunstech	30831
	Sunwood	30788, 30898
	Superscan	30821
	Supervision	30768, 31152
	SVA	30672, 30717, 30752, 31105
	Sylvania	30630, 30675, 30821, 31268, 32194
	Symphonic	30675, 30821, 31268
	Synn	30768
T	Tandberg	30713, 31695
	Tangent	31321
	Targa	31227, 31906
	Tatung	30770, 31695
	Tchibo	30741
	TCL	31180
	TCM	30741, 30790
	Teac	30571, 30675, 30717, 30741, 30759, 30768, 30790, 30833, 31006, 31197, 31227
	Tec	30898
	Technica	31367, 31695
	Technics	30490, 30703, 31905
	Technika	30770, 30831, 31115, 31695
	Technisson	31115
	Technosonic	30730, 31051, 31115
	Techwood	30713, 31530
	Tecnimagen	31233
	Tedelex	30690, 30768, 31004, 31228
	Telefunken	30789, 30790, 30833, 31483, 31832, 31923
	Teletech	30713, 30768
	Tensai	30651, 30690, 30770
	Tevion	30651, 30768, 30798, 30833, 30898, 31036, 31227, 31347, 31382, 31483, 31730, 31923
	Theta Digital	30571
	Thomson	30511, 30522, 30551
	Tivo	31503
	Tokai	30788, 30790, 30898
	Tom-Tec	30789
	Top Suxess	31224
	Toshiba	30503, 30539, 30573, 30695, 31045, 31154, 31503, 31510, 31769
	TRANS-continents	30831, 30872, 31321, 31327
	Transonic	30730
	Tredex	30843
	TruVision	31451
	Tsinghua Tongfang	31205
	TSM	31224
U	Umax	30690, 31151
	Unimax	30770
	United	30675, 30695, 30699, 30713, 30730, 30788, 30884, 31115, 31152, 31228, 31233, 31367, 31832
	Universum	30591, 30713, 30741, 30790, 30869, 31227, 31530, 31913
	Uptek	30763
	upXus	31345
	Urban Concepts	30503, 30539
	US Logic	30839
V	Venturer	30790, 31769
	Vestel	30713, 30884, 31530
	Victor	31597
	Vieta	30705
	Viewmaster	30862, 31224
	Voxson	30690, 30730, 30774, 30831
	Vtrek	31228
W	Waitec	31151, 31224, 31233
	Walkvision	30717
	Waltham	31530
	Welkin	30831
	Wellington	30713
	Weltstar	30713
	Wesder	30699
	Wharfedale	30686, 30713, 30751, 30752, 30790, 31832
	Wilson	30831, 31233
	Windsor	30713
	Windy Sam	30573
	WIZE	31115
	Woxter	31005, 31151, 31224
X	Xbox	30522, 32083
	Xenius	30790
	XLogic	30768, 31152, 31228
	XMS	30770, 30788
	Xoro	31183, 31250
Y	Yakumo	31004, 31056
	Yamada	30872, 31004, 31056, 31151, 31158
	Yamaha	30490, 30539, 30545, 30646, 31354
	Yamakawa	30872, 31104
	Yukai	30730, 31730
Z	Zenith	30503, 30591, 30741, 30869, 31906

Blu-Ray DVD ※3

	Brand	Code
D	Denon	32258 (DENON2)
L	LG	30741
P	Panasonic	31641
	Philips	32084
	Pioneer	30142
S	Samsung	30199
	Sharp	32250
	Sony	31516

HD-DVD ※3

	Brand	Code
I	Integra	31769
L	LG	30741
M	Microsoft	32083
O	Onkyo	31769
R	RCA	31769
T	Toshiba	31769
X	Xbox	32083

DVD-R ※3

	Brand	Code
1	4Kus	31158
A	Accurian	30675
	Airis	31321
	Akira	31321
	Alba	31530
	Apex Digital	31056
	Aristona	30646
	Aspire Digital	31168
B	Belson	31086
C	Cat	31421
	cello	31730
	Centrum	31227
	Classic	31730
	Coby	31086
	Commax	31321
	Conia	31321
	CyberHome	31129, 31502
	Cytron	31347
D	Denon	30490
	Denver	31056
	Digitrex	31056
	DSE	31730
	Dual	31530
	Durabrand	31502
E	E:max	31321
	Ellion	31421
	Eltax	31321
	Emerson	30675
F	Ferguson	31730
	Fintec	31530
	Firstline	31530
	Funai	30675
G	Gateway	31158
	Go Video	30741, 31158, 31730
	Goodmans	31530, 31730
	GPX	30741
	Grundig	31730
H	H & B	31421
	Humax	30646
I	iLo	31348
J	JVC	31597
K	Kansas Technologies	31530
	Kreisen	31421
	KXD	31321
L	LG	30741
	Lifetec	31347
	LiteOn	31158
	Loewe	30741
	Lumatron	31321
	Luxor	31730
M	Magnavox	30646, 30675
	Matsui	31730
	Maxent	31347
	MBO	31730
	Medion	31347
	MiCO	30751
	Mitsubishi	31403
	Mustek	31730
O	Oopla	31158
P	Packard Bell	31321
	Palsonic	31056, 31321
	Panasonic	30490, 31579
	Philips	30646, 31158, 31340
	Pioneer	30631
	Polaroid	31086
	ProVision	31321
	Pye	30646
R	RCA	30522
	Relisys	31347
	Roadstar	31227
S	Sampo	31347

	Samsung	30490, 31635
	ScanMagic	31730
	Schneider	30646
	SEG	31530
	Sensory Science	31158
	Sharp	30630, 30675
	Sony	31033, 31070, 31431, 31433, 31536
	Star Clusters	31227
	Sylvania	30675
T	Tangent	31321
	Targa	31227
	Teac	31227
	Techwood	31530
	Tevion	31227, 31347, 31730
	Thomson	30551
	Toshiba	31510
U	Universum	31227, 31530
V	Vestel	31530
	Victor	31597
W	Waltham	31530
Y	Yakumo	31056
	Yamada	31056, 31158
	Yamaha	30646
	Yukai	31730
Z	Zenith	30741

※1： これらのコードはTVモードにプリセットしてご使用ください。
※2： これらのコードはVCRモードにプリセットしてご使用ください。
※3： これらのコードはDVDモードにプリセットしてご使用ください。

プリセットコード	32134		30490
DENON 製 DVD プレーヤー	DVD-555 DVD-700 DVD-900 DVD-1000 DVD-1400 DVD-1500 DVD-1710 DVD-1910 DVD-1930 DVD-2200 DVD-2800	DVD-2800II DVD-2900 DVD-2910 DVD-2930 DVD-3800 DVD-3910 DVD-3930 DVD-A11 DVD-A1 DVD-A1XV	DVD-800 DVD-1600 DVD-2000 DVD-2500 DVD-3000 DVD-3300

[ ]*: お買い上げ時に設定されているプリセットコードです。

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30 〜 12：00、12：45 〜 17：30
（当社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、
次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in Japan　5411 10108 005DA